

砂原配水場改築工事（土木・建築）

設計図面目録

図面番号	図面名称	縮尺
管理棟建築工事		
《意匠》		
A-1	建築工事特記仕様書 1	—
A-2	建築工事特記仕様書 2	—
A-3	建築工事特記仕様書 3	—
A-4	建築工事特記仕様書 4	—
A-5	建築工事特記仕様書 5	—
A-6	建築工事特記仕様書 6	—
A-7	建築工事特記仕様書 7	—
A-8	建築工事特記仕様書 8	—
A-9	建築工事特記仕様書 9	—
A-10	平面配置図	S=1/200
A-11	仕上表・面積表	—
A-12	平面図・屋根伏図	S=1/100
A-13	立面図	—
A-14	断面図	S=1/100
A-15	矩計詳細図	S=1/50
A-16	1 階平面詳細図	S=1/50
A-17	2 階平面詳細図	S=1/50
A-18	内部階段詳細図	S=1/50
A-19	外部階段詳細図	S=1/30
A-20	建具表・建具キープラン	S=1/50, 200
A-21	展開図（1）	S=1/100
A-22	展開図（2）	S=1/100
A-23	展開図（3）	S=1/100
A-24	展開図（4）	S=1/100
A-25	展開図（5）	S=1/50
A-26	雑詳細図 1	S=1/10, 30
A-27	雑詳細図 2	S=1/2, 5, 10, 20
A-28	雑詳細図 3	S=1/5, 10, 20, 50
A-29	天井伏図	S=1/100
A-30	箱抜き図	S=1/100
A-31	仮設図（参考）	図示

図面番号	図面名称	縮尺
《構造》		
S-1	構造細目共通図（建築構造物）（1）	—
S-2	構造細目共通図（建築構造物）（2）	—
S-3	構造細目共通図（建築構造物）（3）	—
S-4	構造細目共通図（建築構造物）（4）	—
S-5	構造細目共通図（建築構造物）（5）	—
S-6	構造細目共通図（建築構造物）（6）	—
S-7	杭伏図・基礎配筋図	S=1/100
S-8	伏図	S=1/150
S-9	軸組図（1）	S=1/150
S-10	軸組図（2）	S=1/150
S-11	大梁・小梁・スラブリスト	S=1/40
S-12	架構配筋図	S=1/40
S-13	雑詳細図	S=1/40
S-14	G-ECSパイル設計施工標準（参考）	—
《付帯電気設備》		
AE-1	建築電気設備 特記仕様書	—
AE-2	電灯分電盤結線図 照明器具姿図	—
AE-3	電灯設備 1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-4	電灯設備（コンセント）1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-5	a-a、b-b断面図、内部階段断面図	S=1/150
AE-6	動力制御盤結線図	S=1/100
AE-7	動力設備 1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-8	構内交換・情報通信網設備 1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-9	火災報知設備、1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-10	構内配電線路（外灯）平面図	S=1/200
《付帯機械設備》		
AM-1	建築機械設備 特記仕様書	—
AM-2	配置図	S=1/200
AM-3	空調換気設備 凡例・機器表	—
AM-4	空調換気設備 系統図	—
AM-5	空調換気設備 ダクト平面図	S=1/100
AM-6	空調換気設備 ダクト断面図	S=1/100
AM-7	空調換気設備 配管平面図	S=1/100
AM-8	給排水衛生設備 凡例・機器表・1 階平面図	S=1/100
AM-9	給排水衛生設備 平面図	S=1/100
AM-10	浄化槽参考図	S=1/15

砂原配水場改築工事（土木・建築） 管理棟建築工事 特記仕様書		工事設計図	令和 8 年 月（金 木）		Ⅱ 建築工事仕様		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書					1. 標準仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			3. 特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○ 印と○ 印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	章 項 目 特記事項		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			① 一般共通事項						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	① 適用基準等		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			② 工事実績情報システム（CORINS）への登録						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	③ 法令等の適用区分		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			④ 工事の記録等						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	⑤ 電気保安技術者		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			⑥ 施工条件						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	⑦ 発生材の処理等		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			⑧ 材料の品質等						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	① 適用基準等		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			② 工事実績情報システム（CORINS）への登録						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	③ 法令等の適用区分		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			④ 工事の記録等						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	⑤ 電気保安技術者		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			⑥ 施工条件						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	⑦ 発生材の処理等		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図			⑧ 材料の品質等						
特記仕様書		工事設計図		令和 8 年 月（金 木）	① 適用基準等		⑤ 技能士	④ 地業工事	⑦ 試験及び報告書	⑧ 杭基礎	
特記仕様書		工事設計図									

④
地業
工事
へ
続
き

③
鋼杭地業

杭の種類（材料）、寸法、継手等
(4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)

	種類	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ ト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭	上杭	協議による						
	中杭							
本 杭	上杭	図示による						
	中杭							

・特定埋込杭工法
(4.3.5)(4.4.4)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法
 $\alpha=(\quad)$ 、 $\beta=(\quad)$ 、 $\gamma=(\quad)$
工法
・中継り拡大根固め工法
○羽根付き鋼管回転埋設工法

杭の継手の工法
(4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)
・アーク溶接継手 ○なし
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による

・機械式継手

杭頭の処理
(4.4.6)
○処理しない
・処理する
処理方法（切断を伴う補強方法含む）
・図示による

工法
(4.5.1)(4.5.4~4.5.6)
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管の種類 ・SKK400 ・SKK490
・拡底杭工法

寸法等
(4.2.2)(4.5.4)

	鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (mm)	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考
試験杭								
本 杭								

・孔壁の確認（超音波測定器による）
測定箇所
・試験杭（ ）箇所、本杭（ ）箇所 ・

杭の支持層への根入れ深さ
・図示による
杭の水平方向の位置ずれ精度
・杭径の1/4かつ100mm以下

鉄筋の種類
(4.5.4)(5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備 考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋の加工及び組立
(4.5.4)
・図示による

鉄筋の最小かぶり厚さ
(4.5.4)
・100mm

鉄筋かごの補強
(4.5.4)
・図示による

組み立てた鉄筋の節ごとの継手
(4.5.4)(5.3.4)
※重ね継手 重ね継手の長さ ※標準仕様書 表5.3.2による
・

主筋の基礎底盤への定着長さ
(4.5.4)(5.3.4)
・図示による

セメントの種類
(4.5.4)
※高炉セメントB種
・

コンクリートの設計基準強度
(4.5.4)
・図示による

コンクリートの種別
(4.5.4)(表4.5.1)
・A種
・B種
・評定等の内容による

スランブ
(4.5.4)
・18cm ・21cm ・（ ）cm

構造体強度補正值（S）
(4.5.4)
※3N/mm²
・図示による（ ）
・評定等の内容による

5 砂利地業
(4.6.2)

材料
(4.6.2)
・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石
砂利の厚さ
(4.6.3)
※60mm ・
範囲
・基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下
・図示による

6 砂地業
(4.6.2)

材料
(4.6.2)
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂の厚さ
(4.6.3)
※60mm ・
範囲
・図示による

7 捨コンクリート地業
(4.6.4)

捨コンクリートの厚さ
(4.6.4)
※50mm ・
範囲
(4.6.4)
・基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・図示による
コンクリートの種類
(4.6.4)(6.14.1)
※普通コンクリート
設計基準強度
(4.6.4)(6.14.1)
※18N/mm²
スランブ
(4.6.4)(6.14.1)
※15cm又は18cm ・

⑧ 床下防湿層
(4.6.2)

材料
(4.6.2)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・
範囲
(4.6.5)
○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
・図示による

⑤
鉄
筋
工
事

① 鉄筋
(5.2.1)

鉄筋の種類
(5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備 考
○ SD295	・D16以下	
○ SD345	・D19以上	
・		
・		

加工
(5.3.2)
・鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内法直径(D)（ ）以上

鉄筋の形状等
(5.2.2)

種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
○溶接金網		○ ϕ 6 ○ ϕ 100	保壁コンクリート
・鉄筋格子			

鉄筋の継手の方法等
(5.3.4)

部 位	継手の方法	呼び径（mm）
柱及び梁主筋	○ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手	・
耐力壁の鉄筋	○重ね継手	・
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○重ね継手 ・ガス圧接	・
上記以外（ ）	・重ね継手	・

継手位置
(5.3.4)
○図示による（構造関係共通図（配筋標準図）1.1、2.1、3.1、3.4、3.5、4.2）
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
(5.3.4)
※標準仕様書 表5.3.2による
○図示による
耐力壁の重ね継手の長さ
(5.3.4)
・標準仕様書表5.3.2による
・標準仕様書 5.3.4(3)(7)による
・図示による
・先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合
・図示による

鉄筋の定着長さ
(5.3.4)
※標準仕様書表5.3.4による
・図示による
標準仕様書5.3.4(5)(4)の場合の折り曲げ定着の方法
(5.3.4)
※標準仕様書 図5.3.3により5.3.4(5)(4)を全て満足する
・
機械式定着工法
(5.3.4)
・適用する
適用箇所 ・図示による
種類 ・図示による

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）
(5.3.5)
最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）
(5.3.5)
※標準仕様書 表5.3.6による
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・あり 使用箇所（ ）
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
軽量コンクリートの適用の有無
・あり 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）mm
・
耐久性上不利な箇所の有無（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）mm
・
・図示による

5 各部配筋
(5.3.7)

各部配筋
(5.3.7)
・図示による

⑥ ガス圧接完了後の試験
(5.4.10)(5.4.11)

抜取試験
(5.4.10)(5.4.11)
⊗超音波探傷試験 標準仕様書5.4.10(4)(a)による
・引張試験
試験方法等 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による

7 機械式継手
(5.5.3)

適用箇所
(5.5.3)
・図示による ・

平成12建設省第1463号に適合する性能
(5.5.3)
・A級 ・

機械式継手の種類
(5.5.3)
・図示による ・

鉄筋相互のあき
(5.5.3)
・評定等の内容による ・図示による

施工完了後の継手部の試験
(5.5.5)
・外観試験（全ての圧接部）
試験項目、試験方法
・図示による ・
・超音波測定試験
試験対象
・図示による ・

不合格となった継手部への措置
(5.5.5)
・図示による ・

適用箇所
(5.6.3)
・図示による ・

平成12年建設省告示第1463号に適合する性能
(5.6.3)
・A級 ・

溶接継手の工法
(5.6.3)
○なし
・図示による

鉄筋相互のあき
(5.6.3)
・図示による ・

施工完了後の継手部の試験
(5.6.5)
・外観試験（全ての圧接部）
試験項目、試験方法
・図示による ・
・超音波測定試験
試験対象
・図示による ・

不合格となった場合の措置
(5.6.5)
・図示による ・

8 溶接継手
(5.6.3)

適用箇所
(5.6.3)
・図示による ・

平成12年建設省告示第1463号に適合する性能
(5.6.3)
・A級 ・

溶接継手の工法
(5.6.3)
○なし
・図示による

鉄筋相互のあき
(5.6.3)
・図示による ・

施工完了後の継手部の試験
(5.6.5)
・外観試験（全ての圧接部）
試験項目、試験方法
・図示による ・
・超音波測定試験
試験対象
・図示による ・

不合格となった場合の措置
(5.6.5)
・図示による ・

⑥
コン
ク
リ
ー
ト
工
事

① コンクリートの種別等
(6.2.1)(表6.2.1)

コンクリートの種別
(6.2.1)(表6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

・普通コンクリート
(6.2.1~6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所
○24	※15又は18 ・18	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	

・軽量コンクリート
(6.2.1)(6.2.10)
（特記事項は、「9. 軽量コンクリート」に示す）

・建築基準法第37 条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート
(6.2.1)
適用箇所（ ）

構造体強度補正值
(6.3.2)
※標準仕様書表6.3.2による
・

種類
(6.3.1)
※普通ボルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
適用箇所（ ※下記以外全て ・ ）
・高炉セメントB種
適用箇所（ ）
・フライアッシュセメントB種
適用箇所（ ）
・普通エコセメント
適用箇所（ ）
・再生骨材Hを使用する 適用箇所（ ）
・湿潤養生の期間（ ）日以上
・型枠の最小存置期間（ ）

② セメント
(6.3.1)

フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材
(6.3.1)
・使用する 適用箇所（ ）
アルカリシリカ反応性による区分
(6.3.1)
※A ・B

・混和剤
(6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・

③ 骨材
(6.3.1)

フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材
(6.3.1)
・使用する 適用箇所（ ）
アルカリシリカ反応性による区分
(6.3.1)
※A ・B

④ 混和材料
(6.3.1)

・混和剤
(6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ・

標準仕様書6.3.2(4)(f)の①～③以外の混和材料
(6.3.2)
・混和剤（ ） ・混和材（ ）
使用方法 ・
使用量 ・

⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地
(6.6.4)

打継ぎの位置
(6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による ・
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による ・

目地の寸法（ひび割れ誘発目地を含む）
(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
※標準仕様書 9.7.3(1)(7)による
・図示による ・
ひび割れ誘発目地の位置、形状
(6.8.1)
・図示による ・

⑥ コンクリートの仕上り
(6.2.5)(表6.2.4)

種 別	適 用 箇 所
・A種	・図示
○B種	○図示
○C種	○図示

コンクリートの仕上りの平たんさ
(6.2.5)(表6.2.5)

種 別	適 用 箇 所
・a種	・図示
・b種	・図示
・c種	・図示

⑦ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）
(6.8.1)

打増し厚さ
(6.8.1)
○打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
○20mm ・
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm ・20mm ・

打増し範囲
・図示による ・

⑧ 型枠
(6.8.2)

せき板の材料
(6.8.2)
※標準仕様書6.8.2(1)(7)、(4)による
・合板（厚さ ※12mm ・ ）
・

・断熱材を兼用した型枠
(6.8.2)
使用箇所
・図示による ・

・MCR工法用シート
(6.8.2)
適用箇所
・図示による ・

スリーブの材種・規格等
(6.8.2)
・図示による ・

9 軽量コンクリート
(6.10.1)(表6.10.1)

適用箇所
(6.10.1)
・図示による ・

種類
(6.10.1)(表6.10.1)
・1種 ・2種
気乾単位容積重量
・（ ）t/m³
スランブ
※21cm ・

10 寒中コンクリート
(6.11.1)

適用期間
(6.11.2)
・図示による ・
構造体強度補正值(S)
(6.11.2)
・標準仕様書6.11.2(3)(7)による
・積算温度を基に定める（ ）

11 暑中コンクリート
(6.12.2)

構造体強度補正值(S)
(6.12.2)
※6N/mm² ・

12 マスコンクリート
(6.13.1)

適用箇所
(6.13.1)
・図示による ・

セメントの種類
(6.13.2)
・普通ボルトランドセメント
・中熱ボルトランドセメント
・低熱ボルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント

混和材料
(6.13.2)
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(7)による ・
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(4)(4)による ・

スランブ
(6.13.2)
※15cm ・

構造体強度補正值（s）
(6.13.2)
※標準仕様書 表6.13.1による ・

工事名	砂原配水場改築工事（土木・建築）	図面番号
建築工事特記仕様書（その2）		A ／ 02
		縮 尺 ——

事業主	笛吹市公営企業部水道課
-----	-------------

⑥ コンクリート工事へ続き	⑬ 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート	(6. 14. 1)	⑦ 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ・国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 （ R ）グレード以上 ・監督職員の承諾する工場	(7. 1. 3)	10 スタッド	種類等 呼び名呼び長さ（mm）適用箇所 ・16 ・19 ・22	(7. 2. 8)	8 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	1 補強コンクリート ブロック造	材料 断面形状及び圧縮強さによる区分 ※変質ブロックC(16) ・ ・	正味厚さ（mm） 呼び長さ（mm） 寸法（mm） 長さ高さ 化粧の有無 適用箇所備考 (8. 2. 2)
		設計基準強度 ※18 (N/mm ²)	(6. 14. 1)		② 施工管理技術者	※適用する	(7. 1. 3) (7. 1. 4)	⑪ 柱底均しモルタル	・無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ※標準仕様書7. 2. 9 (2) による ・標準仕様書7. 2. 9 (1) によるモルタル	(7. 2. 9) (表7. 2. 5)			モルタルの調合（容積比） ブロックの区分が A (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地巾が10mm程度の場合 ※標準仕様書 表8. 2. 11による 上記以外の場合	(8. 2. 3)
		スランプ ※15cm又は18cm	(6. 14. 1)		③ 鋼材	材質等 種類の記号適用箇所（主要な部分）規格 SS400主材・JIS規格による ・ ・JIS規格による ・ ・JIS規格による ・ ・JIS規格による ・ ・JIS規格による ・	(7. 2. 1)	12 鉄骨の仮組	※行う 仮組を行う範囲 ・図示による	(7. 3. 10)			各部の配筋 ・図示による	(8. 2. 5)
		適用箇所 ・標準仕様書 6. 14. 1 (4) による ○図示による	(6. 14. 1)					13 溶接技術者の配置付加試験	試験の要領 ・図示による	(7. 6. 3)			目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ	(8. 2. 7)
	14 流動化コンクリート					形状及び寸法 ○図示による 板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 ・行う（適用箇所：）○行わない	(7. 2. 10)	14 溶接接合	開先の形状 ・図示による	(7. 6. 4)			まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填する ブロックの範囲 ・図示による	(8. 2. 8)
	⑮ コンクリートの単位 水量測定	○行う ・行わない 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6. 3. 2 (f) (c) による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15をを超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込までに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3) の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	(6. 5. 1)		④ 高力ボルト	高力ボルトの種類 ○トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト	(7. 2. 2)	15 溶接部の試験	鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 ・図示による 切断面の仕上げ ※標準仕様書7. 6. 7 (1) (a) (b) ②による スカラップの形状 ・図示による	(7. 6. 7)			モルタルの調合（容積比） ブロックの区分がA (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地巾が10mm程度の場合 ※標準仕様書 表8. 2. 11による 上記以外	(8. 3. 3)
						ボルトの寸法 ねじの呼び○図示による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による○φ60 e40	(7. 2. 2)		溶接部の外観試験 平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験 試験の方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル（鉄骨製作管理技術者登録機構）」3. 5. 2 受入検査による。 ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②	(7. 6. 12)			鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ・図示による	(8. 3. 4)
						JIS 形高力ボルトの締付け（本締め） ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・図示による	(7. 4. 7)		JASS6付則6の付表3「溶接」に関する試験 試験の方法 ・JASS 6 10. 4〔受入検査〕e. 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。 ・				各部の配筋 ・図示による	(8. 3. 4)
					5 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 ※標準仕様書 表7. 2. 31による ボルトの形状及び寸法 ねじの呼び・図示による	(7. 2. 3)		完全溶込み部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 A00L (%) ※4. 0・2. 5 節 ・全て 検査水準 ※第6水準	(7. 6. 12)			材料、構法 パネルの区分 用途形状表面加工単位荷重（N/m ² ）厚さ（mm）幅及び長さ（mm）耐火性能（時間）構法の種別 ・外壁用 ・一般 ・平 ・意匠 ・100 ・図示 ・有 (1) ・A種・B種 ・間仕切壁用 ・一般 ・平 ・意匠 ・100 ・図示 ・有 (1) ・C種・D種 ・重畳壁用 ・— ・— ・100 ・図示 ・有 (0. 5) ・F種 ・床版用 ・— ・— ・100 ・図示 ・有 () ・無	(8. 4. 2～8. 4. 5) (表8. 4. 2～表8. 4. 4)
					⑥ アンカーボルト	種類 ・構造用アンカーボルト ○ABR400・ABR490 ・建方用アンカーボルト ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7. 2. 31による	(7. 2. 4)	⑯ 錆止め塗装	塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ○標準仕様書7. 8. 2 (1) による ・図示による 下記以外の塗料の種類は、18 章による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種類 ※A種・B種 ・耐火被覆が接着する面の塗料の種類	(表18. 3. 1)			パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・図示による ・外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 耐火圧性能 () 耐震圧性能 () 耐震性能 () ・間仕切壁パネル構法 耐震性能 ()	(8. 4. 2) (8. 4. 3) (8. 4. 4) (8. 4. 5) (8. 4. 4)
						ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による	(7. 3. 2)	17 耐火被覆	種類、材料、工法等 種類材料・工法耐火性能（時間）適用箇所（部位・部分） ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・ ・ ・耐火板張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール ・ ・ラス張り ・モルタル塗り ・耐火塗料	(7. 9. 2～7. 9. 8)			パネル幅の最小限度（mm） ・300未満（・図示） パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅（mm） ※10～20mm ・図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない	(8. 4. 3) (8. 4. 4) (8. 4. 3) (8. 4. 4)
					7 溶接材料	溶接材料 ・標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による ・図示による	(7. 2. 5)		アンカーボルトの設置等 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ○図示による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別・A種・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 厚さ・30mm 種別 ※A種	(7. 10. 3) (表7. 10. 1) (7. 10. 3) (表7. 10. 2)			材料、工法 パネルの種類形状厚さ（mm）幅（mm）工法の種別備考 ・外壁パネル ・F（フラットパネル） ・50・60・ ・D（デザインパネル） ・50・60・ ・T（タイルベースパネル） 60 ・間仕切壁パネル ・F（フラットパネル） ・50・60・ ・D（デザインパネル） ・50・60・ ・T（タイルベースパネル） 60 ・外壁パネル工法 耐火圧性能 () 耐震圧性能 () 耐震性能 () ・間仕切壁パネル工法 耐震性能 () 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様による パネル幅の最小限度（mm） ・300未満（・図示） パネルの相互の目地幅（mm） ・10以上 ・図示による 短辺の目地幅 ・15以上 ・図示による 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅（mm） ※15程度（シーリング材を充填） ・図示による 溝堀及び開口部の措置 やむを得ず設備開口等設ける場合のパネルの開口寸法等の限度 ・図示による	(8. 5. 2～8. 5. 4) (表8. 5. 1) (表8. 5. 2) (8. 5. 3) (8. 5. 4) (8. 5. 3) (8. 5. 4) (8. 5. 3) (8. 5. 4) (8. 5. 3) (8. 5. 4) (8. 5. 3) (8. 5. 4) (8. 5. 5)
					8 ターンバックル	種類 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル胴 ※割枠式 ねじの呼び等 ・図示による	(7. 2. 6)	19 軽量形鋼構造	ボルト接合方法 ・普通ボルト接合	(7. 11. 2)				
					9 床構造用デッキプレート	材質、形状及び寸法 ・デッキプレート単独の敷法 ・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする敷法 ・ ・ 鉄骨部材への溶接方法 ・図示による	(7. 2. 7) (7. 7. 8)							

工事名	砂原配水場改築工事 （土木・建築）	図面番号
建築工事特記仕様書（その3）		A ／ 03
		縮尺
		—
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

⑨

防水工事

①

アスファルト防水

屋根保護防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1		※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度	・
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・AI-1		(厚さ) ○50mm	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度
・AI-2			
・AI-3			
○BI-1	屋上		
・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書 表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書 表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・mm以上

押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・

立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9.2.4)(表9.2.6)
・適用する ・適用しない

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8)

屋根露出防水
防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	
			種類	使用量
・D-1		・		※製造所の仕様による
・D-2				
・D-3				
・D-4				
・DI-1		(種類) ・		・
・DI-2		(厚さ) ・25mm		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書 表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・mm以上

押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・

絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.2.3)
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・個

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9)

屋内防水
防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層 ・設ける (※図示 ・) (9.2.3)
・設けない
E-1の工程3を行う場合の部位 (表9.2.9)
※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位
・

(9.2.4)

施工
防水層の下地のモルタル塗り (9.2.4)
・適用する(施工範囲 ・図示 ・)
・適用しない

(9.2.4)

防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ
※標準仕様書 表6.2.4のB種 ・

(9.2.4)

絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
・図示による ・

(9.2.5)

保護層等の施工 (9.2.5)
平場の保護コンクリートの厚さ (9.2.5)
こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・
床タイル張り ※水下 60mm以上 ・

(9.2.5)

立上り部の保護工法 (9.2.5)
○乾式保護材 (9.2.2)
乾式保護材の材料 ・
○コンクリート押え
・モルタル押え(屋内等)
・れんがの材料 (・図示 ・)
れんがの材料
・JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが)

(9.2.2)

屋上排水溝の設置 (9.2.5)
○図示による ・

2 改質アスファルトシート防水

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

④塗膜防水

防水層の種類

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)(表9.3.3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料	
				種類	使用量
・AS-T1		<div></div>	<div></div>	・	※製造所の仕様による
・AS-T2					
・AS-T3					
・AS-T4					
・AS-J1					
・AS1-T1		(種類) ・	・設ける ・設けない		
・AS1-J1		(厚さ) ・mm			

改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・
押え金物の材質及び形状寸法 (9.3.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・

(9.3.3)

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3)
種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定
・
設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定
・個

(9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

防水層の種類

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料	
					種類	使用量
・S-F1		<div></div>		※非歩行用 ・軽歩行用	・	※製造所の仕様による
・S-F2						
・S-M1						
・S-M2						
・SI-F1		<div></div>	(種類) ・	(厚さ) ・mm	・	※製造所の仕様による
・SI-F2						
・SI-M1		<div></div>	(種類) ・	(厚さ) ・mm	・	※製造所の仕様による
・SI-M2						

屋内防水層の種類 (9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護
		平場のモルタル塗り		
		塗厚 (mm)	工法	モルタル塗り厚さ
・S-C1	・	・	・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下 ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2)
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による
・
固定金具の材質及び形状 (9.4.2)
材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
・
厚さ (mm) ※0.4以上

(9.4.3)

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3)
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
・個

(表9.4.2)

断熱工法 (S1-M1、S1-M2の場合)の防湿用フィルム (表9.4.2)
・設置する ・設置しない

(9.4.4)

接着工法の場合のPCコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4)
・行う (・図示 ・) ・行わない

(9.4.4)

PCコンクリート下地の入隅部の増張り (S-F1、SI-F1の場合) (9.4.4)
・行う (・図示 ・) ・行わない

(9.4.4)

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による ・

(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

防水層の種類

種別	施工箇所	仕上塗料		保護層
		種類	使用量	
・X-1		・	※製造所の仕様による	<div></div>
○X-2		・	○製造所の指定による	
・Y-1	・地下外壁防水 ・	<div></div>		<div></div>
・Y-2	・屋内防水			

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3)
種類 ※主材料の製造所の仕様
・
設置数量 ※主材料の製造所の仕様
・個

5 ケイ酸質系塗布膜防水

⑥シーリング

10石工事

3外壁湿式工法

4内壁空積工法

防水層の下地(壁及び天井)
※コンクリート打放し仕上げ(標準仕様書 表6.2.4のB種)
・

(9.6.4)

下地処理
コンクリートの打継箇所の処理
※標準仕様書9.6.4(2)(7)による
・
標準仕様書9.6.4(2)(4)及び(9)以外の下地処理
・図示による ・

(9.6.4)

材料
種類及び施工箇所
※下表以外は、標準仕様書 表9.7.1による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

(9.7.2)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
誘発・打継目地	PU-2

仕上げを行わない施工箇所 ()

(9.7.3)

シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)による
・

(9.7.5)

接着性試験
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 ・

石材の割付け ・図示による ・ (10.1.3)

天然石 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上の種類	バフ仕上の有無	備考
	・	・	・	・	
		・	・	・	

テラズブロック (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上の種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラズタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分(mm)	表面仕上の種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12	・300×300 ・400×400		

取り代用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石表面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料
※専門工事業者の指定する製品 ・ (10.2.3)

受金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 ・ (10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6 (mm)
(・長さ＝100mm ・長さ＝150mm)

アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※SS400 ・ 寸法：
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法
種類： 材質： 寸法：
上記以外の金物の材質、形状及び寸法
・図示による ・

ドレンパイプの材質 (10.2.3)
・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・

石材の厚さ (mm) ・ (10.3.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.3.3)
・流し筋工法
・あと施工アンカー工法

目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ (10.3.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地
位置 ※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

受金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 ・ (10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6 (mm)
(・長さ＝100mm ・長さ＝150mm)

アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※SS400 ・ 寸法：
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法
種類： 材質： 寸法：
上記以外の金物の材質、形状及び寸法
・図示による ・

石材の厚さ (mm) ・ (10.4.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.4.3)
・あと施工アンカー工法

目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ (10.4.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地
位置 ※6mm程度ごと
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

(10.2.2)

外壁乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等
※標準仕様書 表10.2.4による
方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
・図示による

(10.2.2)

アンカーの材質及び寸法
材質：※ステンレス (SUS304) 製 ・ 寸法：
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法
種類： 材質： 寸法：
上記以外の金物の材質、形状及び寸法
・図示による ・

(10.5.2)

石材の厚さ (mm) ・ (10.5.2)
だば用の穴の位置
※標準仕様書10.5.2(2)(7)による ・図示による
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 (10.5.3)
・図示による ・

(10.5.3)

目地 目地幅 (mm) ※8以上 ・ (10.5.3)
シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7による ・図示)
・適用しない

(10.6.2)(10.6.3)

石材の厚さ (mm) 床 ()、階段 () (10.6.2)(10.6.3)
床石張り (10.6.2)
浸透性吸水防止剤 ・適用する ・適用しない
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
階段張り (10.6.3)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅 (mm) (10.6.2)(10.6.3)
・図示による ・
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地
位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

(10.7.2)(10.7.2)

取付け工法
・湿式工法 ・乾式工法
湿式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による
・図示による
乾式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(2)による
・図示による
方式・スライド方式 ・ロッキング方式
特殊部位用金物 ・標準仕様書10.2.2(3)による
・図示による
ファスナー
アンカーの材質及び寸法
湿式工法の材質：※ステンレス (SUS304) 製 ・ 寸法：
乾式工法の材質：※SS400 寸法：
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法
種類： 材質： 寸法：
上記以外の金物の材質、形状及び寸法
・図示による ・

(10.7.2)

石材の厚さ (mm) ・ (10.7.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(2)による
・
石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない
目地 (10.7.2)
湿式工法の場合
一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ (10.3.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地
位置 ※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

(10.5.3)

乾式工法の場合
目地幅 (mm) ※8以上 ・ (10.5.3)
シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7による ・図示)
・適用しない

(10.7.3)

石材の厚さ (mm) ※40 ・ (10.7.3)

工事名

砂原配水場改築工事
(土木・建築)

図面番号

A
04

建築工事特記仕様書 (その4)

縮 尺

事業主

笛吹市公営企業部水道課

⑪
タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置 ※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による

(11.1.3)

2 見本焼、試験施工

見本焼き ・行う ・行わない
試験張り ・行う ・行わない

(11.1.4)

③ セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状、寸法等

(11.2.2)(11.2.3)(11.2.6)

施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐摩り性	備考
外階段	外装	150×60	○	・	○	・	○	・	○
ノンスリップ			・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・

既調合モルタル

(11.2.3)

・既調合モルタルの製造所の仕様による
・

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法

(11.2.6)

・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MOR工法（標準仕様書6.8による）
・

壁タイル張りの工法

(表11.2.3)

内装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り

4 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状、寸法等

(11.3.2～11.3.4)(11.3.7)

施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐摩り性	備考
			1類	工用	工用	工用	有	無	特注
			・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・

接着剤のホルムアルデヒド放散量

(11.3.3)

※ F☆☆☆☆ ・

外装タイルにおける目地詰め

(11.3.3)(11.3.5)

・行う
・行わない

目地のシーリング材

(11.3.4)

打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理方法

(11.3.5)

・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MOR工法（標準仕様書6.8による）
・

⑫
木工工事

1 施工一般

ホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書12.12.1(9)のいずれかによる ・

(12.2.1)

2 製材

・「製材の日本農林規格」による下地用製材

(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※2級 ・	※A種 ・B種	
		※2級 ・	※A種 ・B種	

・「製材の日本農林規格」による造作用製材

(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種	
			※A種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1等	※10%以下	

・「製材の日本農林規格」以外の製材

(12.2.1)(表12.2.1)(表12.2.2)(12.2.3)

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理
		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	※A種 ・B種	・行う ・行わない
		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	※A種 ・B種	・行う ・行わない

・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材

(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材

(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等

3 造作用集材材

・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材

(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材

(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等

⑬
屋根及び
という工事

1 長尺金属板葺

材料

(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等	厚さ (mm)	屋根葺き形式	葺板の寸法・厚さ	下地	留め付け方法
	※JIS G 3322の屋根用346			・立て平葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺 ・			

下葦材料
・アスファルトルーフィング940
・改質アスファルトルーフィング下葦材
・一般タイプ
・複層基材タイプ
・粘着層付タイプ

工法

(13.2.3)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
横葺の場合のけらば納め
・つかみ込み納め ・けらば包み納め
雪止め ・設置する (・図示)

2 折板葺

材料

(13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山どちによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板
	・	山高 山どち	() 種	※鋼板製 ・		・有り ・無し

材質の種類 ()
塗膜の耐久性の種類、つき付着量等 ()
断熱材 ・有り (種類：
厚さ (mm)：
防火性能： 時間)
無し
工法

(13.3.3)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
耐雪性能に応じた工法
・適用する (・図示) ・適用しない
折板のけらば納め ※けらば包みによる方法

4 造作用単板積層材

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

(12.2.1)(12.3.1)

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質 (表面の化粧加工)	防虫処理
			・有り (加工： ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・行う ・行わない
			・無し (等級： ・1等 ・2等 ・3等)	

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質 (表面の化粧加工)	含水率	防虫処理
		・有り (加工： ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下 ・	・行う ・行わない
		・無し ()		

・C L T (直交集成板)

(12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)

・「合板の日本農林規格」による普通合板

(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		※5.5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 針葉樹	・1等 ※2等以上 ※C-D以上	・行う ・行わない
		・			・	

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
		※12 ・	・1級 ※2級以上		・	※C-D以上	・行う ・行わない	
		※12 ・	・1級 ※2級以上		・適用する		・行う ・行わない	

接着の程度 常温湿潤状態となる場所での使用
※特類
その他の場合
※1類以上

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類 ・特類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品目	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類		・オーバレイ ・プリント ・塗装	・行う ・行わない

○パーティクルボード

(12.2.1)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ ・	※MR1 (M) 又はMR2 (P) タイプ ・		※15 ・

洗面所、便所

・構造用パネル

(12.2.1)

施工箇所	品 名	寸法 (mm)

・M D F

(12.2.1)

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

3 粘土瓦葺

材料

(13.4.2)

施工箇所	種類	製法による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦

JIS A 5208に基づく凍害試験
・行う
・行わない

瓦葺木 材質 ※杉
寸法 ※幅21×高さ15 (mm)
・

棟補強用芯材 材質 ※杉
寸法 ※幅21×高さ15 (mm)
・

瓦葺結用釘又はねじ 種類
寸法 ※幅40×高さ30 (mm)
・

長さ
・

棟補強等に使用する金物等 材質
・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
・

形状
・

寸法
・

留め付け方法
・

工法

(13.4.3)

建築基準法に基づき定まる風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法
風圧力 ・図示による
地震力 ・図示による
・適用しない

瓦葺結用釘又はねじの有効長さの最小値 () mm
瓦葺木の留付け工法 ・図示による
棟の工法 ・7寸伏せ様又はF型用冠瓦伏せ様ののし積み様
・

面戸、省口、瓦土の露出する瓦葺合部に仕上げを施す場合
・モルタルによる
・瓦葺き用しっくいによる

④ とい

材料

(13.5.2)(表13.5.1)

といの材質
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管 ○ステンレス管
・
・表面処理鋼板
・表面及び裏面の塗膜の種類 ()
・耐酸被覆鋼板

とい受金物

とい受金物の材質、形状、取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による
・
足金物の材質、形状、取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による
・
・多量地域の場所の軒どいの取付け間隔0.5m以下
・図示による

防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

工法

(13.5.3)

・鋼管製といの場合の防露巻きの工法
※標準仕様書 表13.5.4による
・

⑤ ルーフドレイン

JCW 301によるルーフドレインの種類及び呼び

(13.5.2)

種 類	呼 び	施工箇所
・ろく屋根用たて形1型	ねじ込み式	・
○ろく屋根用横形1型	ねじ込み式	・
・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・
・バルコニー用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・
・	・	

工事名

砂原配水場改築工事
(土木・建築)

図面番号

A
05

縮 尺

—

事業主

笛吹市公営企業部水道課

① 金属工事	① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	表面処理 (14. 2. 1) (表14. 2. 1)	⑮ 左官工事	① ラス系下地 (15. 2. 4)	下地の種類 (15. 2. 4) ・通気工法（ ・二層下地 ・単層下地） ・直張り工法（ ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地） ・図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合）	(15. 2. 4)	⑬ 建具工事	① 防火戸 (16. 1. 3) ※建具表による ・ ・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等 ・建具表による ・	(16. 1. 3)				
		種 別 施工箇所（成型板、笠木、建具以外） 色合い等			ラス材及び補強用平ラス 材料記号（※K ・ ） 種類及び単位面積当たりの質量 ・二層下地通気構法 ・波形ラス（W700） ・こぶラス（K800） ・力骨付きラス（BP700） ・単層下地通気構法 ・リプラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス								
		・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ○BB-1種 内部、外部アルミ手摺 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種			ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び滑接ピッチによる区分 ※LS4（耐力壁の場合） ・ ステーブルの形状及び寸法 リプラス ※IL925TS以上（リプラスC（RC800）の場合） ・ 波形ラス ※IL1019JS以上（波形ラス（W700）の場合） ・								
		・常温乾燥形の塗装の場合（ ）			施工 (15. 2. 4) 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※講ずる ・ 直張り工法（ラスシートモルタル下地の場合） 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・図示による ・								
		陽極酸化皮膜の着色方法 (14. 2. 1) ※二次電解着色 ・三次電解着色			材料 (15. 2. 5) せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類（ GB-R ） 厚さ（ 12.5mm） せっこうラスボード 種類（ ） 厚さ（ mm） 木質系セメント板 種類（ ） 厚さ（ mm）								
		鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2) (表14. 2. 2)			建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・なし ・あり								
		表面処理方法 種 別 施工箇所（手すり、タラップ以外）			材料 (15. 2. 7) 木ずり用小幅板の材種 ※杉（心去り材） ・								
		溶融亜鉛めっき ・A種 ・B種 ・C種 ・D種			モルタル (15. 3. 2) ・現場調合材料 ・既調合材料 既製地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（ ・図示 ・ ） ・設けない								
		電気亜鉛めっき ・E種 ・F種			床の目地 (15. 3. 5) ・設ける 目地割 ※2㎡程度（最大目地間隔3㎡程度） ・ 種類 ※押し目地 ・ ・設けない								
		② 軽量鉄骨天井下地			③ 軽量鉄骨天井下地 (14. 4. 2) (表14. 4. 1)					野縁等の種類 (14. 4. 2) (表14. 4. 1) 屋外 ※25型 ・19型 屋内 ※19型 ・25型 ・屋外の場合の形式及び寸法 野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離 ・図示による ・ 野縁の間隔 ・図示による ・	② せっこうボード、その他のボード下地 (15. 2. 5)	③ こまい下地 (15. 2. 6)	④ 木ずり下地 (15. 2. 7)
工法 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ・図示による ・ ・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ・図示による ・ ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所、補強方法 ・図示による ・ ・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所、補強方法 ・図示による ・	外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない												
スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 3) ※標準仕様書表14. 5. 1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15. 6. 2) ※F☆☆☆☆ ・												
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ・図示による ・	材料 (15. 6. 2) ・薄付け仕上塗材 (表15. 6. 1) (その1)												
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14. 5. 4(5)による ・図示による	呼び名 仕上げの形状 工 法 吸放湿性 防火材料 (表15. 6. 1) (その1)												
⑤ 金属成形板張り (14. 6. 2)	種別 ・図示による ・ 表面処理 ・図示による ・		・外装薄塗材Si ・砂壁状 ・吹付け ・ローラー塗り ・ゆず肌状 ・さざ波状	/		・適用する ・適用しない							
取付け用下地 (14. 6. 3) ※標準仕様書表14. 4. 1による ・図示による	・可とう形外装薄塗材Si ・砂壁状 ・吹付け ・ローラー塗り ・ゆず肌状 ・さざ波状		・適用する ・適用しない										
伸縮調整継手 ・設ける（施工箇所 ・図示 ・ ） ・設けない (14. 6. 3)	・外装薄塗材E ・砂壁状 ・吹付け ・ローラー塗り ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状		・適用する ・適用しない										
⑥ アルミニウム製笠木	⑧ アルミニウム製笠木 (14. 7. 2) (表14. 7. 1)		部材の種類 (14. 7. 2) (表14. 7. 1) 種類 ・250形 ・300形 ・350形 ○325形 表面処理 種別（ ）種 (14. 7. 2) (表14. 2. 1) 色合等 ○標準色（ ） ・特注色（ ）			・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・適用する ・適用しない						
			笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による ・			・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・吹付け ・ローラー塗り ・さざ波状 ・凹凸状	・適用する ・適用しない						
		・外装薄塗材S ・砂壁状 ・吹付け	・適用する ・適用しない										
		・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・凹凸状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・適用する ・適用しない										
		・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・砂壁状じゅらく ・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・適用する ・適用しない										
		・内装薄塗材W ・京壁状じゅらく ・吹付け ・こて塗り ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・適用する ・適用しない										
		⑦ マスチック塗材塗り (15. 7. 2) (表15. 7. 1)	種類 ・A種 ・B種										
		⑧ しっくい塗り (15. 10. 1)	下地の種類（ ） (15. 10. 1) ・標準仕様書15. 10. 1による場合以外の下地への適用（ ） 材料 (15. 10. 2) ・標準仕様書15. 10. 2(1) (7)、(4)によるしっくい ・適用する ・適用しない										
		⑨ こまい壁塗り (15. 11. 2)	材料 (15. 11. 2) 土壁用ののりの種類 ※つのまた ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海藻 砂壁用ののりの種類 ※ふのり ・つのまた ・こんにやくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 色土の種類 ・土物仕上げ（ ） ・大津仕上げ（ ） 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの										
		⑩ ロックウール吹付け (15. 12. 2)	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15. 12. 2) ※F☆☆☆☆ ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 吹付け厚さ（mm） ・図示による ・ (15. 12. 3)										

建築工事特記仕様書（その6）	工事名	砂原配水場改築工事（土木・建築）	図面番号
			A ／ 06
			縮 尺
			――
事業主	笛吹市公営企業部水道課		

⑨ ステンレス製建具

性能値等（建具符号は建具表による）
（16.6.2）
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級
・建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）
・S-4 ・S-5 ・S-6
・耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（ ）
・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ）

ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 （16.6.3）
表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ （16.6.4）
ステンレス鋼板のくつづりの仕上げ ※H L （16.6.4）（16.4.4）
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ （16.6.5）

建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種 （16.7.2）（表16.7.1）
接着材のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ （16.7.2）
枠、くつずりの材料 ・建具表による （16.7.2）

・フラッシュ戸 （16.7.2）（表16.7.2）
表面材の合板の種類
合板の種類 表面材の品質等 備 考
・普通合板 接着の程度
※水掛り箇所1類、その他2類以上
・板面の品質 ※広葉樹1等
・（ ）
・天然木化粧合板 接着の程度
※水掛り箇所1類、その他2類以上
・（ ）
・特殊加工化粧合板 接着の程度
※水掛り箇所1類、その他2類以上
・（ ）
・ミディアムデンシティ
ファイバーボード
（MDF） 表裏面の状態による区分（ ）
曲げ強さによる区分（ ）
接着剤による区分（ ）
難燃性による区分（ ）
・（ ）
表面材の材料のホルムアルデヒド放数量
※標準仕様書16.7.2(f)(a)による
表面板の厚さ ※表16.7.6による
引戸の定規線 ・召し合せかまをいんろう付きとする

・かまち戸 （16.7.2）（16.7.3）（表16.7.7）
かまち樹種（ ） 鉄板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による

・ふすま （16.7.2）（表16.7.3）（16.7.3）（表16.7.7）（16.7.4）（表16.7.10）
種別、工法 ・I型 ・II型
上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（ウレタンクリアー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による

・戸ぶすま （16.7.2）（16.7.3）（表16.7.7）（16.7.4）
表面材の種類、品質等（ ）
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

・紙張り障子 （16.7.3）（表16.7.7）
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

⑩ 木製建具

⑪ 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
○建具表による

マスターキー ○製作する ・製作しない
鍵の製作本数 ※各室3本1組

⑫ 鍵

13 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 ・図示による
自動ドア開閉装置の性能値
駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書 表16.9.1による
防錆の適用 ・適用する ・適用しない
・
車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能
※標準仕様書 表16.9.2による
防錆の適用 ・適用する ・適用しない
・
検出装置の性能
※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による
防錆の適用 ・適用する ・適用しない
・
引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による
種類 ・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー
・光電センサー ・電波センサー
・タッチスイッチ
（ ・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ）
・押しボタンスイッチ
・車椅子使用者便房スイッチ
（ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ）
凍結防止措置
・適用する ・適用しない

14 自閉式上吊り引戸装置

15 重量シャッター

シャッターの種類 ・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（ ）pa
開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1）
※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置の設置箇所
急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所
・図示による
障害物感知装置の設置箇所 ・図示による
危害防止機構の設置箇所 ・図示による
管理用シャッターのシャッターケース
・設ける ・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板 （16.11.3）
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12
ステンレス鋼板の種類
※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

開閉形式 ※手動式 ・電動式（手動併用） （16.12.2）（表16.12.1）
耐風圧強度（ ）pa
電動式の場合の安全装置
障害物感知装置の設置箇所 ・図示による
スラットの材質の種類 （16.12.3）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量 ※Z06又はF06
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量 ※AZ90
スラットの形状 ・インターロック形状 ・オーバーラッピング形 （16.12.4）

区分、材料 （16.13.2）（16.13.3）
セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質
による区分 区分(Pa) による区分 による区分
※スチールタイプ ・125 ※バランズ式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板
・ファイバーグラス ・75 ・電動式 ・ハイルフト形
タイプ ・50 ・バーチャル形
電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示（ ）

⑬ ガラス （16.14.2）
適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による。
○フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
○図示（※建具表 ）による
・型板ガラスの厚さによる種類
・図示（※建具表 ）による
○網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
○図示（※建具表 ）による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類
・図示（※建具表 ）による
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類
・図示（※建具表 ）による
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類
・図示（※建具表 ）による
○複層ガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、乾燥気体の種類
○図示（※建具表 ）による
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮へい性及び耐久性による区分
・図示（※建具表 ）による
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類
・図示（※建具表 ）による

ガラスの留め材及び溝の大きさ （16.14.2）（16.14.3）（図16.14.1）

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	○シーリング材 ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による
	・建築用ガスケット ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による
樹脂製	○シーリング材	※建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・	・
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による

材料等 （16.14.5）

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調 クリア乳白	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)
・正方形	・160×160	95	・	※8～15	外側 ※6m以下ごとに10～25 内側 ・
	・200×200	95	・	・15～25	※15以下
・長方形	・	・	・	・	※6以上
	・	・	・	・	・

壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ）
・設けない
力骨 材質 ※ステンレス鋼（SUS 304）
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色（ ）
シーリング材の種類（ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示による
形状 ・図示による

工法 （16.14.5）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ）
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による

16 軽量シャッター

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等 （17.1.3）
性能

耐風圧性	耐震性		水密性	気密性	耐火性	耐温度差性 (℃)	遮音性	断熱性
	水平方向(kH)	垂直方向(kV)						
	・1.0	・0.5			・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60		
	・	・						

性能の確認方法及び判定方法 （17.1.3）
※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料
・

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による （17.2.2）
金属系材料の種類
・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材
（アルミニウム材の場合）
規格等 標準仕様書16.2.3による
種別
着色 ・標準色 ・特注色 （表14.2.1）
シーリング材（ガラスの取付けは除く） （17.2.2）
下表以外は標準仕様書 表9.7.1による

シーリング材の種類		
被着体の組合せ	記 号	
	主成分による区分	

ガラスの取付け材料 （17.2.2）
・シーリング（種類： ）
・構造ガスケット（材質、形状等 ・図示 ・ ）
断熱材 種類（ ）
厚さ（mm）（ ）
施工箇所 ・図示による

形状及び仕上げ （17.2.3）
製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による
見え掛り部の仕上げ
ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様
取付け （17.2.5）
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
※標準仕様書 表17.2.2による
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
※標準仕様書 表17.2.3による
ガラスの取付け方法 （17.2.6）
・

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による （17.3.2）
材料
コンクリート 種類（ ）
品質 設計基準強度（F_c） ※30N/mm²
スラブ ※12cm
乾燥単位容積質量
・普通コンクリートの場合 2.1t/m³を超え2.5t/m³以下
単位水量の最大値 ※185kg/m
鉄筋 種類記号 ※SD295
補強鉄線 径（mm） ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
網目寸法

シーリング材 （17.3.2）
下表以外は標準仕様書 表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類	
	記 号	
	主成分による区分	

ガラスの取付け材料 （17.3.2）
・構造ガスケット（材質、形状等 ・図示 ・ ）
耐火目地材 （17.3.2）
断熱材 種類（ ）
厚さ（mm）（ ）
施工箇所 ・図示による
先付けの材料 （17.3.2）
・先付け材料の仕上材
・石材（ ・花こう岩 ・大理石 ・ ）
・セラミックタイル
・
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール

形状及び仕上げ （17.3.3）（表17.3.1）
製品の見え掛り部の寸法許容差
※標準仕様書 表17.3.1による
・上記以外
辺長（ mm）、対角線長の差（ mm）、版厚（ mm）
開口部内法寸法（ mm）、ねじれ、そり（ mm）、
曲がり（ mm）、面の凹凸（ mm）、先付け金物の位置（ mm）
カーテンウォールの仕上げ
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差（mm）
・図示による

製作 （17.3.4）
配筋 ・図示による
取付け （17.3.4）
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
※標準仕様書 表17.2.2による
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
※標準仕様書 表17.3.2による
ガラスの取付け方法 （17.3.6）
・

2 メタルカーテンウォール

18 塗装工事

① 材料

② 素地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

④ 塗装

⑤ 塗料の種類等 （表18.5.1）
クリヤラッカー塗り（CL）
種別がA種の場合における、標準仕様書 表18.5.1の工程2
・塗料の種類（ ）
耐候性塗料塗り（DP） （表18.7.2）
上塗り塗料の等級 鉄鋼面（ ）級
亜鉛めっき鋼面（ ）級
ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） （表18.10.1）
標準仕様書 表8.10.1の工程1の着色 ・適用する
オイルステイン塗り（OS）の仕様 （表18.11.2）
・図示による

19 ガラスブロック積み

材料等 （16.14.5）

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調 クリア乳白	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)
・正方形	・160×160	95	・	※8～15	外側 ※6m以下ごとに10～25 内側 ・
	・200×200	95	・	・15～25	※15以下
・長方形	・	・	・	・	※6以上
	・	・	・	・	・

壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ）
・設けない
力骨 材質 ※ステンレス鋼（SUS 304）
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色（ ）
シーリング材の種類（ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示による
形状 ・図示による

工法 （16.14.5）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ）
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による

20 ガラス

21 建築工事特記仕様書（その7）

工事名 砂原配水場改築工事（土木・建築）

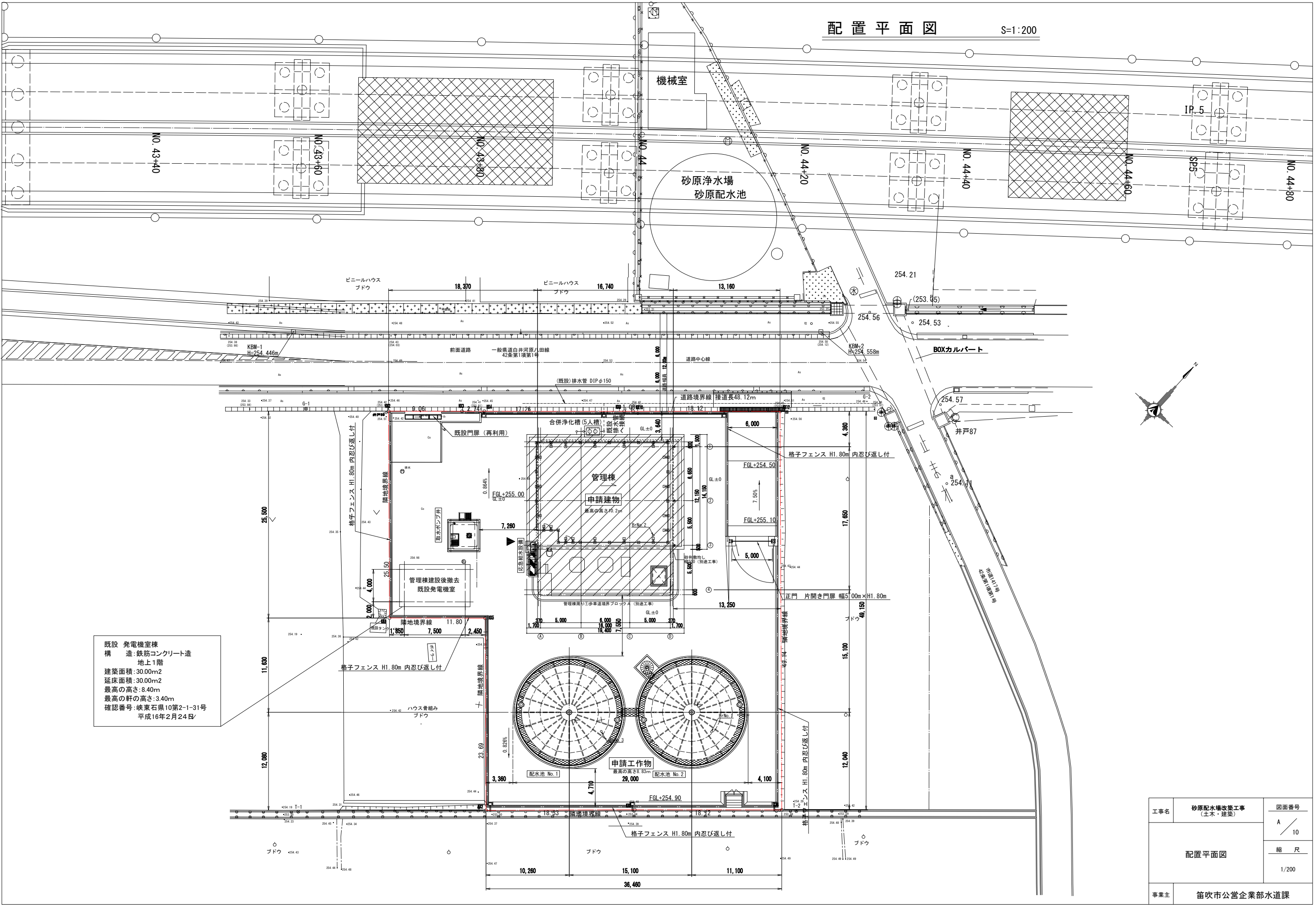
図面番号
A / 07
縮 尺
—

事業主 笛吹市公営企業部水道課

内装工事	① 接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分 ・ 図示による 下地の施工 標準仕様書19.2.3(1)(7)から(9)以外の下地の工法 ・ 図示による 材料 <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※FS (複層ビニル床シート)</td><td>・</td><td>※2.0</td><td></td></tr></table> 接合部の処理 ※熱溶接工法 材料 <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※KT (コンポジションビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)</td><td>・無地 ・</td><td>・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500</td><td>※2.0 ・</td><td></td></tr></table> ⑤ ビニル幅木 材質 ○軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60 ・70 ○100 厚さ (mm) ※1.5以上 6 ゴム床タイル 種類 ・単層品 ・複層品 色柄 () 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法 (mm) () 7 カーペット敷き ・織じゅうたん <table><tr><th>織り方</th><th>バイル形状</th><th>帯電性</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット</td><td>・カットバイル ・ループバイル ・カット・ループ併用</td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td></tr></table> 色柄、バイル糸の種類等 ※色柄は模様のない無地のもの 種別 ・A種 ・B種 ・C種 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ8mm 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・) ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・タフテッドカーペット <table><tr><th>バイル形状</th><th>バイル長 (mm)</th><th>工法</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr><tr><td>・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用 ・</td><td>・ ・ ・ ・</td><td>・グリッター工法 ・全面接着工法</td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td></tr></table> 下敷き材 (グリッター工法の場合) ※JIS L 3204 (反毛フェルト) の第2種1号 呼び厚さ8mm 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・) ・適用しない ・タイルカーペット <table><tr><th>種類</th><th>バイル形状</th><th>寸法 (mm)</th><th>総厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>※第一種 ・第二種 ・第一種 ・第二種 ・第一種 ・第二種</td><td>※ループバイル ・カットバイル ・カット、ループ併用 ・</td><td>※500×500 ・ ※500×500 ・ ※500×500 ・</td><td>※6.5 ・ ※6.5 ・ ※6.5 ・</td><td></td><td></td></tr></table> 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・) ・適用しない タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ⑦ 合成樹脂塗床	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	・	※2.0		種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コンポジションビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	※2.0 ・		織り方	バイル形状	帯電性	備 考	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット・ループ併用	・適用する ・適用しない		バイル形状	バイル長 (mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用 ・	・ ・ ・ ・	・グリッター工法 ・全面接着工法	・適用する ・適用しない		種類	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	施工箇所	備考	※第一種 ・第二種 ・第一種 ・第二種 ・第一種 ・第二種	※ループバイル ・カットバイル ・カット、ループ併用 ・	※500×500 ・ ※500×500 ・ ※500×500 ・	※6.5 ・ ※6.5 ・ ※6.5 ・			接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3) (19.2.2)(表19.2.2) (19.2.3) (19.2.2) (19.2.2) (19.2.2) (19.2.2) (19.2.2) (19.2.2) (19.2.2) (19.2.2)(表19.3.1) (表19.3.1) (19.3.3) (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2) (19.3.2)(19.3.3) (19.3.2)(19.3.3) (19.4.2)
	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																															
	※FS (複層ビニル床シート)	・	※2.0																																																
	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																														
	※KT (コンポジションビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	※2.0 ・																																															
	織り方	バイル形状	帯電性	備 考																																															
	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット・ループ併用	・適用する ・適用しない																																																
	バイル形状	バイル長 (mm)	工法	帯電性	備考																																														
	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用 ・	・ ・ ・ ・	・グリッター工法 ・全面接着工法	・適用する ・適用しない																																															
	種類	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	施工箇所	備考																																													
※第一種 ・第二種 ・第一種 ・第二種 ・第一種 ・第二種	※ループバイル ・カットバイル ・カット、ループ併用 ・	※500×500 ・ ※500×500 ・ ※500×500 ・	※6.5 ・ ※6.5 ・ ※6.5 ・																																																
2 ビニル床シート																																																			
3 ビニル床タイル																																																			
4 特殊機能床																																																			
5 手すり																																																			
6 階段滑り止め																																																			
7 黒板及び ホワイトボード																																																			
8 鏡																																																			
9 表示																																																			
⑩ タラップ																																																			
11 煙突ライニング																																																			
⑫ ブラインド																																																			
13 ロールスクリーン																																																			
14 カーテン																																																			
カーテンレール																																																			
16 プレキャスト コンクリート																																																			

④ トイレブース	① フリーアクセスフロア	材料等 (20.2.2) 施工箇所 構 造 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備 考 ・支柱調整式 ・置敷式 ・500×500 ・ ・1.0G ・0.6G ・3,000N ・5,000N ・帯電防止床タイル ・タイルカーベット ・ 帯電防止性能 ・U値 (クラス1) ・U値 (クラス2) 漏えい抵抗 ・R _≥ 1×10 ⁹ Ω 耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)による 材料等 (20.2.3) <table><tr><th rowspan="2">構造形式による種類</th><th colspan="2">構成基材の種類</th><th rowspan="2">パネル表面仕上げ</th><th rowspan="2">遮音性能 (dB/500Hz)</th></tr><tr><th>スタッド</th><th>パネル</th></tr><tr><td rowspan="2">・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>・メラミン樹脂焼付け又はアクリル ・樹脂焼付け ・壁紙張り</td><td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td></tr></table> パネル内に取付ける建具 ・あり (寸法及び形状 ・ 図示 ・) ・なし パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 3 移動間仕切 材料等 (20.2.4) <table><tr><th rowspan="2">操作方法による種類</th><th rowspan="2">圧縮装置の操作方法</th><th colspan="2">パネル表面材</th><th rowspan="2">遮音性 (dB/500Hz)</th></tr><tr><th>材質</th><th>仕上げ</th></tr><tr><td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td><td>・プッシュ式 ・ハンドル式 ・</td><td>・鋼板 ・</td><td>・焼付塗装 ・壁紙張り ・</td><td>・36未満 ・36以上</td></tr></table> ハンガーレールの取付け下地の補強 ・標準仕様書20.2.4(3)(4)による ・ 図示による パネルをランナーに取り付ける部品 ・標準仕様書20.2.4(3)(4)による ・ 図示による ハンガーレール ・標準仕様書20.2.4(3)(4)による ・ 図示による ランナー ・標準仕様書20.2.4(3)(4)による ・ 図示による あと施工アンカー ・使用する 種類： 材質： 寸法： ・使用しない 材料等 (20.2.5) <table><tr><th>パネル表面材の材質</th><th>脚部の種類</th><th>ドアエッジの材質</th></tr><tr><td>○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・</td><td>※鋼木タイプ ・</td><td>※製造所の仕様による ○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td></tr></table> パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ④ トイレブース	構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性能 (dB/500Hz)	スタッド	パネル	・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・メラミン樹脂焼付け又はアクリル ・樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	操作方法による種類	圧縮装置の操作方法	パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)	材質	仕上げ	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・	・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上	パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質	○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※鋼木タイプ ・	※製造所の仕様による ○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.5.2(2)による 単層フローリング <table><tr><th>種 類</th><th>工 法</th><th>樹種</th><th>厚さ及び大きさ</th></tr><tr><td rowspan="3">・フローリングボード1等</td><td>・釘留め工法 (根太張り)</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.1による ・</td></tr><tr><td>・釘留め工法 (直張り)</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.3による ・</td></tr><tr><td>・接着工法</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.5による ・</td></tr><tr><td>・フローリングブロック1等</td><td>・接着工法</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 複合フローリング <table><tr><th>種 類</th><th>工 法</th><th>樹種</th><th>厚さ及び大きさ</th></tr><tr><td rowspan="3">・複合フローリング (天然木化粧)</td><td>・釘留め工法 (根太張り)</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種</td></tr><tr><td>・釘留め工法 (直張り)</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種</td></tr><tr><td>・接着工法</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種</td></tr></table> 接着工法の場合の不随縁衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ 種別 (19.6.2)(表19.6.1) ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) ・衝撃緩和型畳 畳表 ・樹脂製畳表 ⑩ せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ	・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書19.5.1による ・	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書19.5.3による ・	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.5による ・	・フローリングブロック1等	・接着工法	・	・	種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ	・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種	フローリングのホルムアルデヒド放散量 (19.5.2～19.5.5)
	構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性能 (dB/500Hz)																																																													
		スタッド	パネル																																																															
	・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・メラミン樹脂焼付け又はアクリル ・樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36																																																													
				操作方法による種類	圧縮装置の操作方法	パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)																																																										
	材質	仕上げ																																																																
	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・	・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上																																																													
	パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質																																																															
	○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※鋼木タイプ ・	※製造所の仕様による ○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																															
	種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ																																																														
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書19.5.1による ・																																																															
	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書19.5.3による ・																																																															
	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.5による ・																																																															
・フローリングブロック1等	・接着工法	・	・																																																															
種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ																																																															
・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種																																																															
	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種																																																															
	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種																																																															

⑬ プラインドボックス及びカーテンボックス	17 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み	材料等 (20. 4. 2)	・可動式	22 舗装工事	路床の材料 (22. 1. 3) (22. 2. 2) (22. 2. 3)	・舗石舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)
	20 床点検口	工法	・間知石	34 収納家具	・盛土	クッション材 (22. 8. 2)
	21 耐震スリット	積み方	・花こう岩	35 屋外掲示板	・凍上抑制層	舗石の割付け (22. 8. 4)
	22 止水板	目塗り	・凝灰岩	36 敷地境界石標	・透水抑制層	仕上がり面の平坦性 (22. 8. 2)
	23 エキスパンションジョイント金物	伸縮調整目地	—	37 タオル掛け	透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ (22. 2. 2) (22. 2. 3)	種別 (22. 9. 2) (表22. 9. 1)
	24 くつふきマット	材料	・コンクリート間知ブロック	㉔ 洗面化粧台	路床安定処理 (22. 2. 2) (22. 2. 3)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	25 流し台ユニット	・集成材 (仕上げ)	・アルミミニウム製	21 排水工事	添加材料 (表22. 2. 1)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	26 旗竿	・アルミミニウム製	・アルミミニウム製	21 排水工事	試験 (22. 2. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	27 旗竿受金物	・ステンレス製	・ステンレス製	21 排水工事	路床土の支持力比 (CBR) 試験 (22. 2. 5)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	28 車止め支柱	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	路床締固め度の試験 (現場密度) (22. 2. 5)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
⑭ ブラインドボックス及びカーテンボックス	29 フェンス	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	現場CBR 試験 (22. 2. 5)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	30 鋼製書架及び物品棚	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	路盤の厚さ (22. 3. 2)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	31 屋内掲示板	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	路盤材料 (表22. 3. 1)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	32 洗面カウンター	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	アスファルト舗装の構成及び厚さ (22. 4. 2)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	33 防煙垂れ壁	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	材料 (22. 4. 2)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	34 防煙垂れ壁	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	加熱アスファルト混合物の種類 (22. 4. 4) (表22. 4. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	35 防煙垂れ壁	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	36 防煙垂れ壁	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	37 防煙垂れ壁	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	38 防煙垂れ壁	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
⑮ 旗竿	39 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	40 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	41 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	42 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	43 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	44 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	45 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	46 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)
	47 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
	48 旗竿	・鋼製	・鋼製	21 排水工事	試験 (22. 4. 4)	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 2)

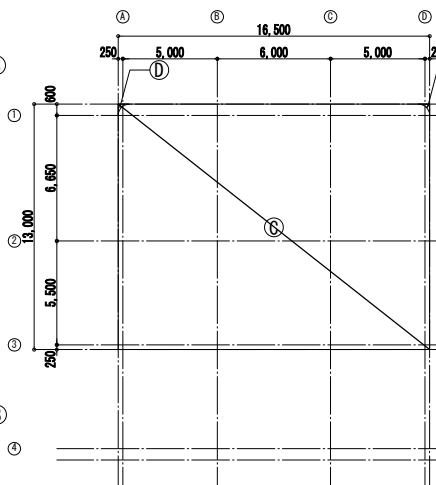
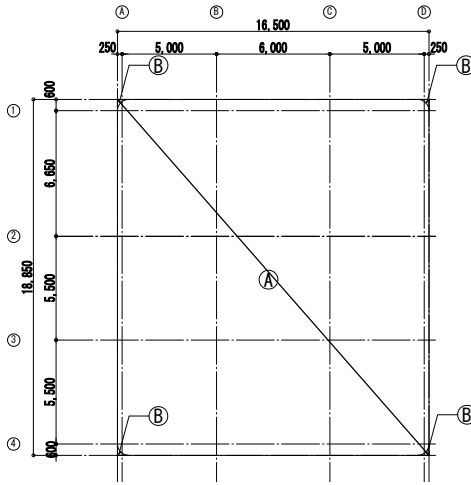


既設 発電機室棟
構 造:鉄筋コンクリート造
地上1階
建築面積:30.00m²
延床面積:30.00m²
最高の高さ:8.40m
最高の軒の高さ:3.40m
確認番号:峡東石県10第2-1-31号
平成16年2月24日

工事名	砂原配水池改築工事 (土木・建築)	図面番号
配置平面図		A / 10
		縮 尺
		1/200
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

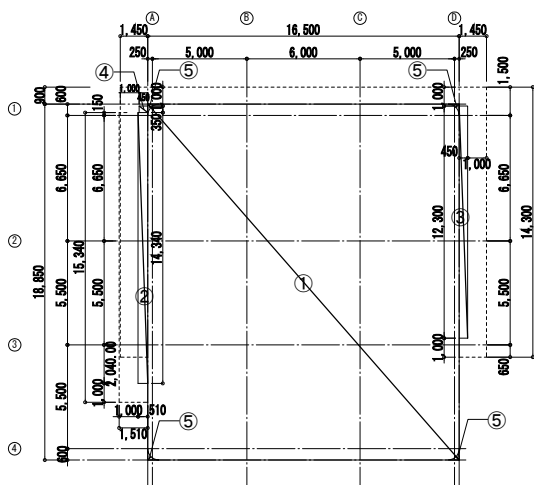
外部仕上表						
屋 根	高耐久アスファルト防水（60年耐久）：断熱材（RBボード）t=50、保護コンクリート t=80直均し（溶接金網 φ6 @100）			庇：天端・鼻先・ケラバ	天端：直均しの上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 鼻先・ケラバ：打放し（B）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2）	
外 壁	コンクリート打放し（B）の上（7か20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー） <2-02-11>			上 裏	コンクリート打放し（B）の上（7か20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー） <2-02-11>	
				外階段・室外機置場		
上げ裏	コンクリート打放し（B）の上（7か20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー） <2-02-11>			床	モルタル金ごてt=30の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 排水溝（W50）：コンクリート直均しの上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 段鼻：ノンスリップ役物タイル 200×100角垂れ付き段鼻	
誘発・打継目地	PU-2 <2-02-9>・PU-2 <2-02-8>	屋上手摺	アルミ製 H=1,100、片開き扉、コンクリート基礎	巾木	打放し（B）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） H=100	
パラペット	アルミ製笠木、W=325	止水板	塩ビ製 センターバルブ形 W=150	手摺壁・天端	コンクリート打放し（B）の上（7か20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー） <2-02-11>	
堅 樋	ステンレス管 100A			手摺（外階段、室外機置場）	アルミ製、一部着脱式	
タラップ	ステンレス製（安全ガード付）[8-31-3]			窓、出入口等 建具	アルミサッシ・スチールドア	
				その他	AE：電源箱（電動チェーンブロック500kg用）、吊上げ式かご型バレット、電動チェーンブロック500kg	

内部仕上表																
階	室 名	床	SL (H)	巾 木		下地	壁	柱型	天 井		梁型	廻り縁		天井高	備 考	
					H											
1 階	ポンプ室	無筋コンクリート直均し仕上げ t 200 【P】	1-01-3 +200				RC コンクリート打放し (B) の上、 結露防止塗料塗り	2-02-7	同 左	RC コンクリート打放し (B) の上、 結露防止塗料塗り	3-01-11	同 左			機械基礎 【P】、上部搬入口：1500×2000、実験用流しW1800×D750 【P】 ホイストレール (1 t 用) DP、スチール製グレーチング枠付き正方形型 【P】 滑り止め付 T-2、スチール製グレーチング歩道用 滑り止め付 【P】	
	自家発電機室	無筋コンクリート直均し仕上げ t 300 【P】 エポキシ樹脂塗床 (防塵) 【P】	1-01-3 +300			300	RC コンクリート打放し (C) の上、 グラスウールGC張り t=50	2-02-13	同 左	RC コンクリート打放し (C) の上、 グラスウールGC張り t=50	3-01-12	同 左			機械基礎 【P】、機械搬入口：W2500×H3000 搬入後閉塞 防油堤 【P】、ビット・ビット蓋枠共 【P】	
	換気室1	無筋コンクリート直均し仕上げ t 300	1-01-3 +300				RC コンクリート打放し (B) 仕上	2-02-7	同 左	RC コンクリート打放し (B) 仕上	3-01-11	同 左				
2 階	電気室	フリーアクセスフロア 【P】	1-02-14 +300			100	RC コンクリート打放し (B) の上、EP塗り RC ① ① 通り：複合板 (PFt=25+GB-Rt=12.5) 接着張りの上、EP塗り	2-02-7 2-03-6	同 左	RC コンクリート打放し (B) の上、 EP塗り	3-01-11	同 左			ブラインドボックス・縦ブラインド フリーアクセスフロア (P)	
	薬品室	無筋コンクリート直均し仕上げ 【P】 t 300 エポキシ樹脂塗床 (耐薬品性) 【P】	1-01-3 +300				RC コンクリート打放し (B) の上、EP塗り RC ② ③ ① 通り：複合板 (PFt=25+GB-Rt=12.5) 接着張りの上、 化粧ケイカル板 t=6 接着貼り	2-03-18	同 左	LGS GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4		塩ビ	3-11-3	2,700 防液堤 【P】、ライニング、手洗器・マルチシンク (AM) ブラインドボックス・縦ブラインド、足踏台 D600×W900	
	玄関	無筋コンクリート直均し仕上げ t 150 エポキシ樹脂塗床 (防滑)	1-01-3 +150			150	RC ④ 通り：複合板 (PFt=25+GB-Rt=12.5) 接着張りの上、EP塗り	2-03-6		LGS GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4		塩ビ	3-11-3	2,700 上框：ステンレス製 L-100×50×3 H.L	
	ホール	無筋コンクリート直均し仕上げ t 300 エポキシ樹脂塗床 (防塵)	1-01-3 +300			100	RC コンクリート打放し (B) の上、EP塗り RC ③ ④ 通り：複合板 (PFt=25+GB-Rt=12.5) 接着張りの上、EP塗り LGS GB-Rt=12.5 張りの上、EP塗り	2-02-7 2-03-6 2-03-1	同 左	LGS GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4		塩ビ	3-11-3 3-11-7	2,700 ブラインドボックス・縦ブラインド	
	洗面所・便所	乾式二重床 パーティクルボード t20+ 構造用合板 t12+ビニル床シート t2.0	+300			100	RC GB-St=12.5 (GL) 張りの上、化粧ケイカル板 t=6 接着貼り LGS GB-St=12.5 張りの上、化粧ケイカル板 t=6 接着貼り	2-03-18	同 左	LGS GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4		塩ビ	3-11-3 3-11-7	2,700 タオル掛け360L、トイレブース 洗面化粧台 (建築工事)、大便器 (AM)	
	P. S.	乾式二重床 パーティクルボード t20+ 構造用合板 t12+ビニル床シート t2.0	+300				RC コンクリート打放し (B) 仕上 LGS LGS 表し	2-02-7	同 左	LGS GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4				2,700	
	換気室2	無筋コンクリート直均し仕上げ t 300	1-01-3				RC コンクリート打放し (B) 仕上	2-02-7	同 左	RC コンクリート打放し (B) 仕上	3-01-11	同 左			タラップ：ステンレス製 [8-31-1] 落下防止チェーン、フック	
	DS	コンクリート直均し仕上	1-01-3 ±0				RC コンクリート打放し (B) の上、 グラスウールGC張り t50	2-02-13	同 左	RC コンクリート打放し (B) の上、 グラスウールGC張り t50	3-01-12	同 左				
共 通	階段室	段部：コンクリート直均しの上、エポキシ樹脂塗床 (防滑) 無筋コンクリート直均し仕上げ t 300の上、エポキシ樹脂塗床 (防滑)	1-01-3 +300			100	RC コンクリート打放し (B) の上、EP塗り エポキシ樹脂塗装塗り (防滑)	2-02-7	同 左	RC コンクリート打放し (B) の上、 (2重スラブ) EP塗り	3-01-11	同 左			2,700 ノンスリップ：ステンレス製 W=50、手摺：アルミ手摺	
	チャンパー	コンクリート直均し仕上	1-01-3 ±0				RC コンクリート打放し (B) の上、 グラスウールGC張り t50	2-02-13	同 左	RC コンクリート打放し (B) の上、 グラスウールGC張り t50	3-01-12	同 左				



延床面積

①	16.50×18.85	= 311.025
②	0.6×0.6×(1-π/4)×4 = 0.3096	
1階床面積 計		310.7154
1階床面積		310.71㎡
③	16.50×13.00	= 214.50
④	0.6×0.6×(1-π/4)×2 = 0.1548	
2階床面積 計		214.3452
2階床面積		214.34㎡
延床面積 合計		525.05㎡

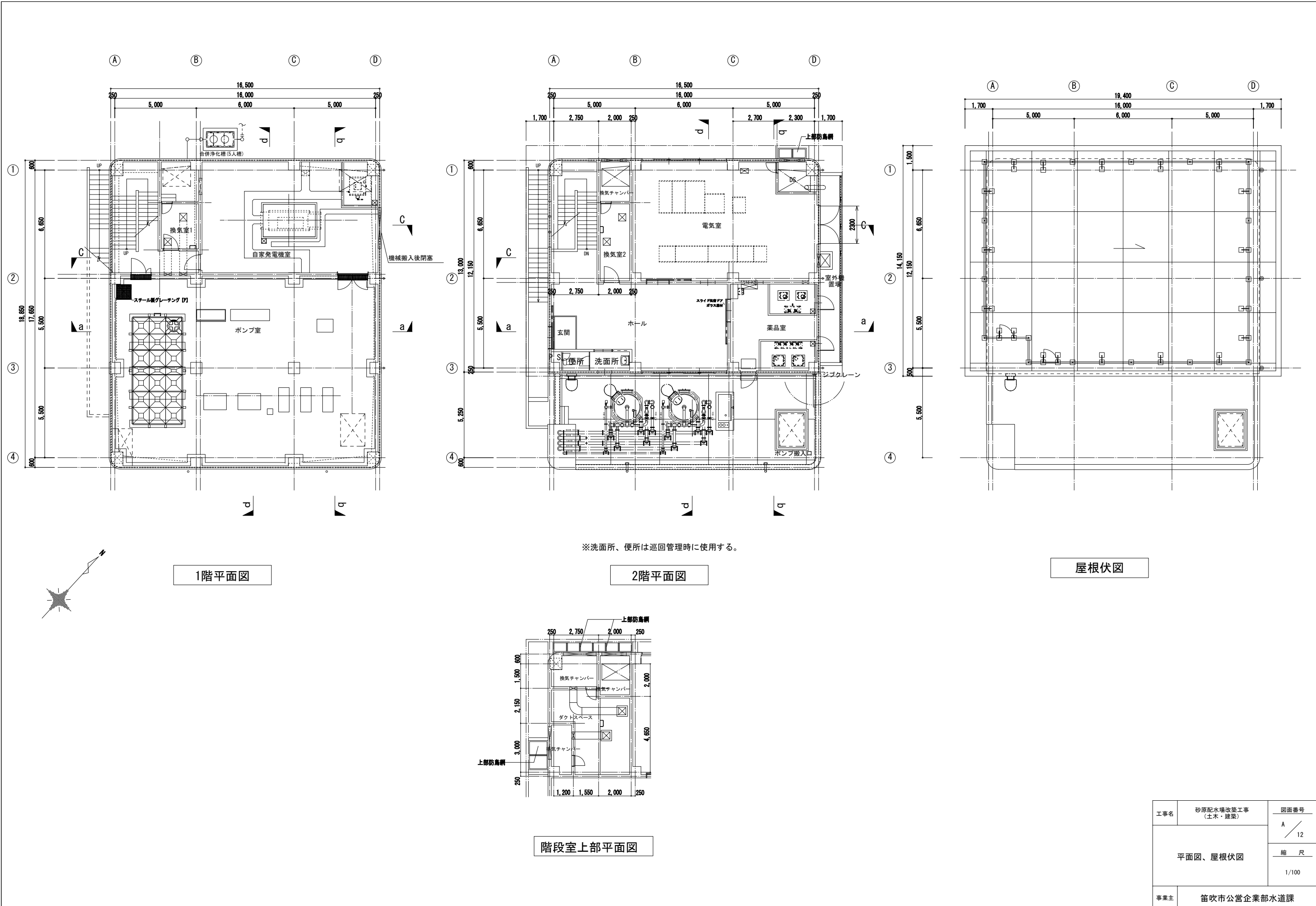


建築面積

1	16.50×18.85	= 311.025
2	0.51×14.34	= 7.3134
3	0.45×12.30	= 5.535
4	0.45×0.35	= 0.1575
5	0.6×0.6×(1-π/4)×4 = 0.3096	
建築面積 合計		323.72㎡

有窓・無窓の判定（消防法）						
1 階						
床面積の1/30	符号	W	H	窓数	開口面積	備考
10.36	合計				0	無窓階
2 階						
床面積の1/30	符号	W	H	窓数	開口面積	備考
	AW1	0.90	2.40	2	4.32	引違い：部分破壊：半分有効
	AW2	0.90	2.20	2	3.96	引違い：部分破壊：半分有効
	AW3	0.85	2.00	2	3.40	片開き：部分破壊
7.15	合計				< 11.68	有窓階

工事名	砂原配水場改築工事 （土木・建築）	図面番号
仕上表、面積表		A 11
		縮 尺
		—
事業主	苗吹市公営企業部水道課	

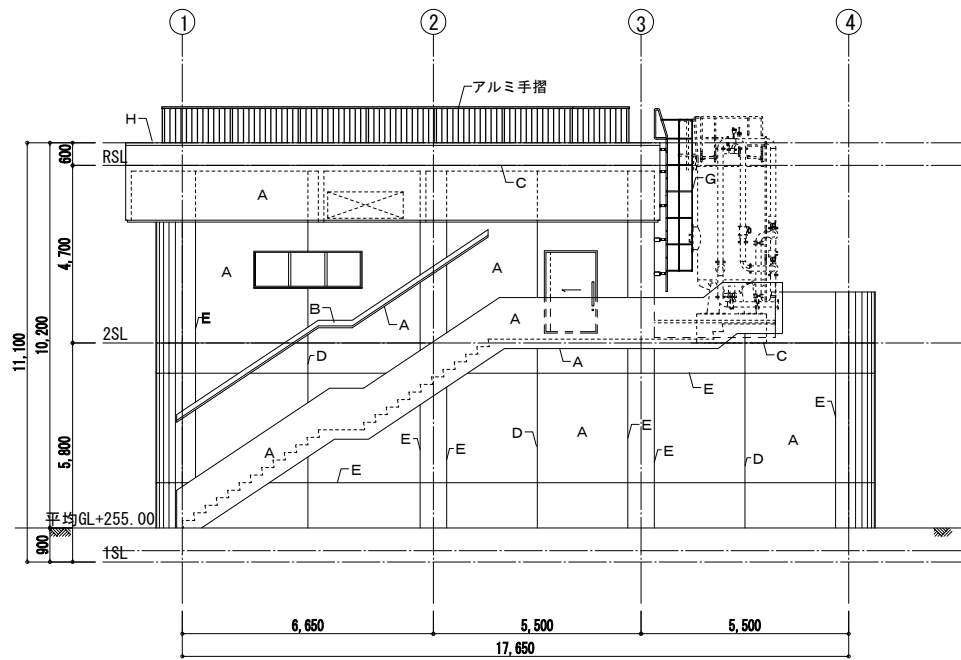


※洗面所、便所は巡回管理時に使用する。

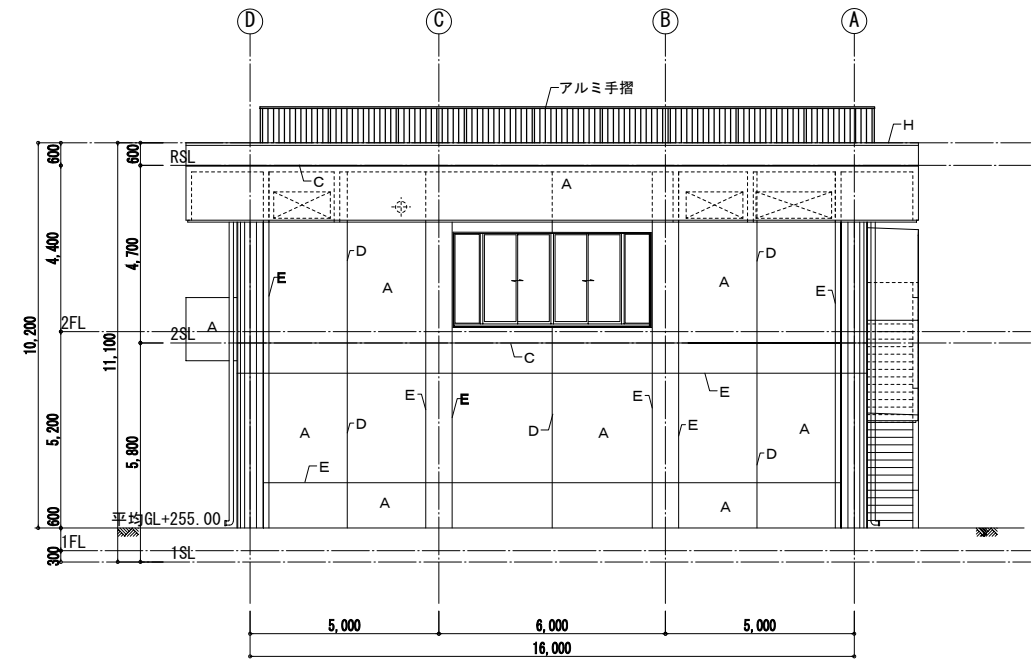
屋根伏図

階段室上部平面図

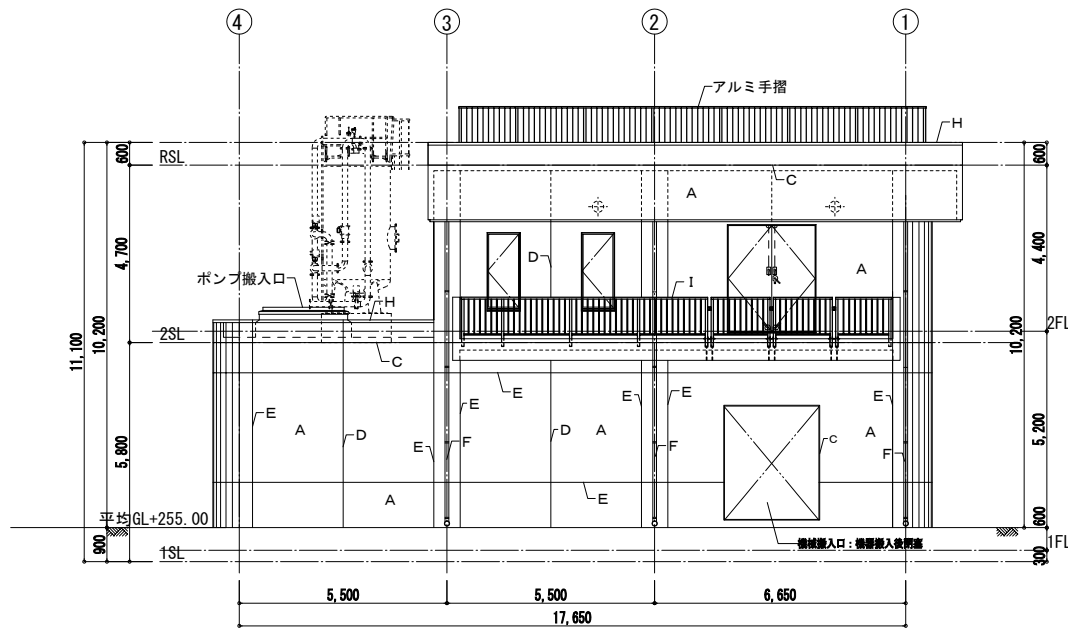
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
平面図、屋根伏図		A / 12
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



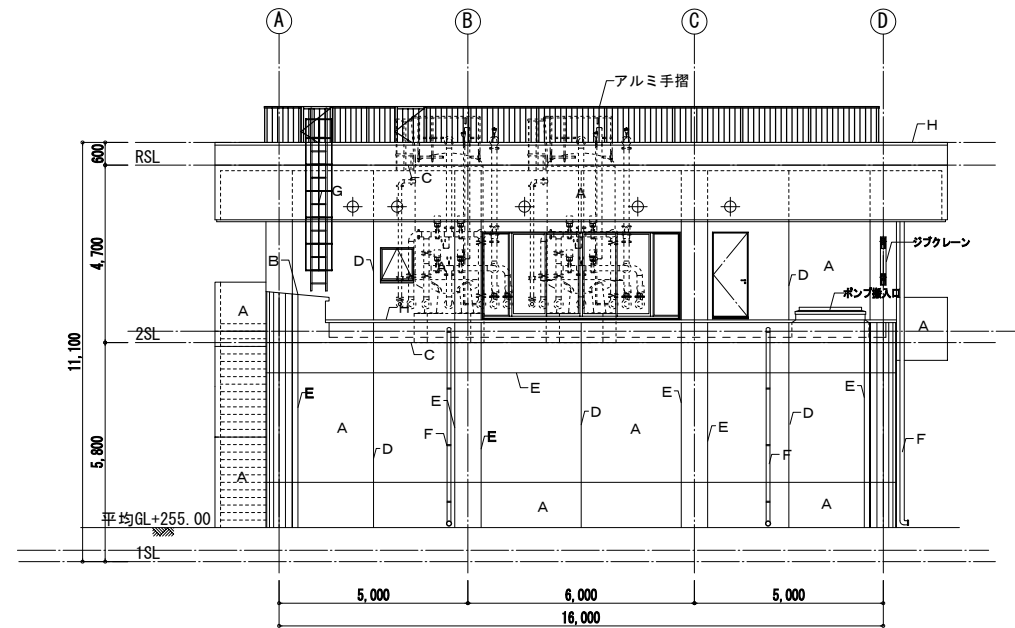
西立面图



北立面图



東立面图

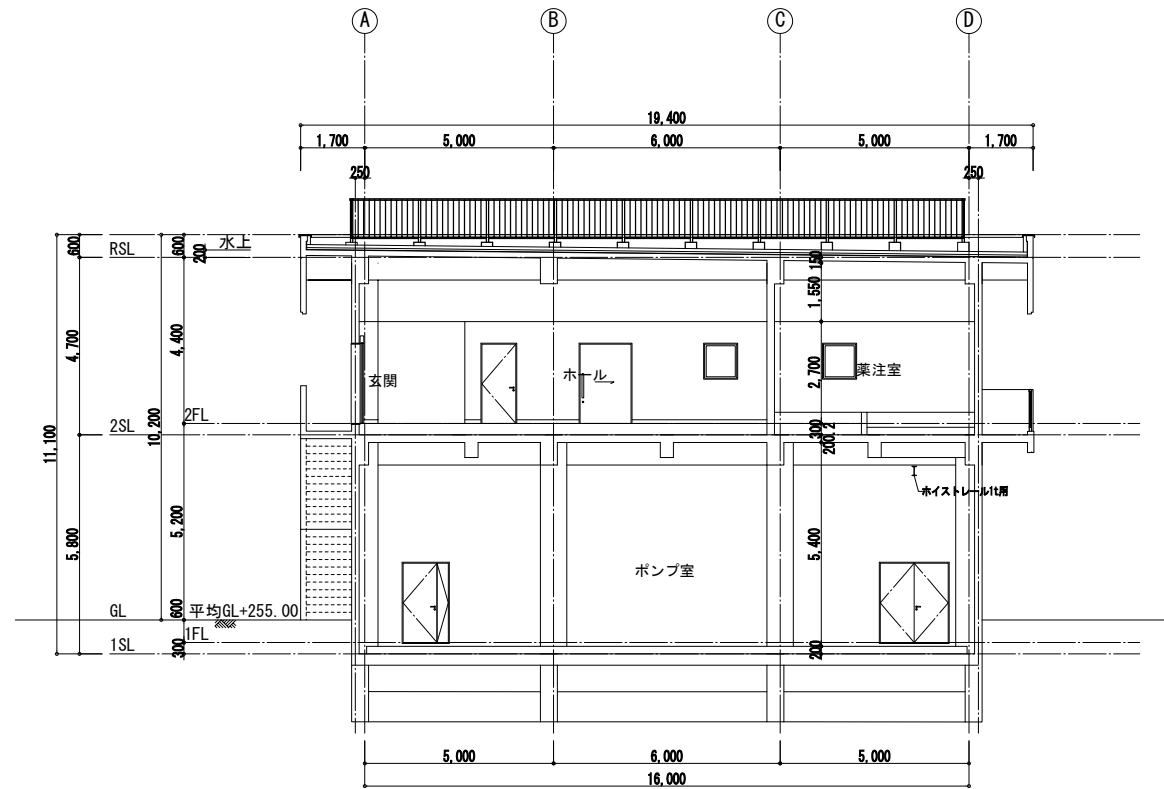


南立面图

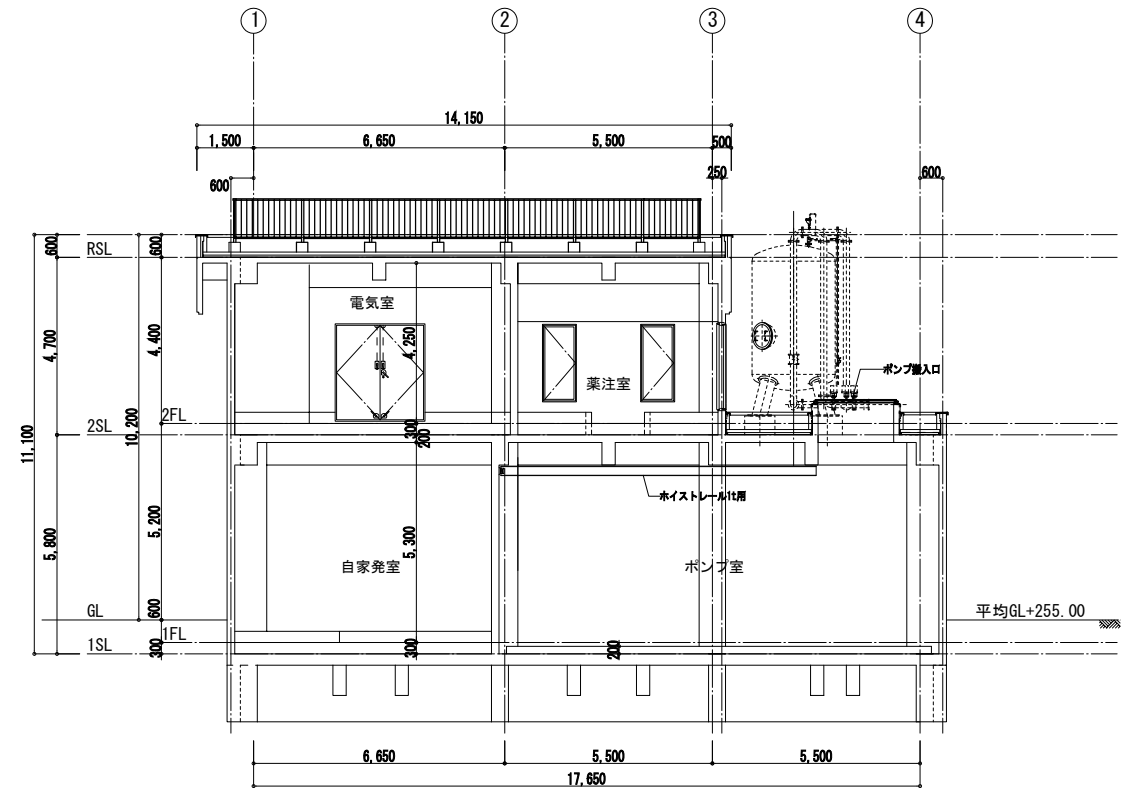
外部仕上表：凡例

A	外壁・巾木・軒裏	コンクリート打放し(B)の上（7か/20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー）〈2-02-11〉
B	庇：天端・鼻先・ケラバ	天端：直均しの上、ウレタン系塗膜防水（X-2）鼻先・ケラバ：打放し（B）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2）
C	打継目地	PU-2 〈2-02-8〉 W=20
D	ひび割れ誘発目地	PU-2 〈2-02-9〉 W=20
E	ひび割れ誘発目地	PU-2 〈2-02-9〉 W=40
F	縦 樋	ステンレス管 100A
G	タラップ	ステンレス製（安全ガード付）[8-31-3]
H	笠 木	アルミ製、W=325
I	手摺（室外機置場）	アルミ製、一部着脱式

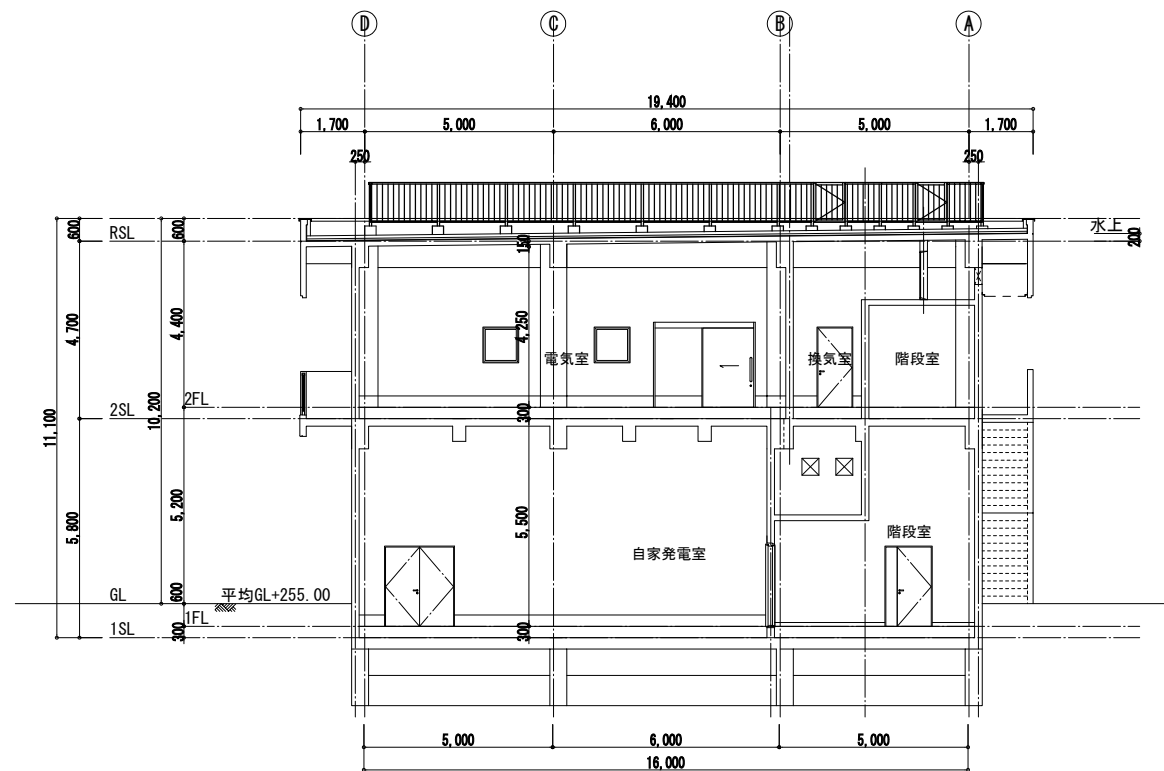
工事名	砂原配水場改築工事 （土木・建築）	図面番号
立面图		A / 13
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



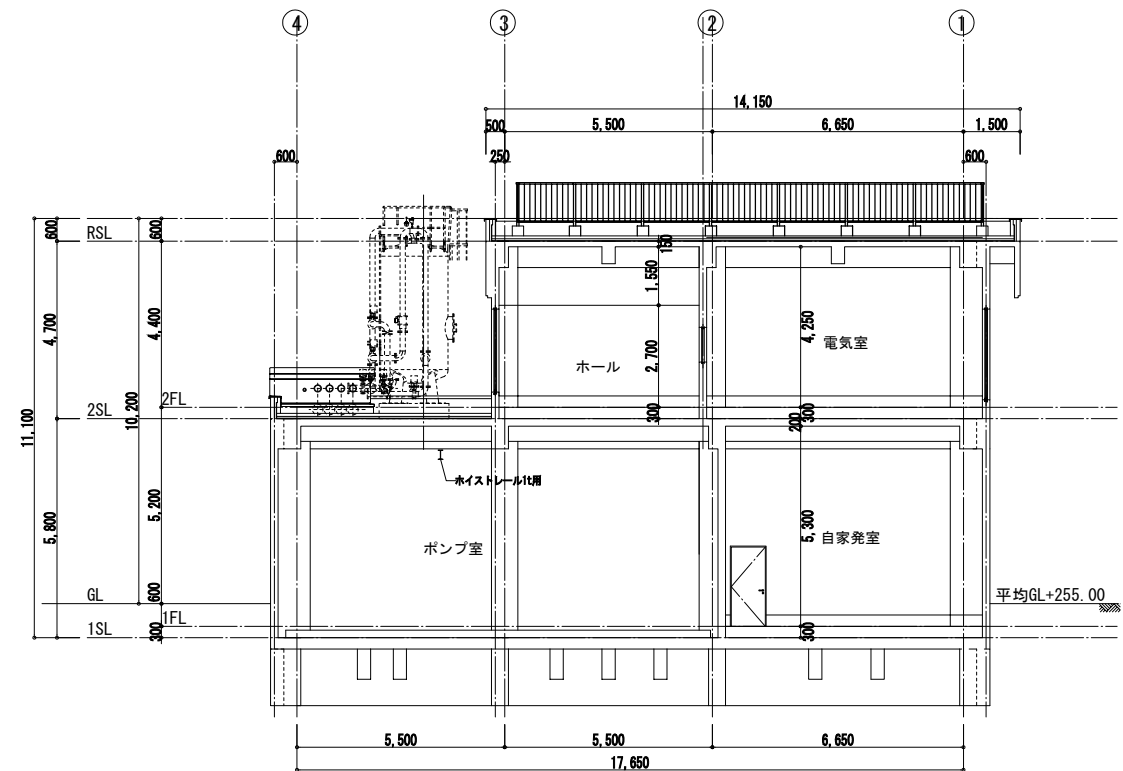
a-a断面図



b-b断面図

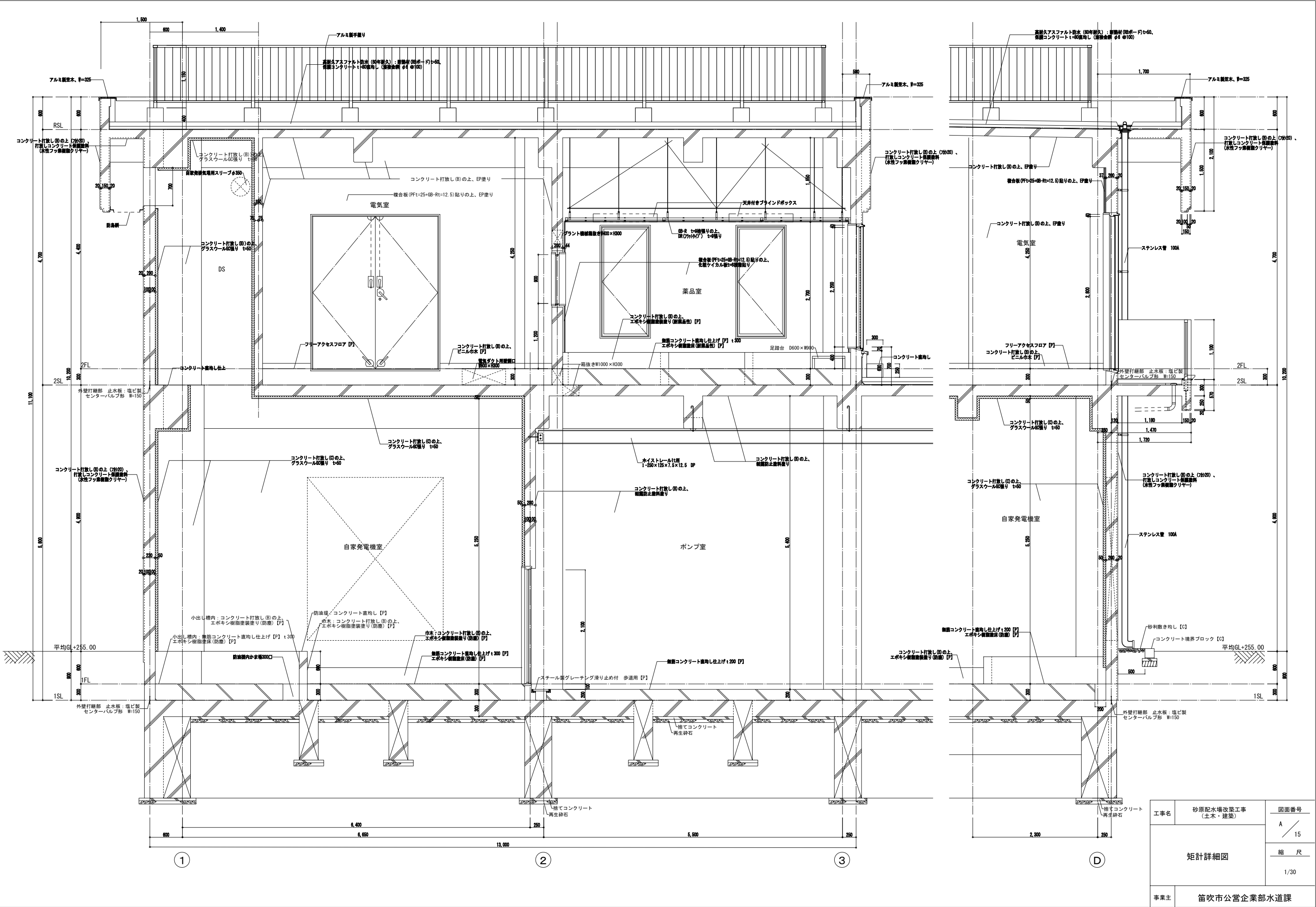


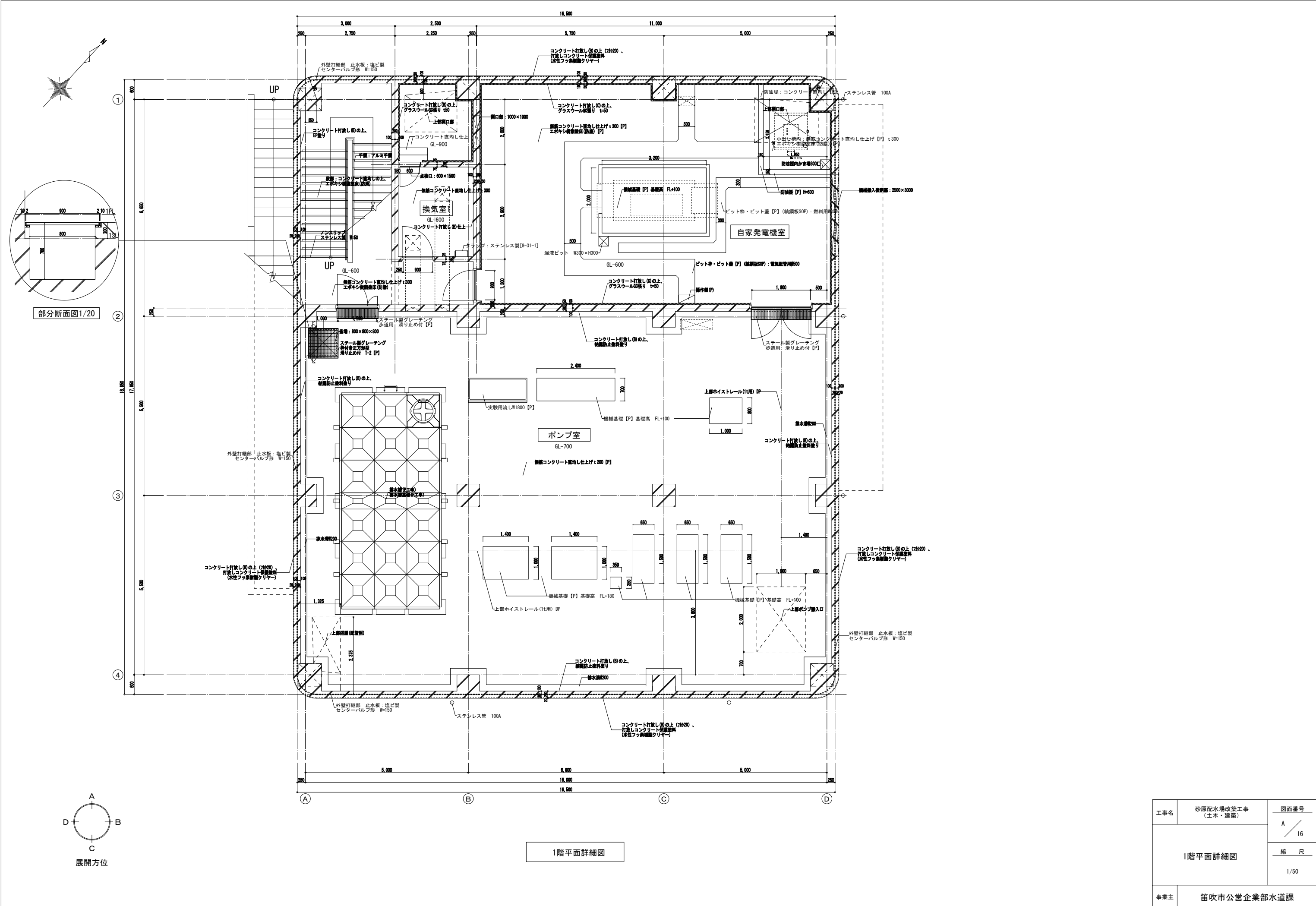
c-c断面図



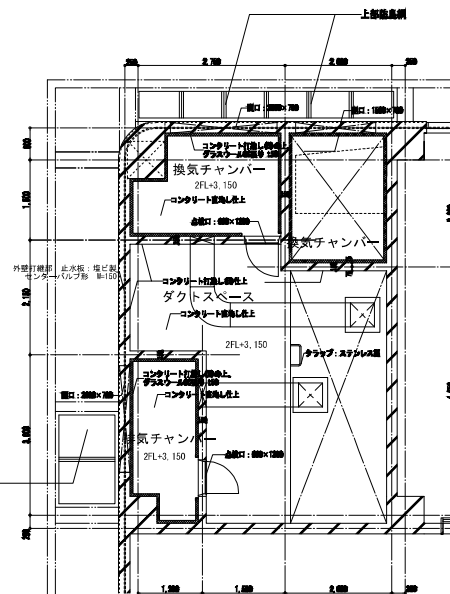
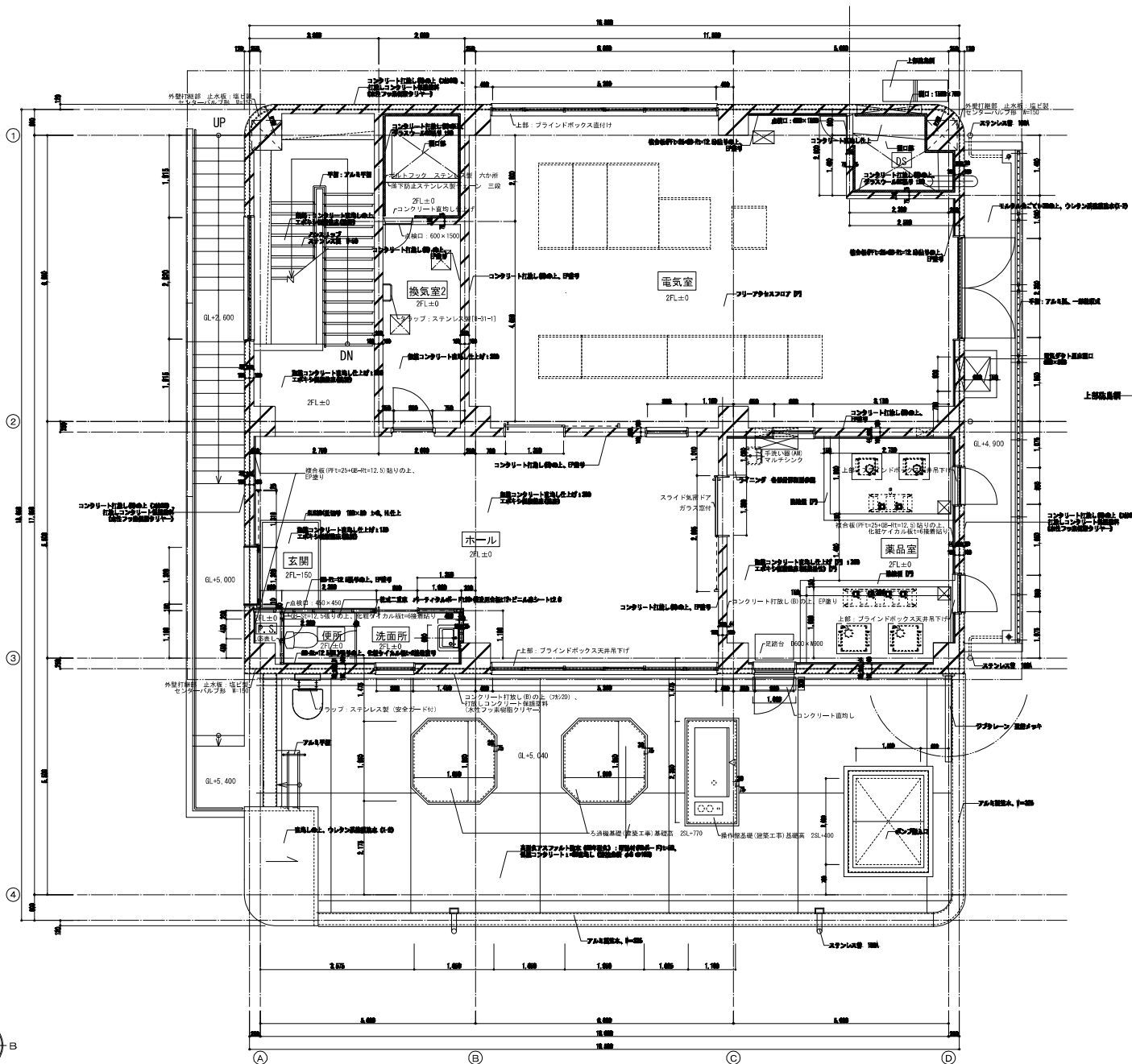
d-d断面図

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
断面図		A / 14
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	





工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
1階平面詳細図		A / 16
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

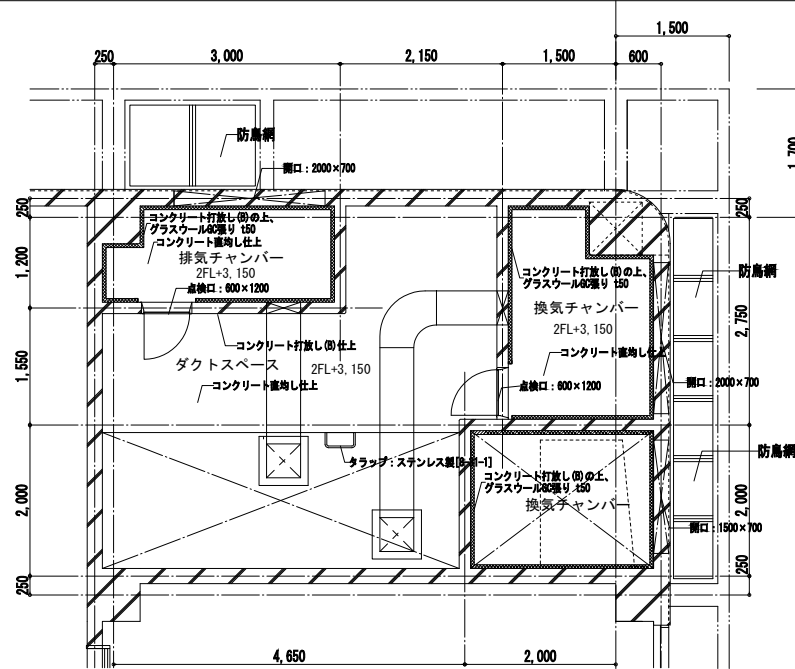


階段室上部平面詳細図

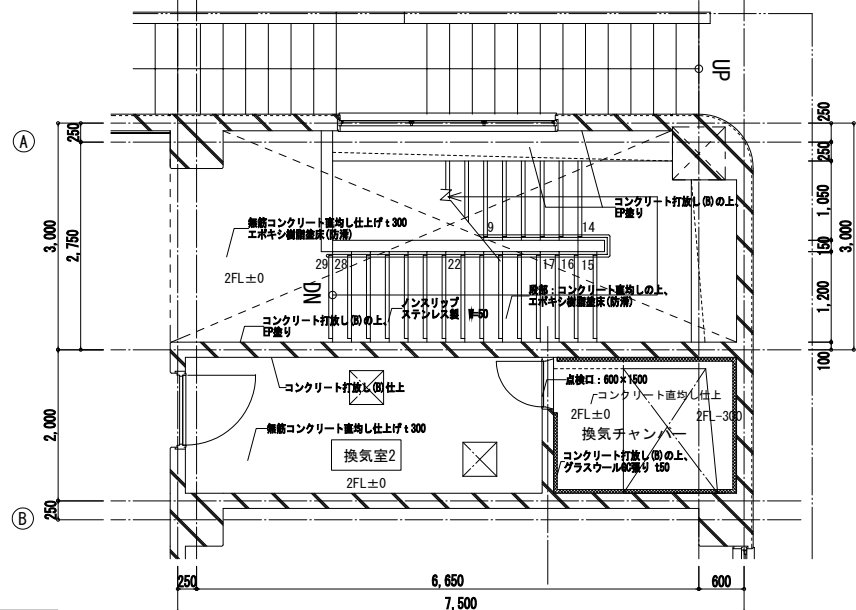
2階平面詳細図

工事名	砂原配水場改修工事 (土木・建築)	図面番号	A 17
2階平面詳細図		縮尺	1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課		

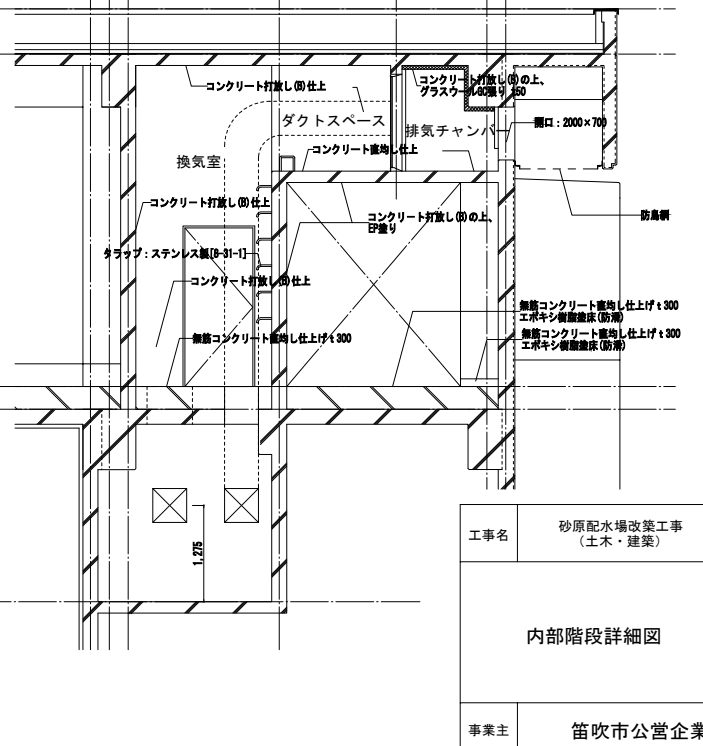
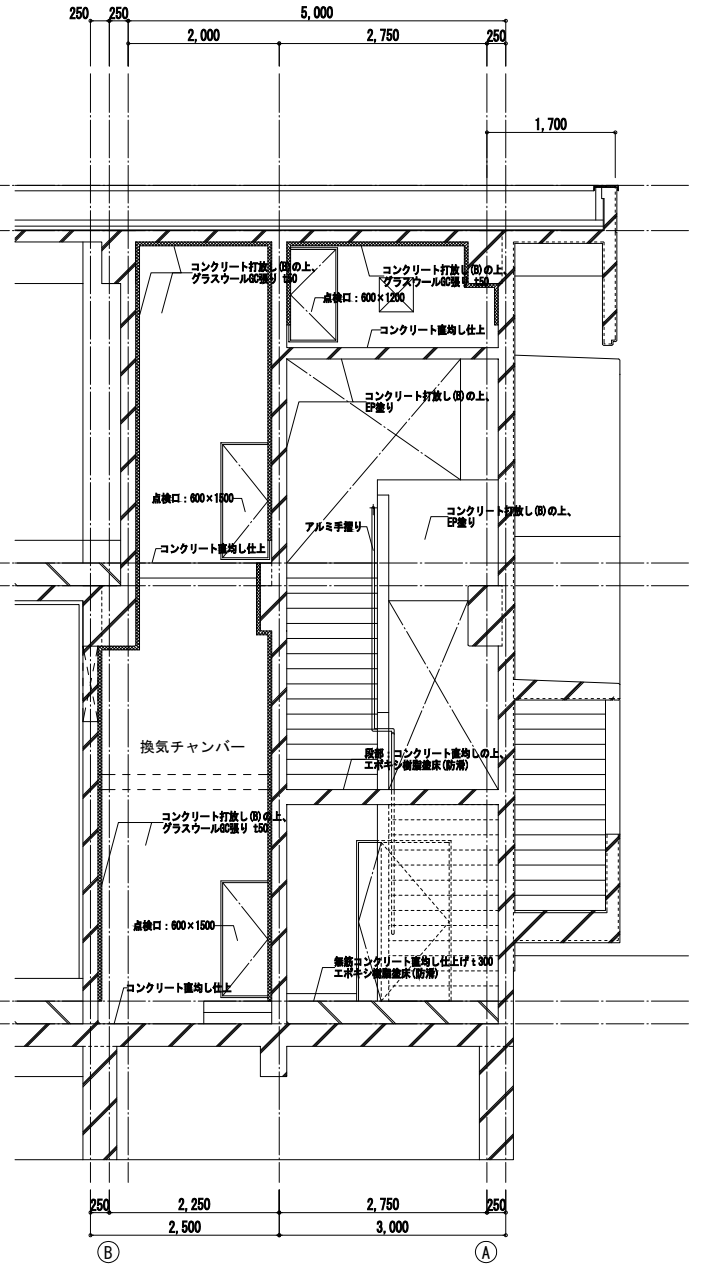
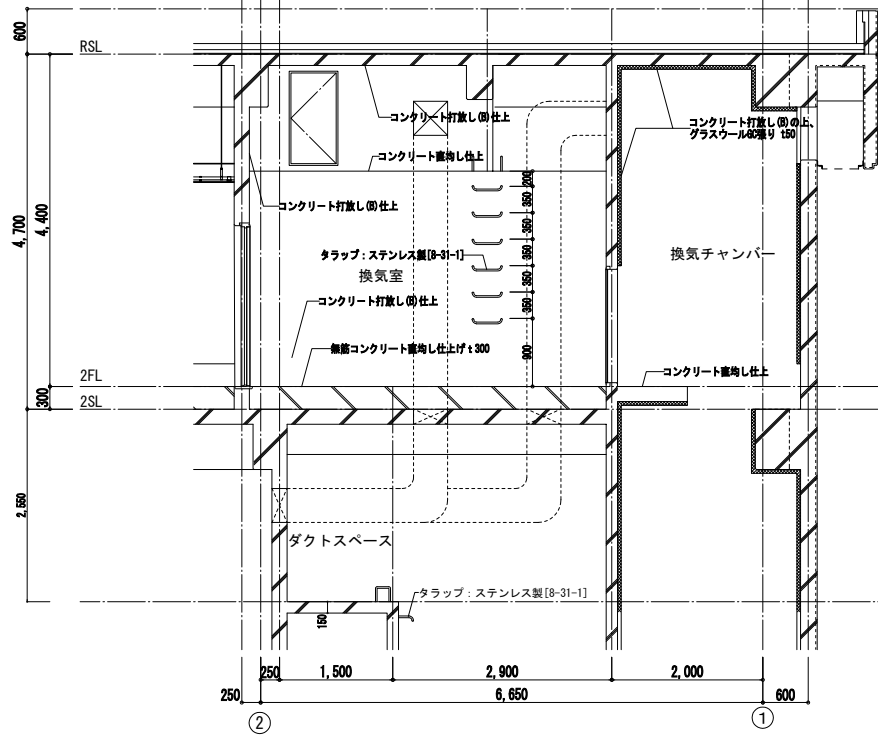
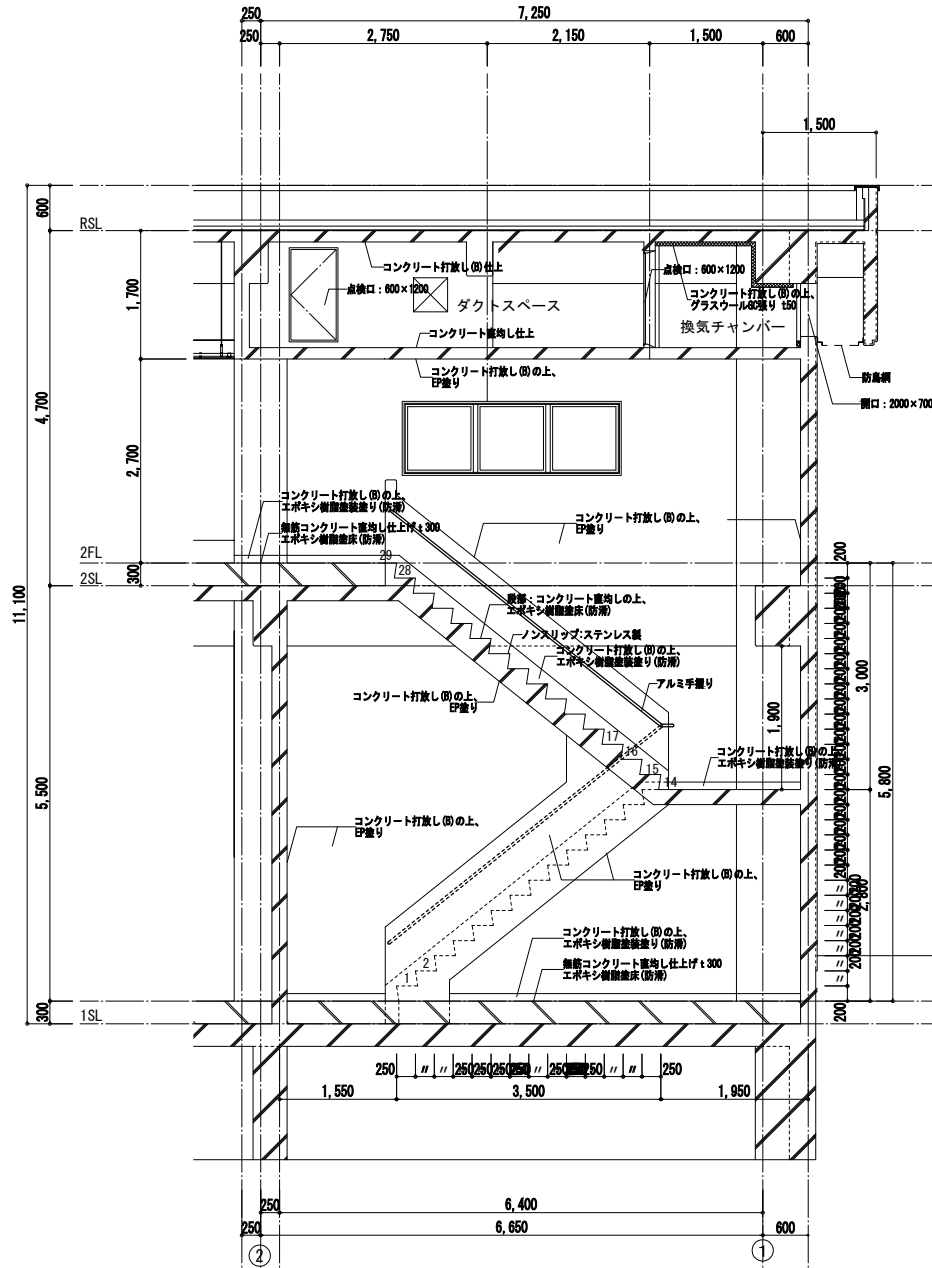
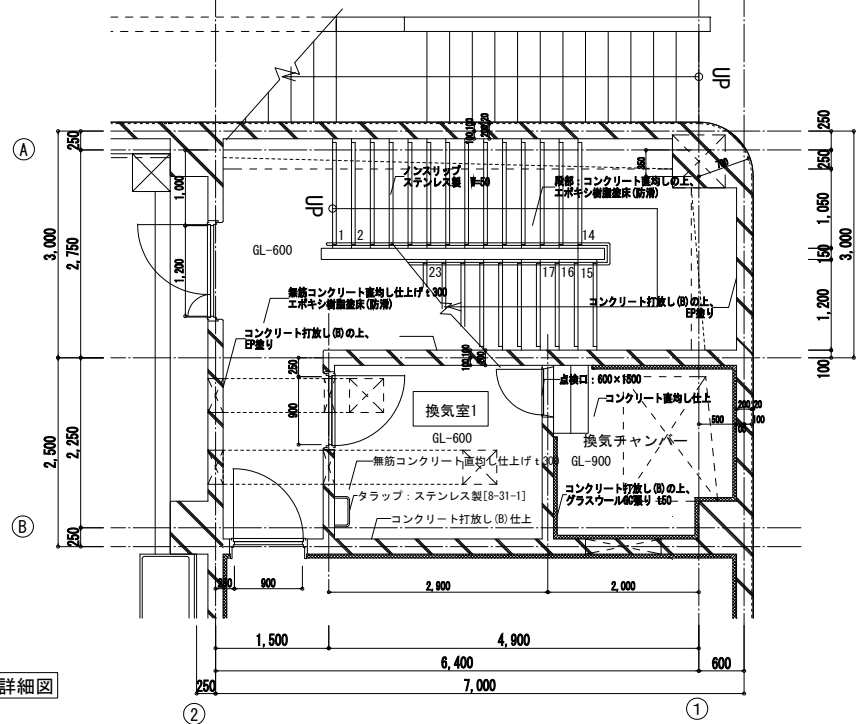
階段室上部平面詳細図



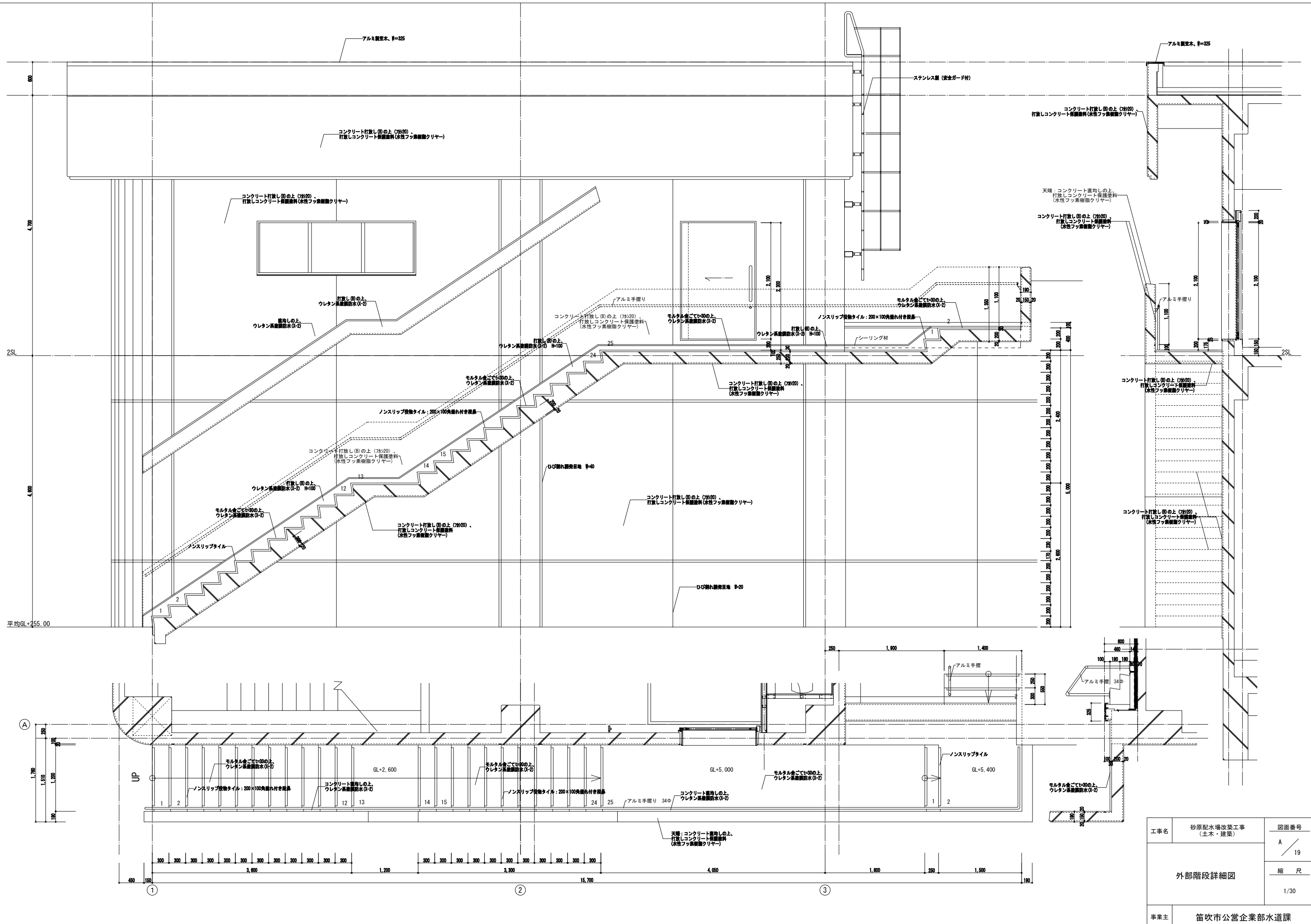
2階平面詳細図

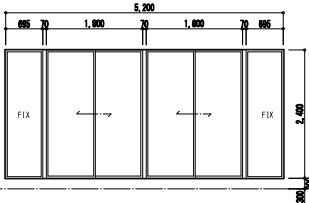
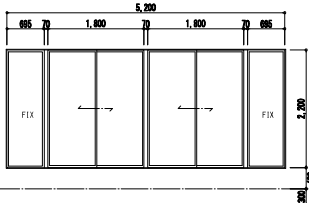
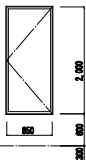
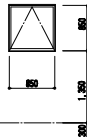
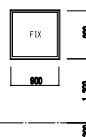
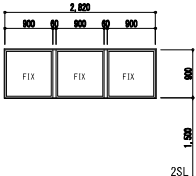
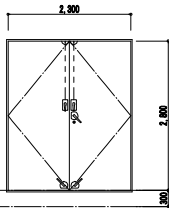
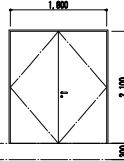
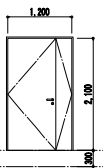
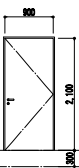
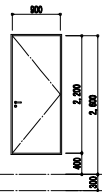
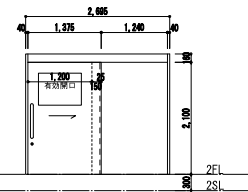
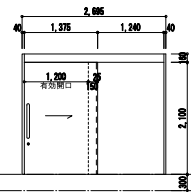
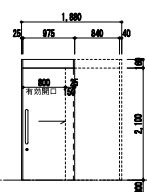
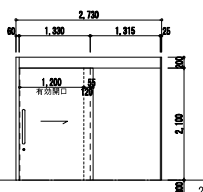
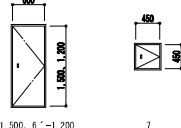
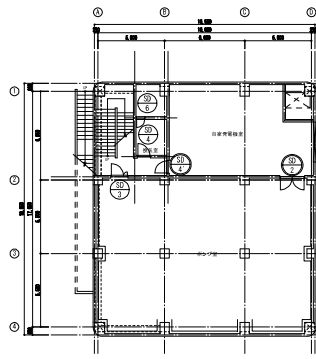
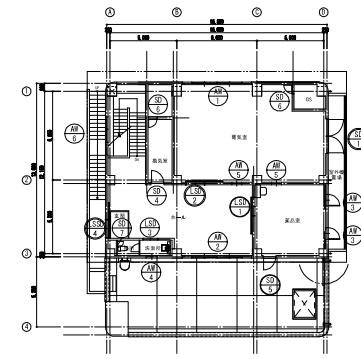
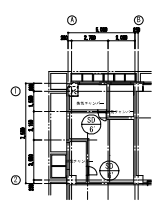


1階平面詳細図



工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	A / 18
内部階段詳細図		縮尺	1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課		



記号・数量	AW1 アルミ製引違窓+嵌め殺し窓	1	AW2 アルミ製引違窓+嵌め殺し窓	1	AW3 アルミ製片開き窓	2	AW4 アルミ製滑り出し窓	1	AW5 アルミ製嵌め殺し窓	2	AW6 アルミ製嵌め殺し窓	1		
使用場所	電気室		ホール		薬品室		洗面所		電気室・ホール、薬品室		階段室			
形状・寸法														
仕上	B-2		B-2		B-2		B-2		B-2		B-2			
建具見込														
枠見込	70		70		70		70		70		70			
硝子	複層ガラスPW6, 8+A6+Low-EFL5		複層ガラスPW6, 8+A6+Low-EFL5		複層ガラスPW6, 8+A6+Low-EFL5		PW6, 8		PW6, 8		PW6, 8			
金物	附属金物 1 式		附属金物 1 式		附属金物 1 式		附属金物 1 式		附属金物 1 式		附属金物 1 式			
備考	アルミ製額縁：D115、水切り：D100、網戸（SUS）		アルミ製額縁：D75、水切り：D100、網戸（SUS）		アルミ製額縁：D120、水切り：D100、網戸（SUS）		アルミ製額縁：D105、水切り：D100、網戸（SUS）		電気室・ホール：アルミ製額縁：D75 薬品室：アルミ製額縁：D120		アルミ製額縁：D75、水切り：D100			
記号・数量	SD1 銅製両開き扉 （防火設備、AT・簡易気密扉）	1	SD2 銅製両開き扉（特定防火設備）	1	SD3 銅製親子開き扉	1	SD4 SD4' 銅製片開き扉	3	SD5 銅製片開き扉（AT・簡易気密扉）	1	LSD1 銅製軽量片引き扉（AT・簡易気密扉） 戸袋なし納まり	1	LSD2 銅製軽量片引き扉（防火設備） 戸袋なし納まり	1
使用場所	電気室		自家発電機室-ポンプ室		階段室-ポンプ室		換気室、自家発電機室（特定防火設備）		薬品室		薬品室		電気室	
形状・寸法														
仕上	t=2.3スチールフラッシュ DP		t=1.6スチールフラッシュ SOP		t=1.6スチールフラッシュ SOP		t=1.6スチールフラッシュ SOP		t=1.6スチールフラッシュ DP		t=0.6スチールフラッシュ SOP		t=0.6スチールフラッシュ SOP	
建具見込	60		40		40		40		40		40		40	
枠見込	170		120		120		120		120		365、265		320、220	
硝子											FL5			
金物	大型戸当たり、片面締りハンドル、 両面締りハンドル、大型上げ落し、丁番（3枚）		シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、DC、戸当たりゴム		シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、DC、戸当たりゴム		シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、DC、戸当たりゴム		シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、DC、戸当たりゴム		シリンダー錠、引き棒、戸当たりゴム		シリンダー錠、引き棒、戸当たりゴム	
備考	銅製額縁 D70・DP、吝措：ステンレス製		銅製額縁 D60・SOP 吝措：ステンレス製		吝措：ステンレス製		銅製額 D150（自家発電）・SOP 吝措：ステンレス製		銅製額縁D165・DP 吝措：ステンレス製		銅製額縁D365、265・SOP		銅製額縁D320、220・SOP	
記号・数量	LSD3 銅製軽量片引き扉 戸袋ボード納まり	1	LSSD4 ステンレス製軽量片引き扉（外部用） （防火設備）戸袋なし納まり	1	SD6 SD6'AT SD6' SD7 銅製片開き点検口	6-3 6-2 7-1								
使用場所	洗面所		玄関		チャンバー室、DS、便所									
形状・寸法						7								
仕上	t=0.6スチールフラッシュ SOP		t=0.5ステンレスフラッシュ H、L		t=1.6スチールフラッシュ SOP									
建具見込	40		40		20									
枠見込	325、225		355、275		25									
硝子														
金物	シリンダー錠、引き棒、戸当たりゴム		郎込錠錠、引き棒、戸当たりゴム		ワンタッチ平面ハンドル錠、固定軸径8φ									
備考	銅製額縁D325、225・SOP		ステンレス製額縁D355、275・H、L											

凡例

PW：納入り磨き板ガラス

FW：納入り型板ガラス

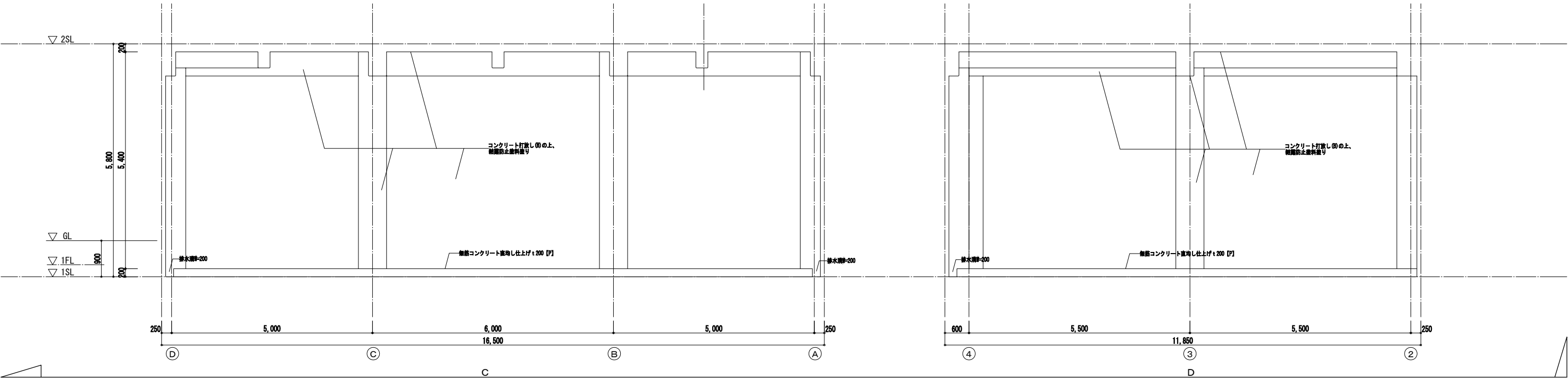
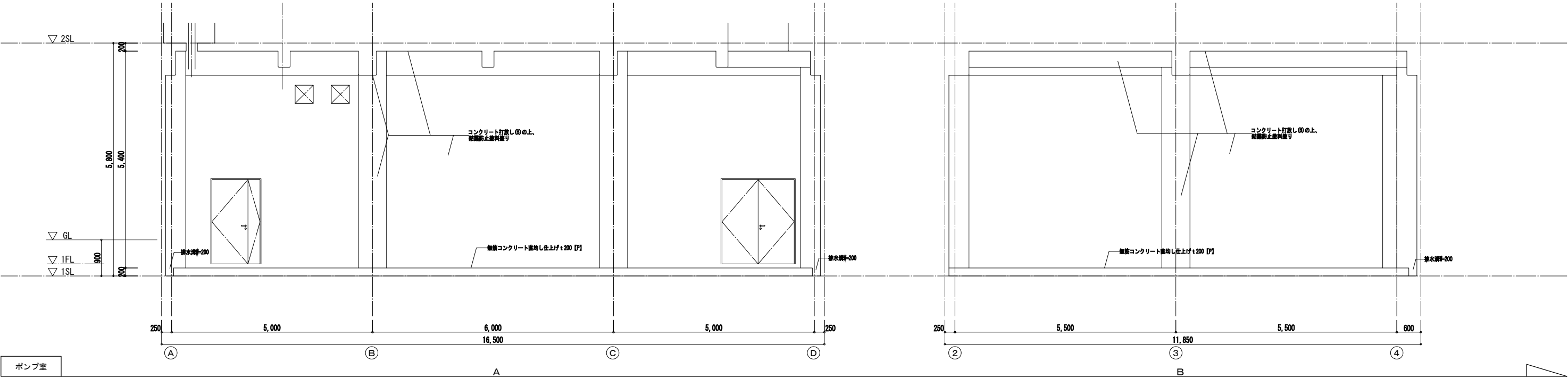
* 丁番はすべてステンレス製とする。

* B-2：着色陽極酸化塗装複合皮膜

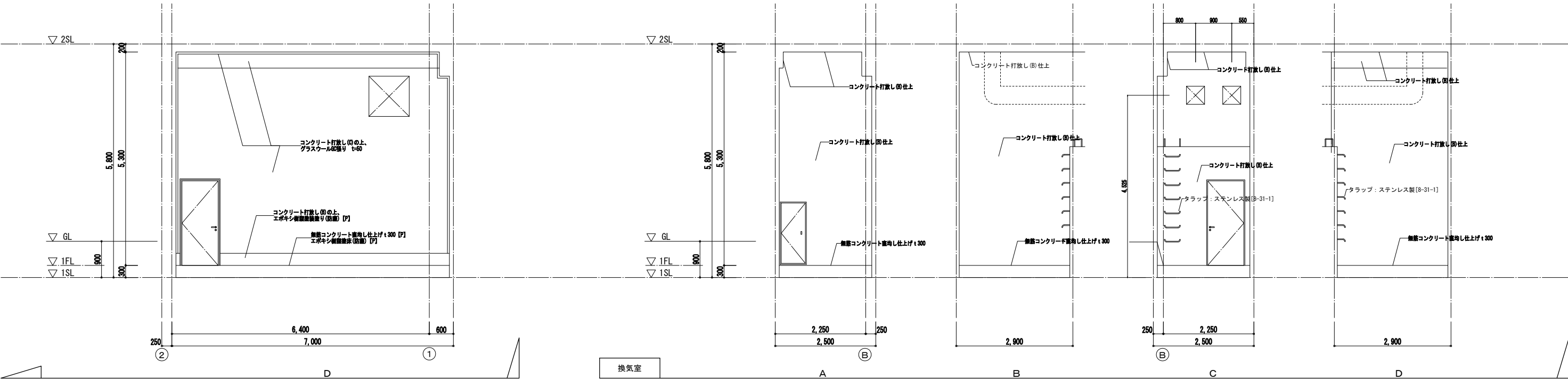
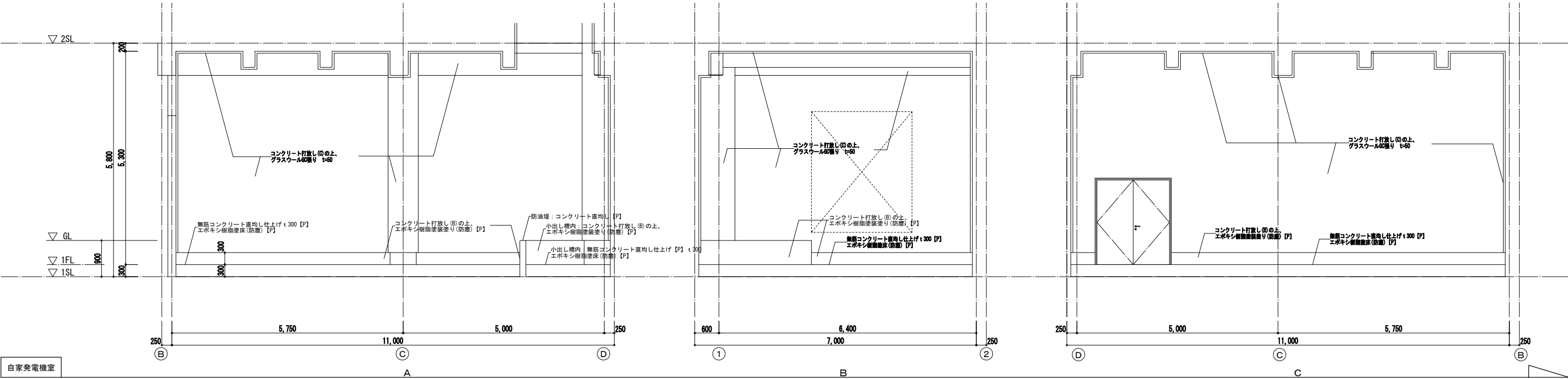
工事名	砂原和水場改修工事 （土木・建築）	図面番号	A / 20
建具表、建具キープラン		縮尺	—
事業主	富吹市公営企業部水道課		

凡例
PW：網入り磨き板ガラス
FW：網入り型板ガラス
*丁番はすべてステンレス製とする。
*B-2：着色陽極酸化塗装複合皮膜

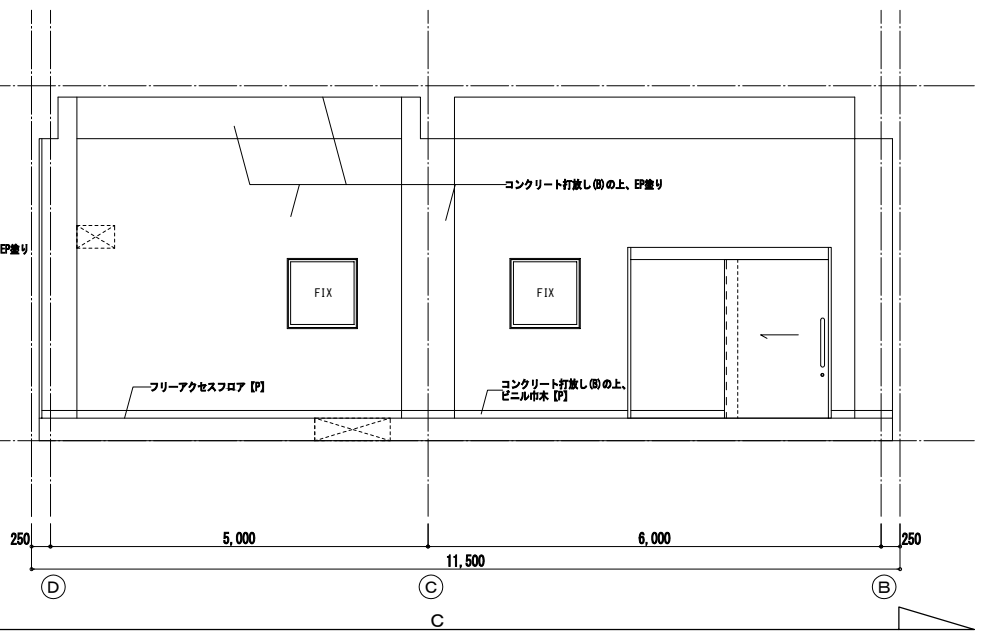
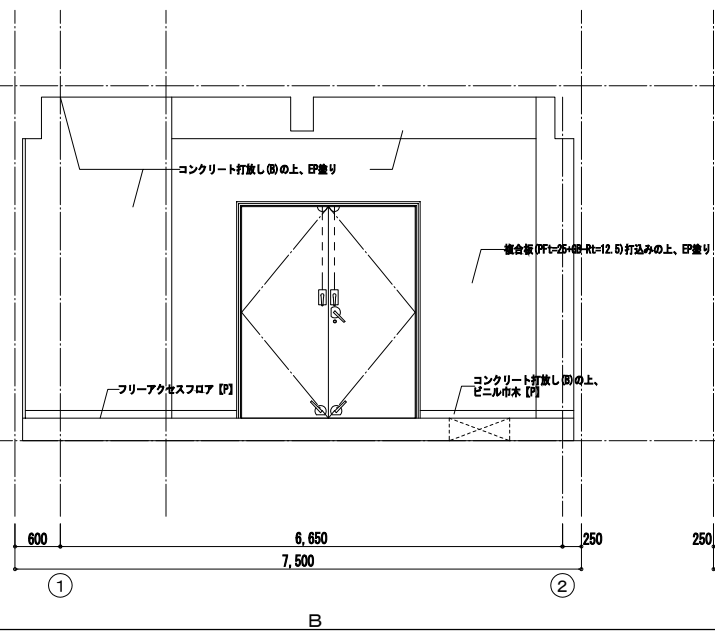
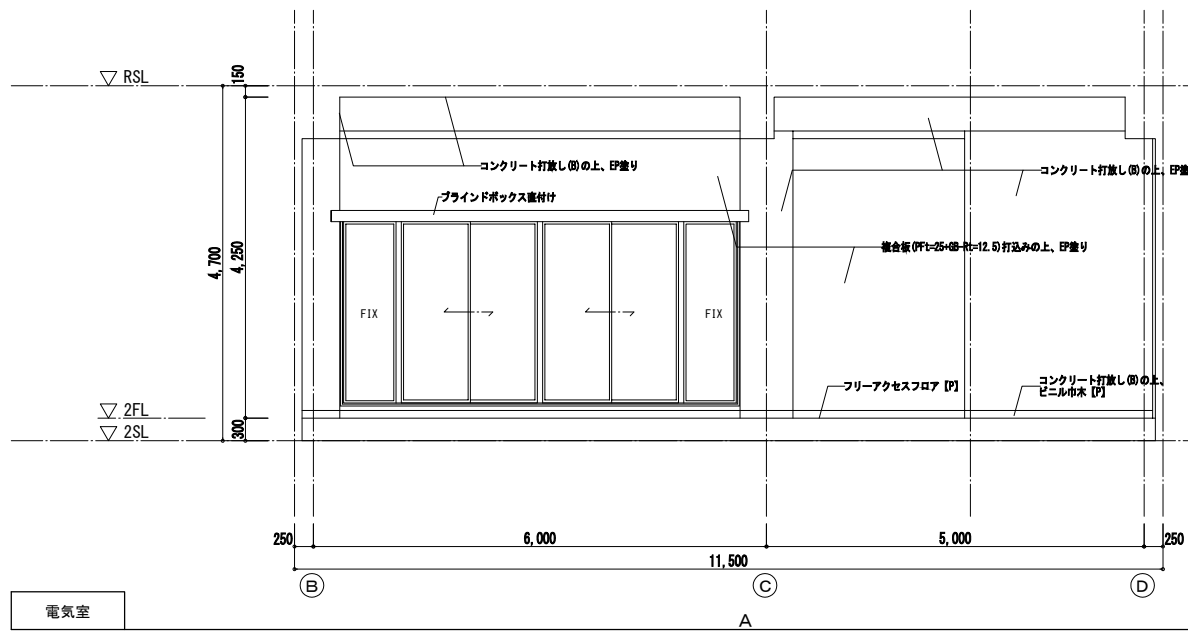
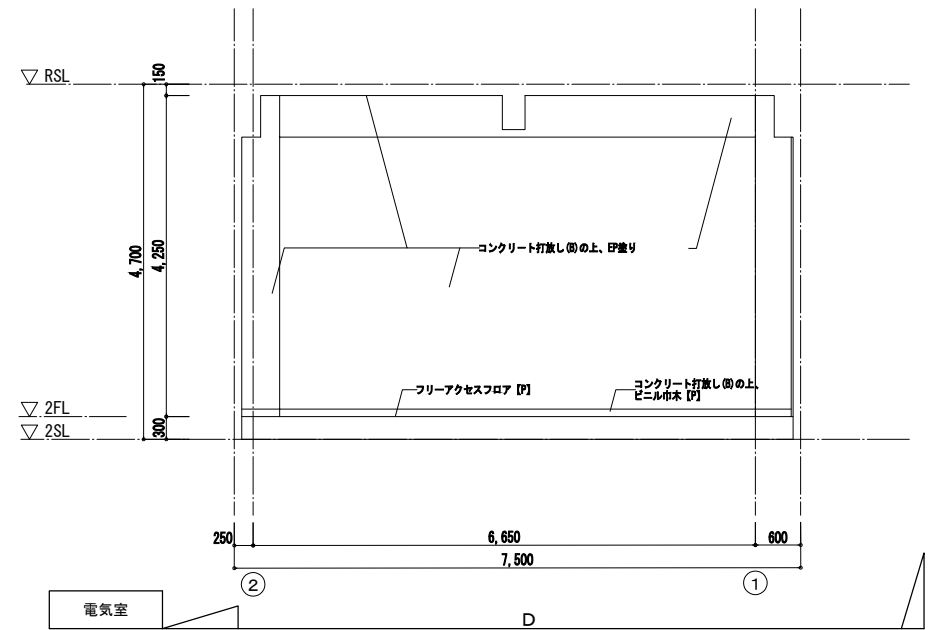
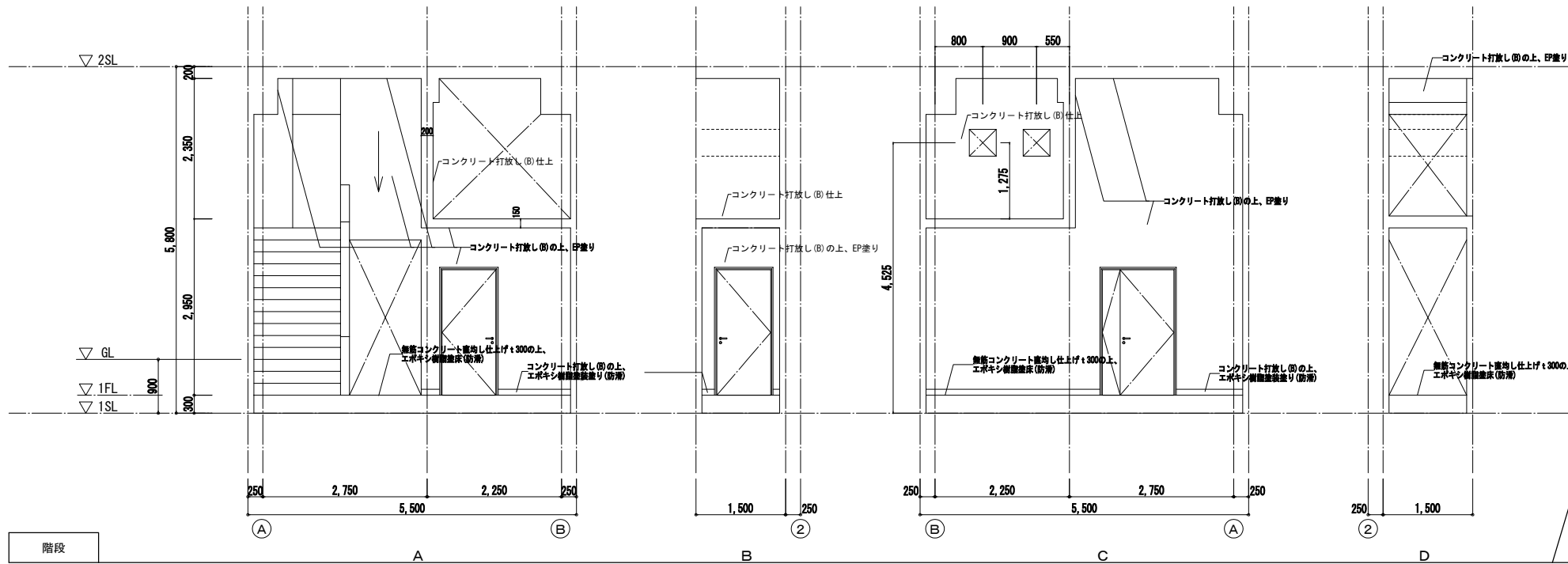
工事名	砂防排水場改築工事 （土木・建築）	図面番号 A 20
建具表、建具キープラン		縮尺 —
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



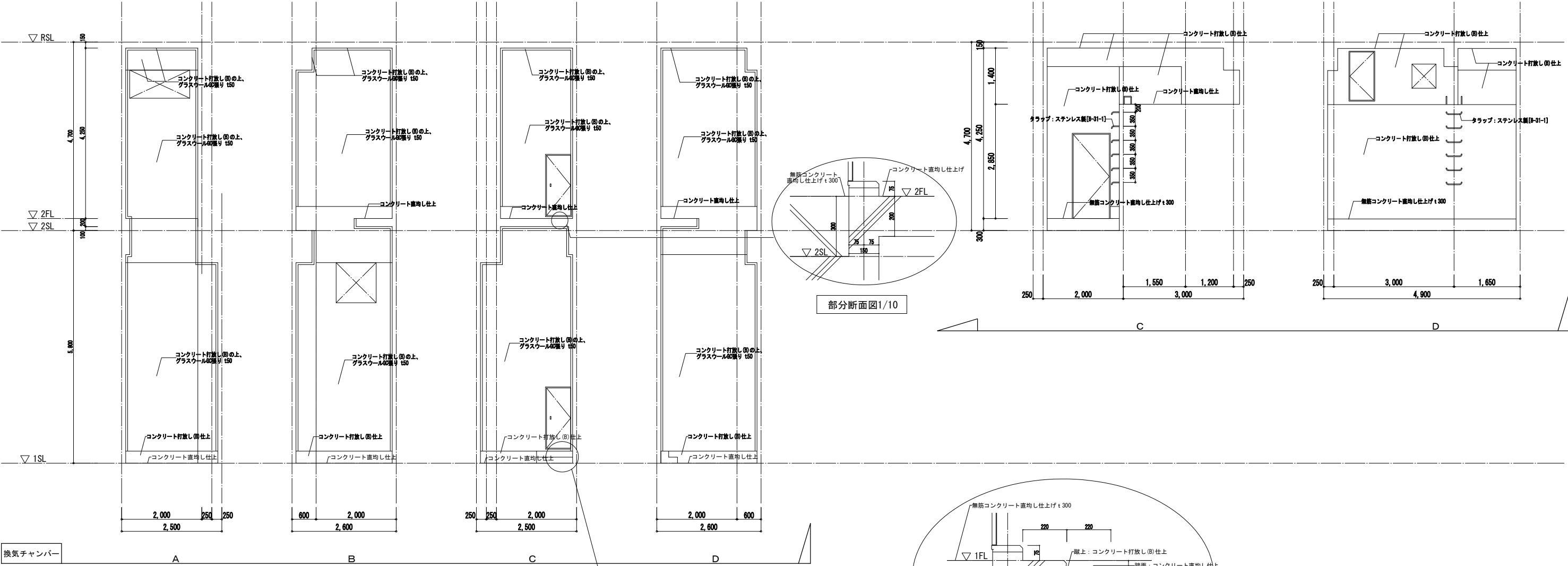
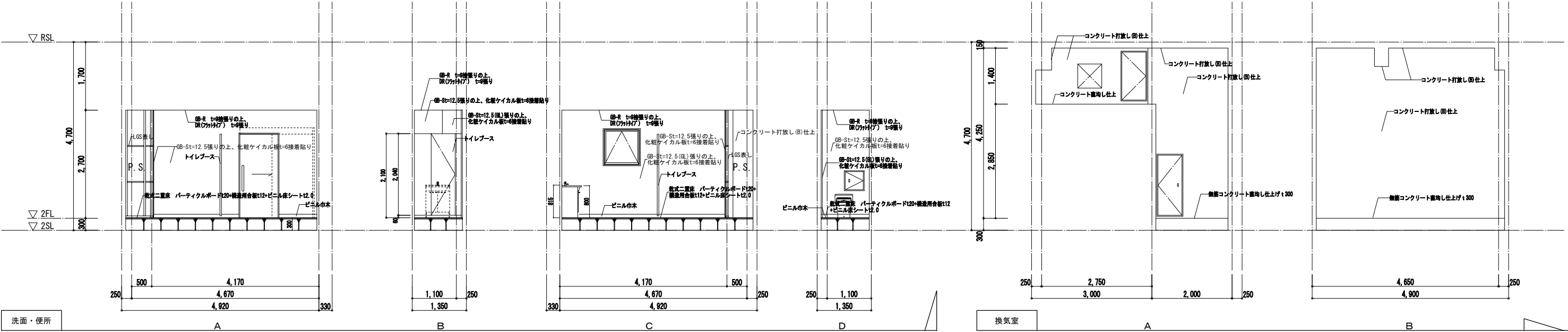
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
展開図1		A / 21
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



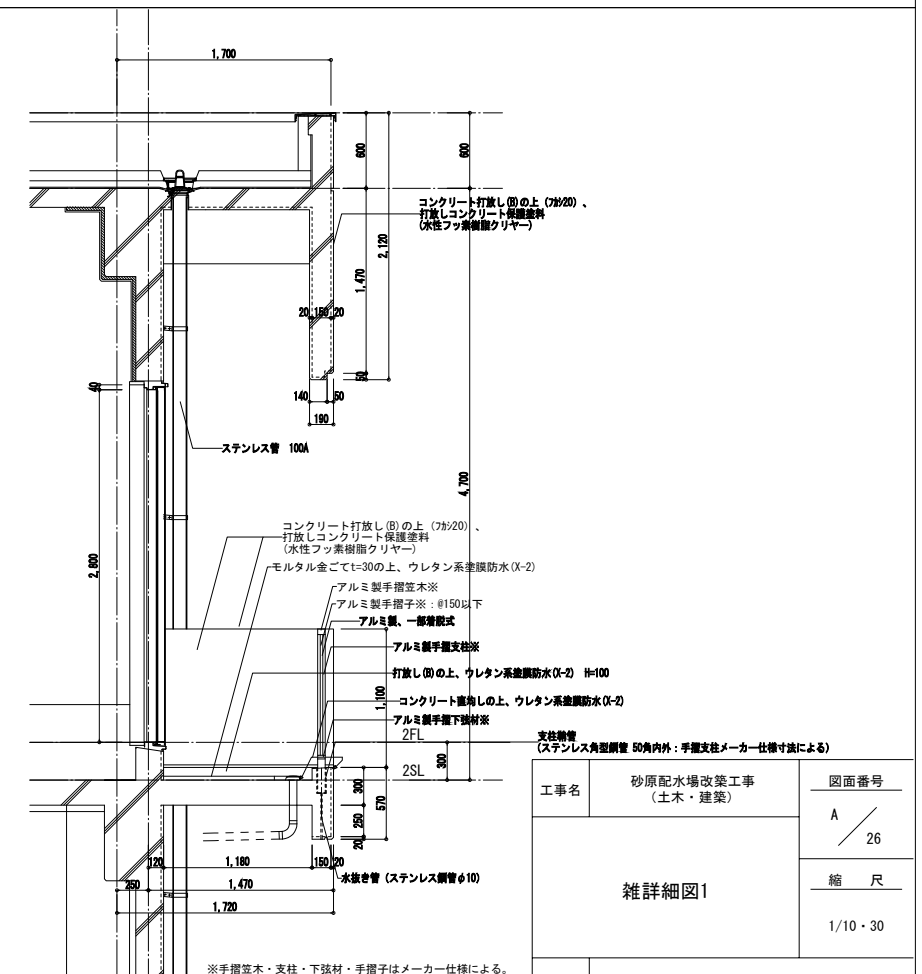
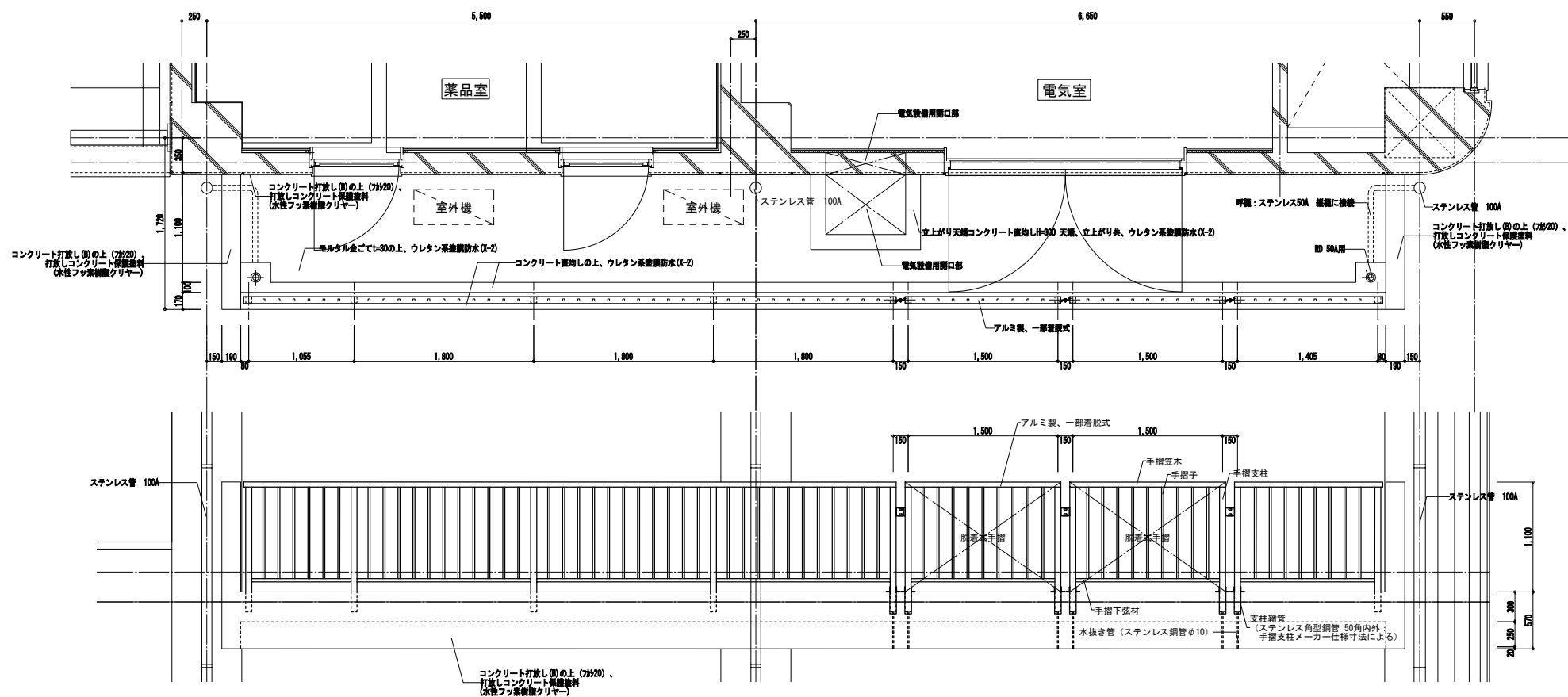
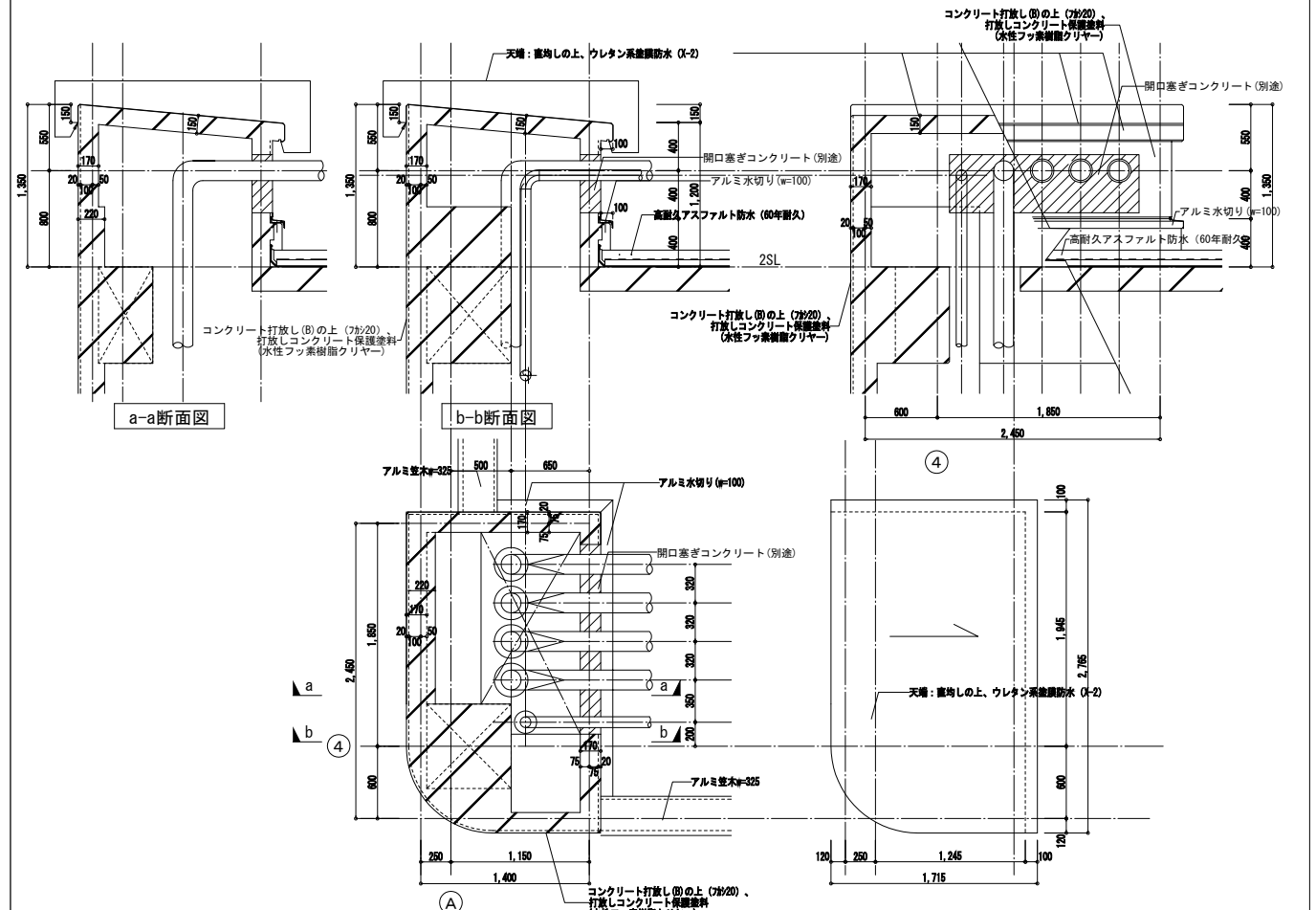
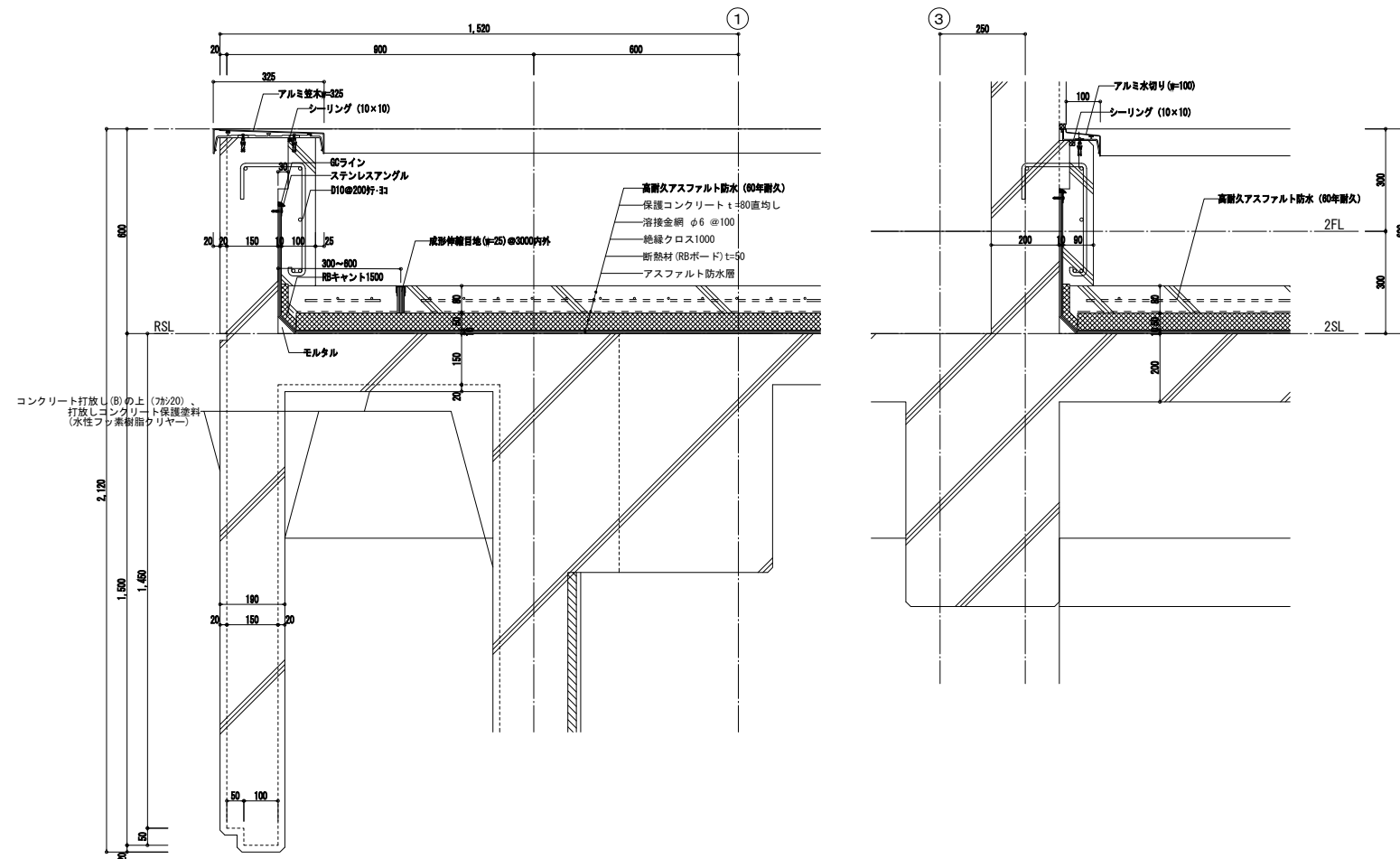
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
展開図2		A / 22
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

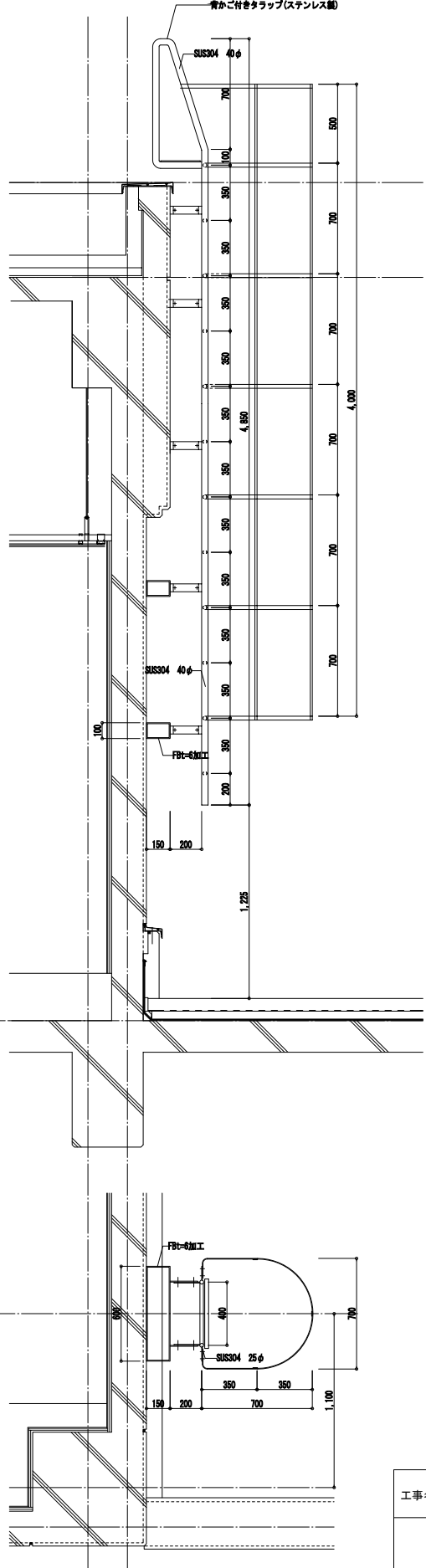
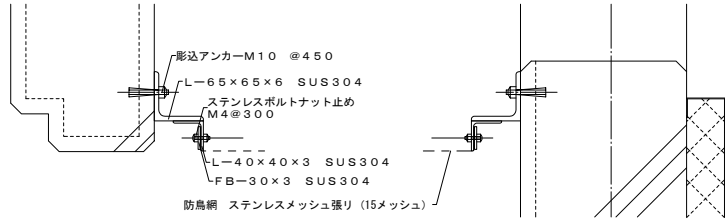
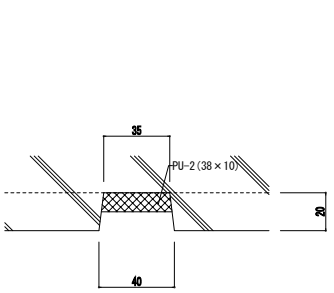
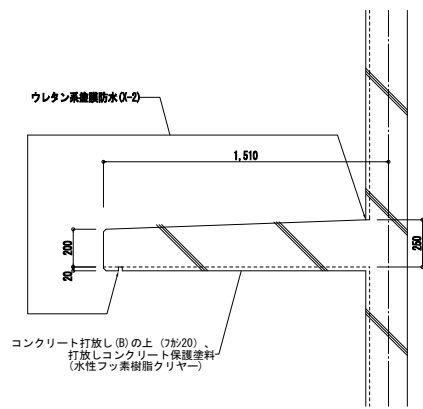
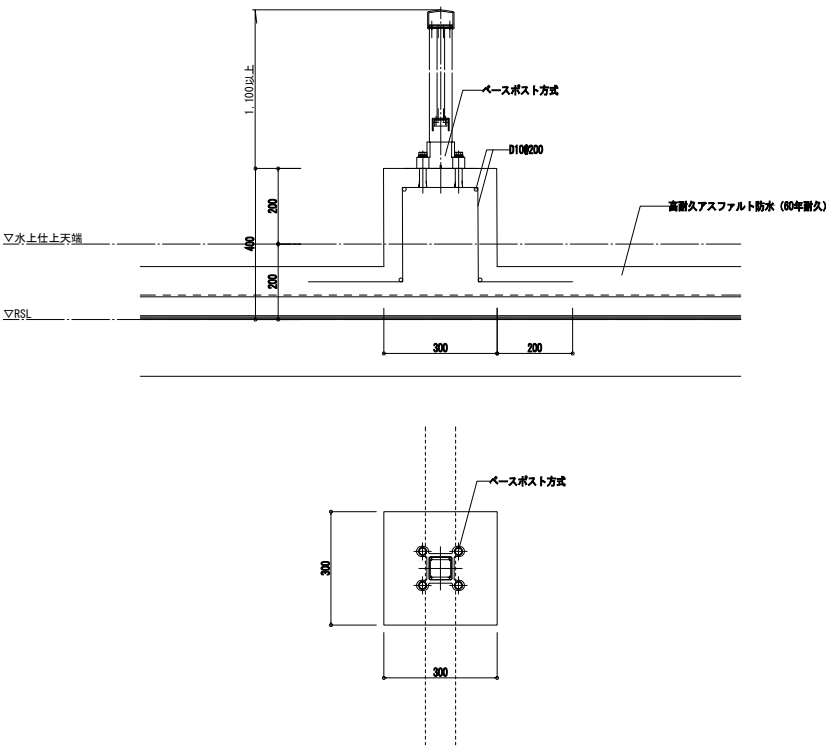
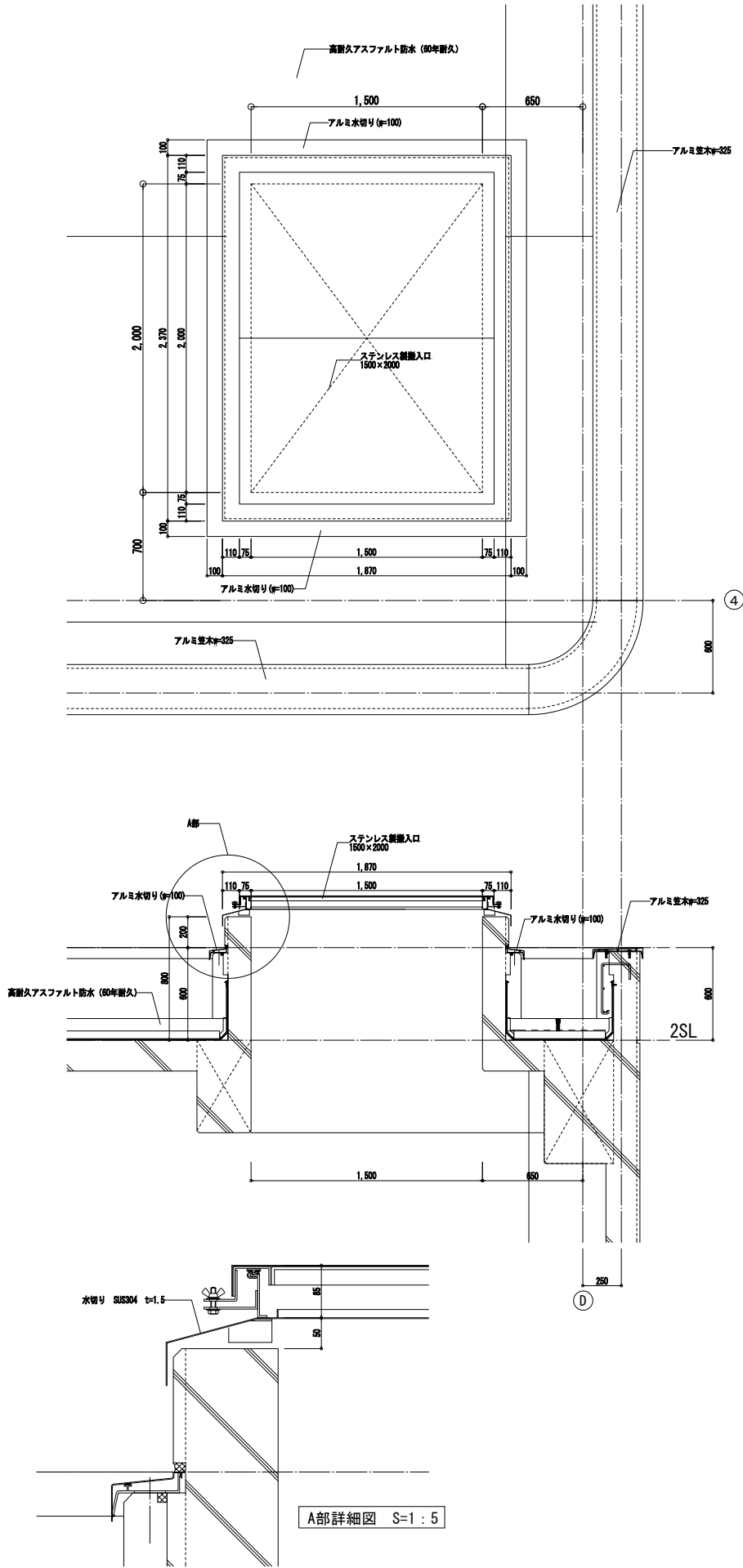


工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
展開図3		A / 23
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

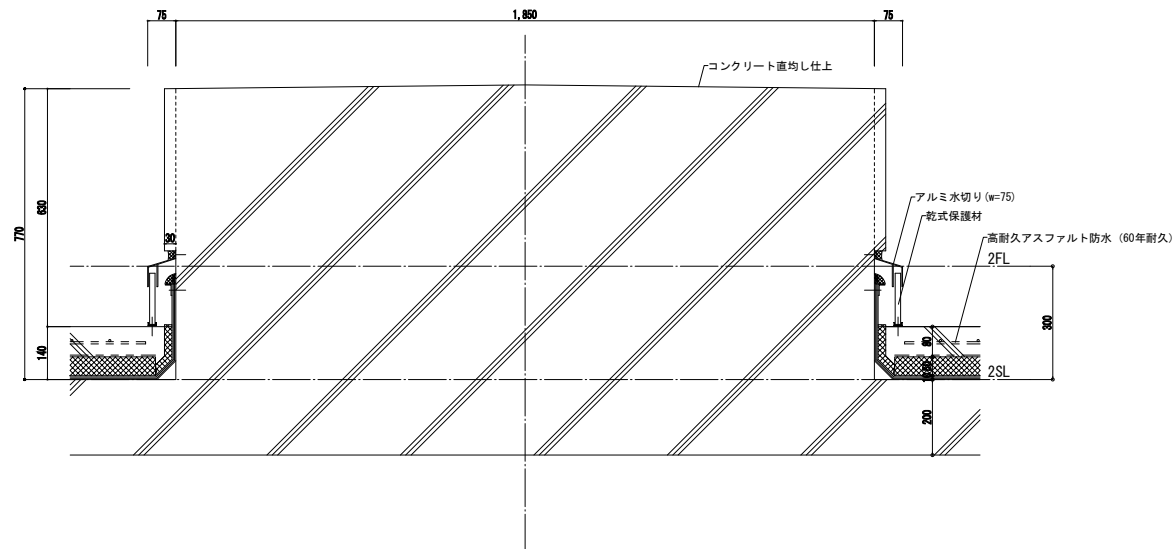


工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	
展開図5		A ／ 25	
		縮 尺	
		1/50	
事業主	笛吹市公営企業部水道課		

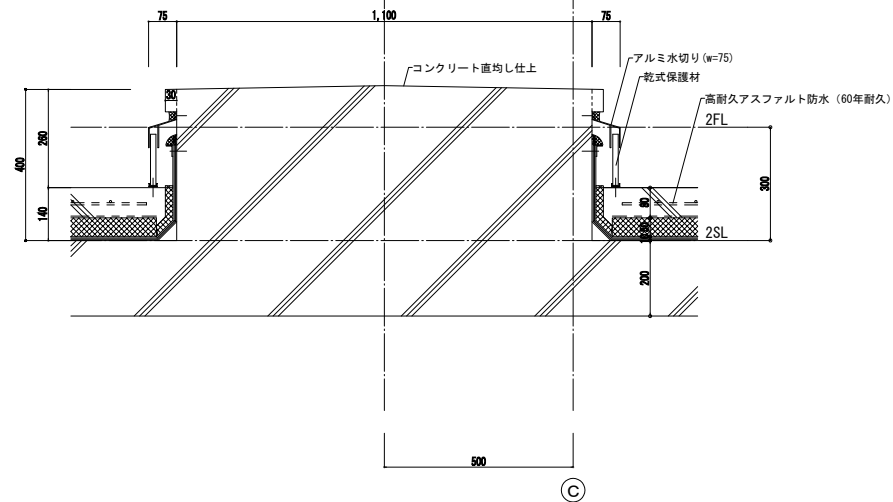




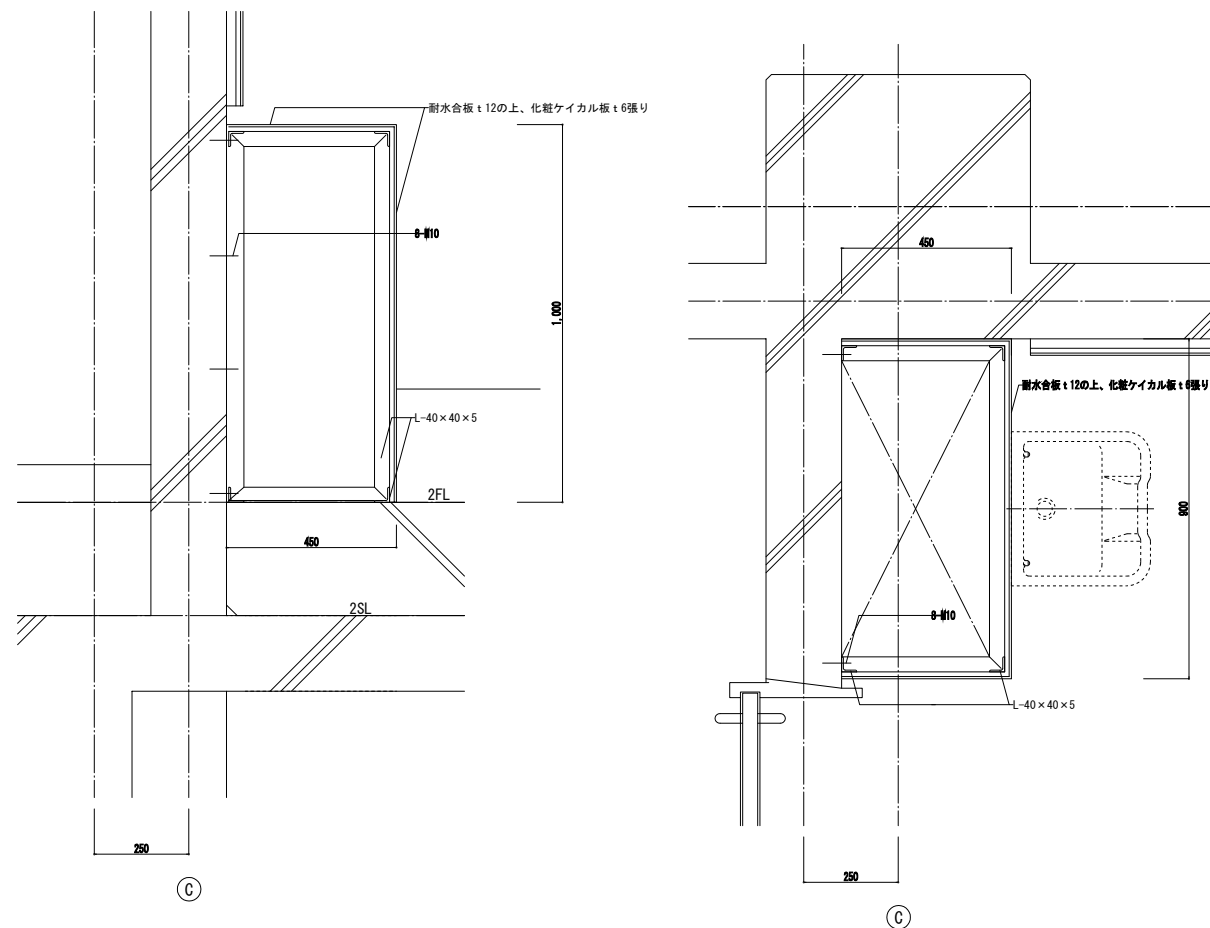
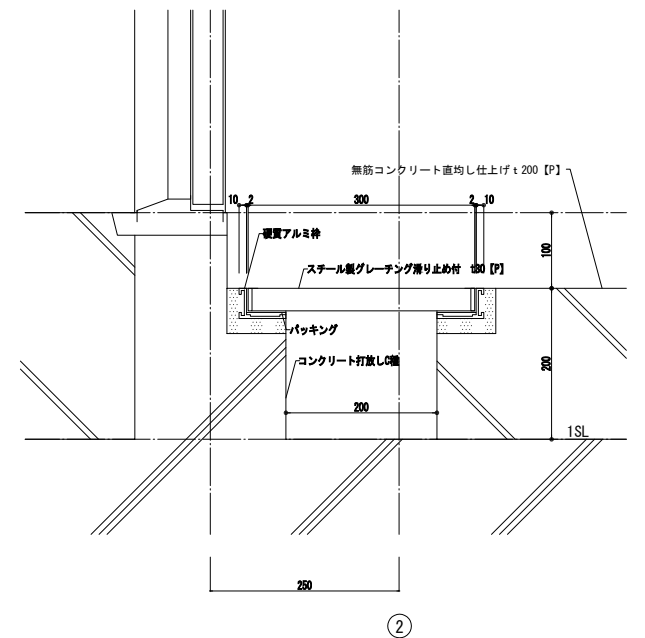
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
雑詳細図2		A / 27
		縮 尺
		1/2・5・10・20
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



ろ過機基礎断面図

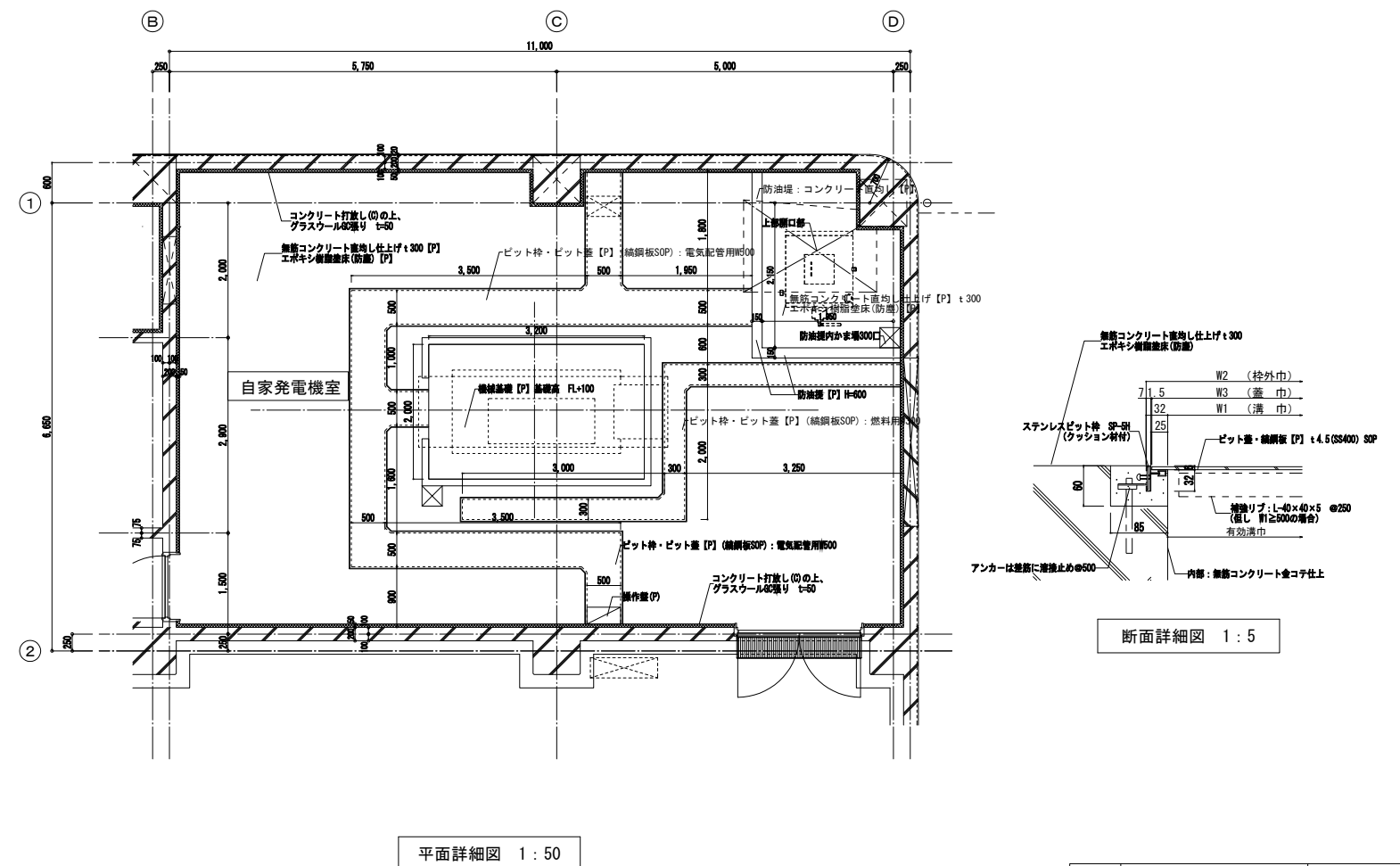


操作盤基礎断面図



薬品室 ライニング断面図 1/10

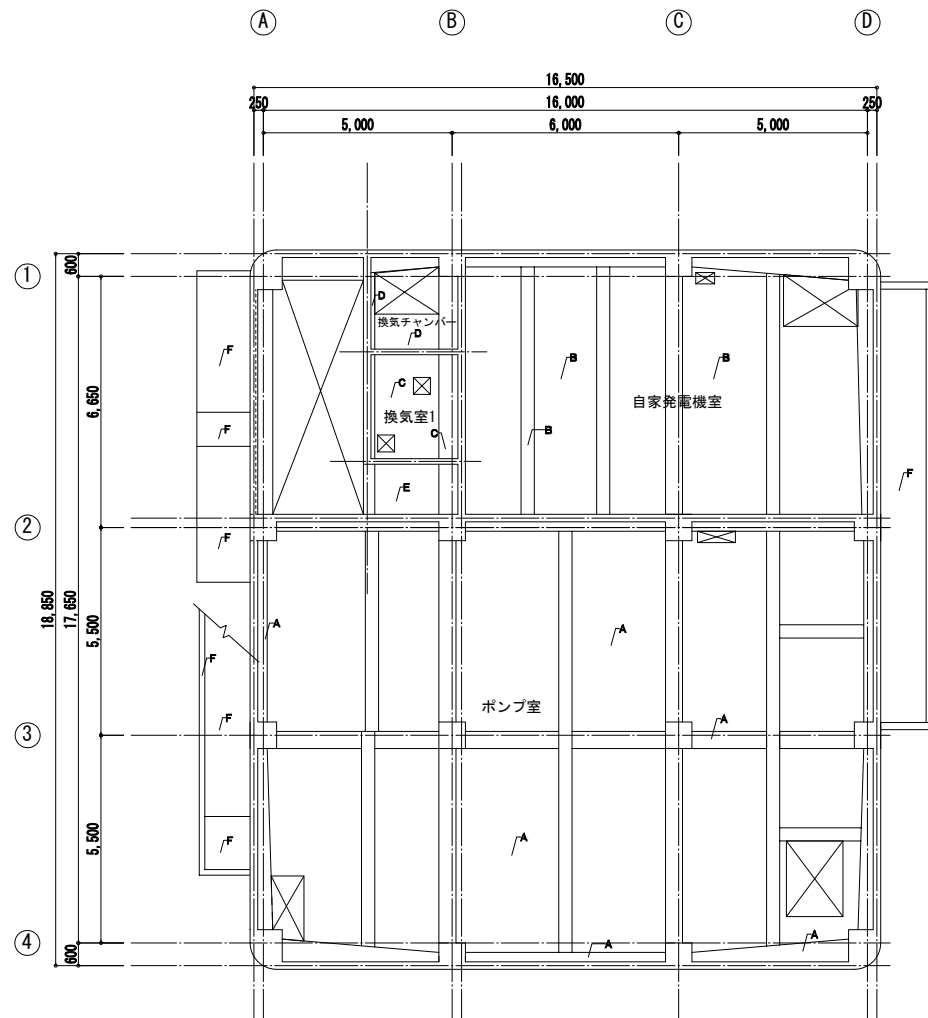
薬品室 ライニング平面図 1/10



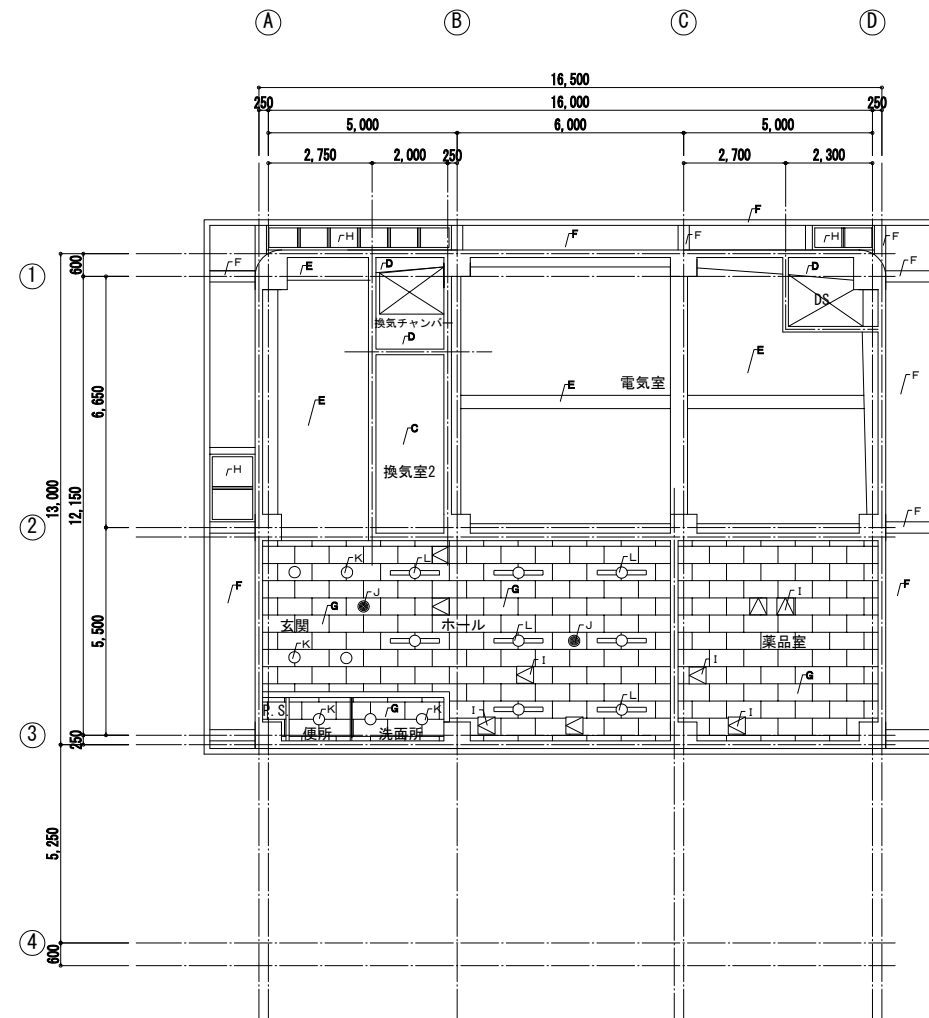
断面詳細図 1:5

平面詳細図 1 : 50

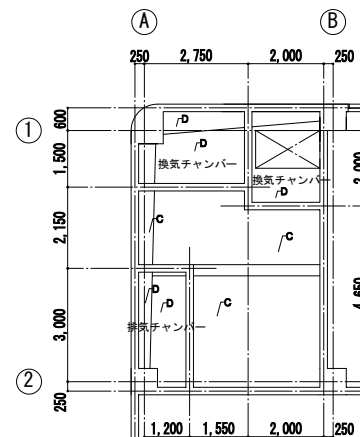
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	A ／ 28
雑詳細図3		縮 尺	1/5・10・20・50
事業主	笛吹市公営企業部水道課		



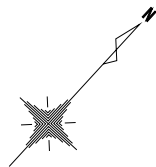
1階 天井伏図



2階 天井伏図



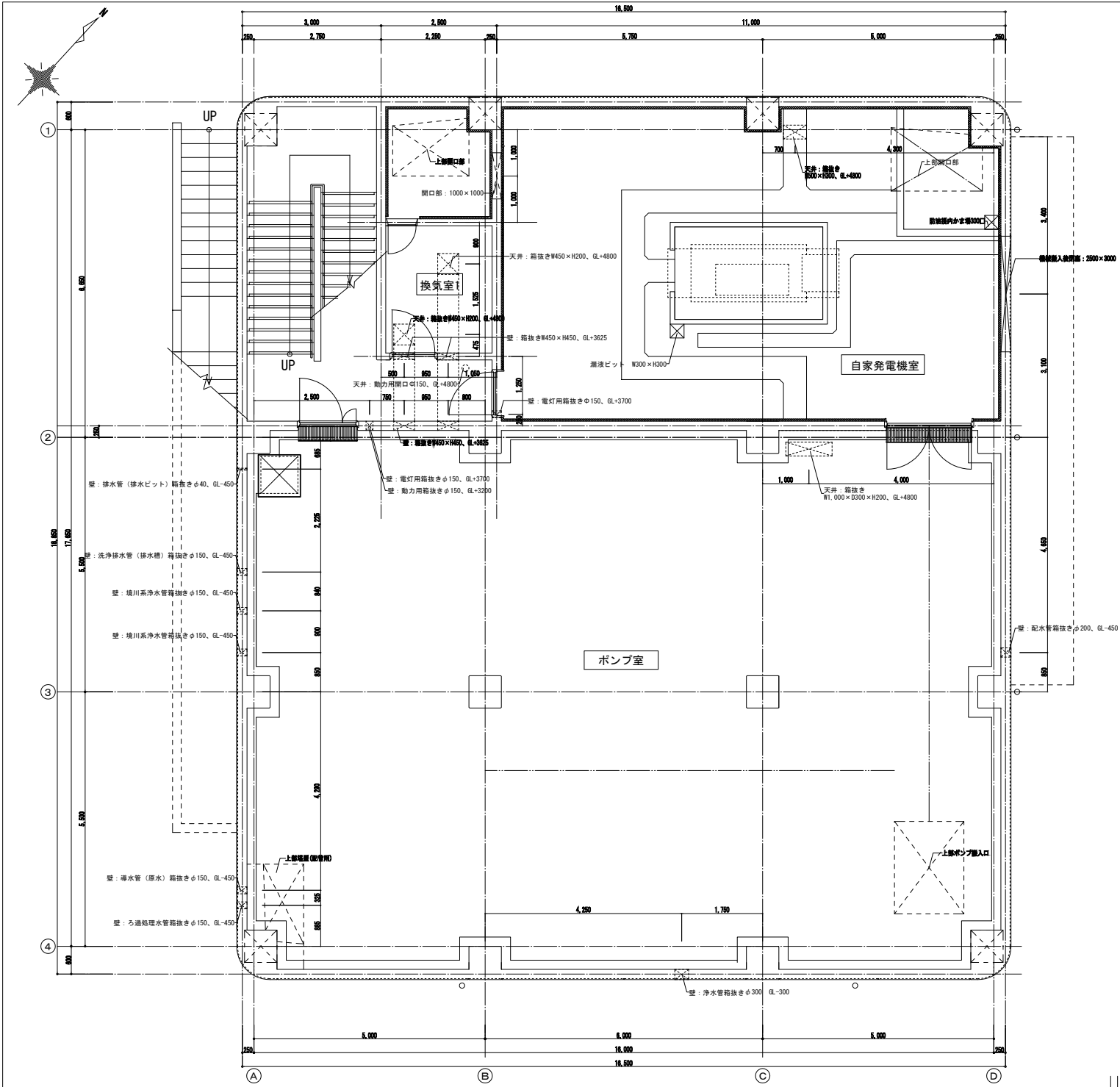
中2階 天井伏図



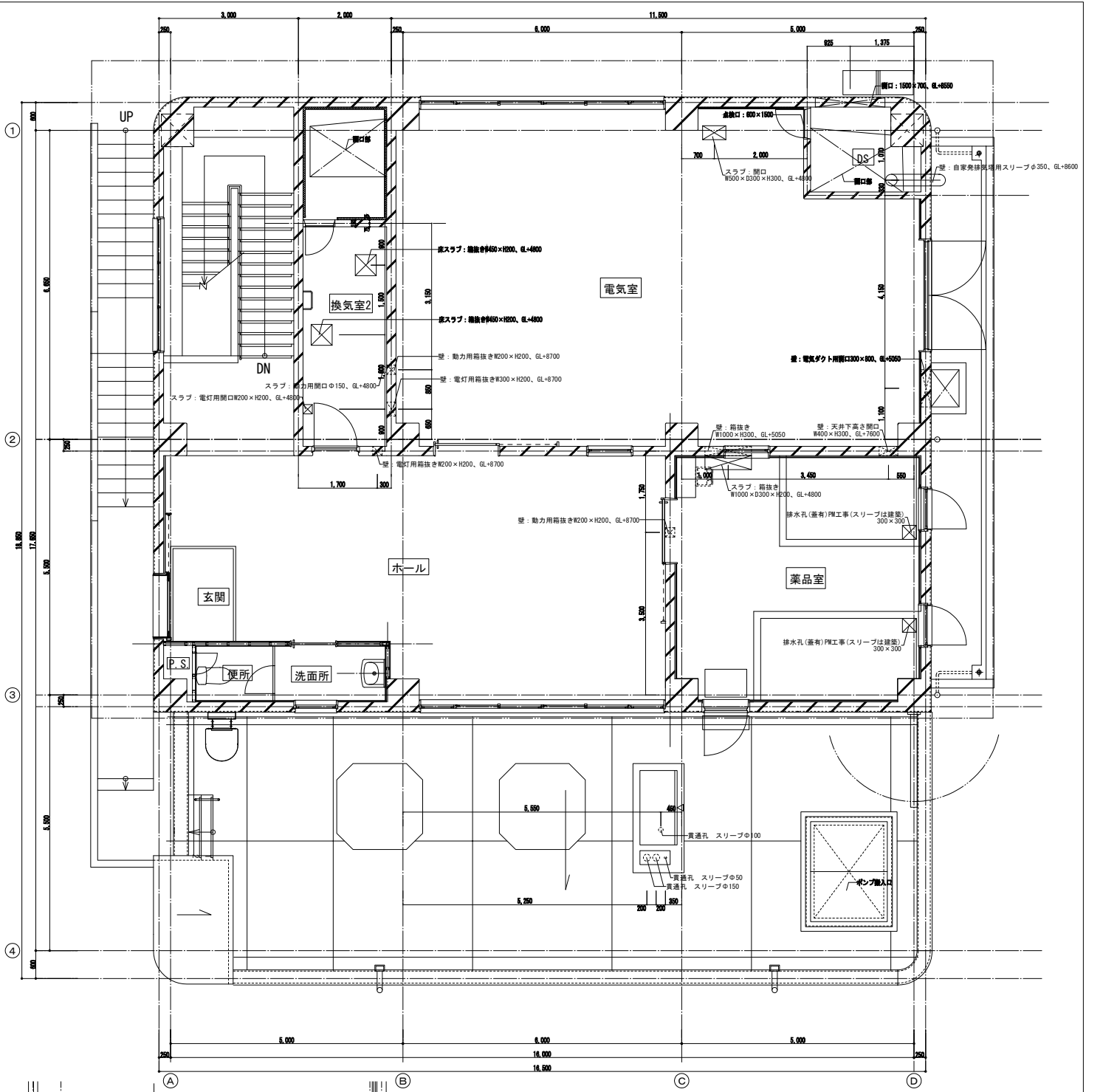
天井仕上表	
A	コンクリート打放し(B)の上、結露防止塗料塗り
B	コンクリート打放し(C)の上、グラスウールGC張り t=50
C	コンクリート打放し(B)仕上
D	コンクリート打放し(B)の上、グラスウールGC張り t=50
E	コンクリート打放し(B)の上、EP-T塗り
F	コンクリート打放し(B)の上、打放しコンクリート保護塗料(水性フッ素樹脂クリヤー)
G	GB-R t=9.5捨張りの上、DR(フラットイブ) t=9張り
H	ステンレス防鳥網
I	天井点検口 450×450

天井開口リスト	
J	Φ100
K	Φ150
L	220×1235

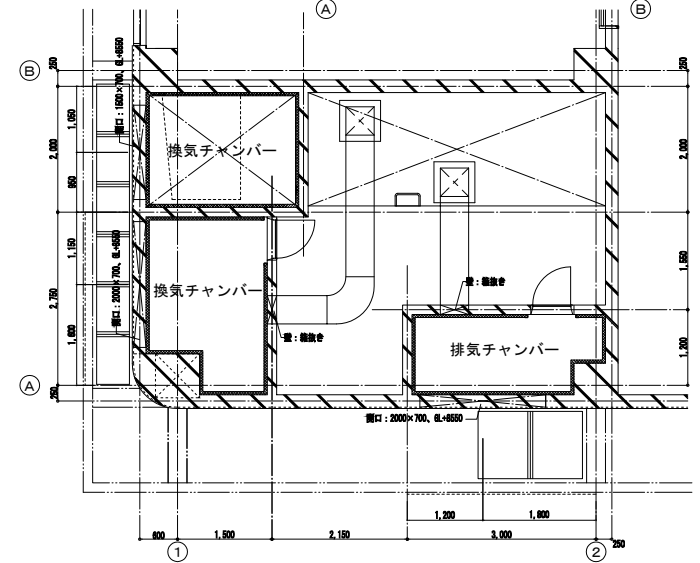
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		A / 29
		縮 尺
天井伏図		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



1階箱抜き図



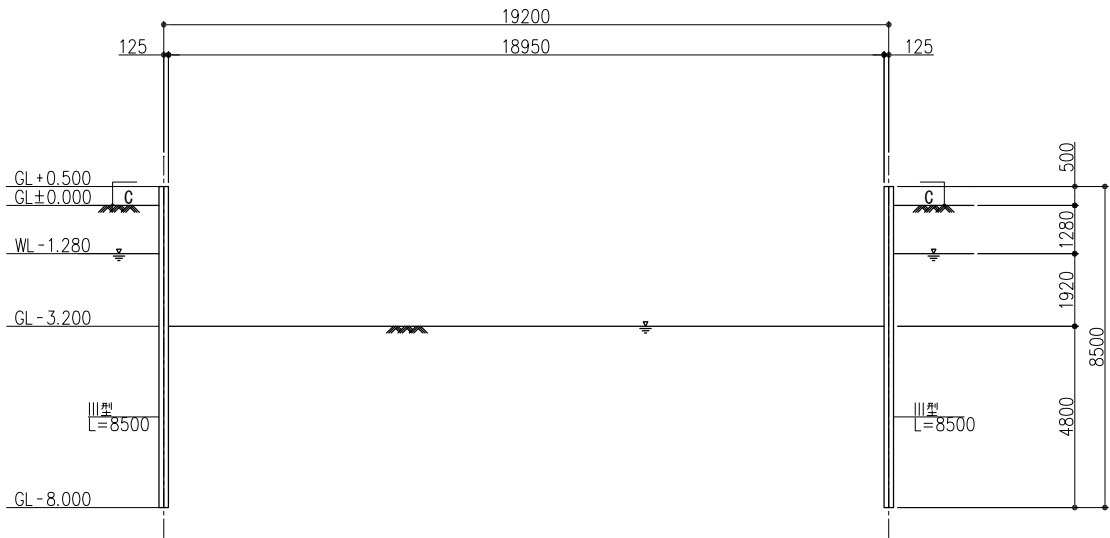
2階箱抜き図



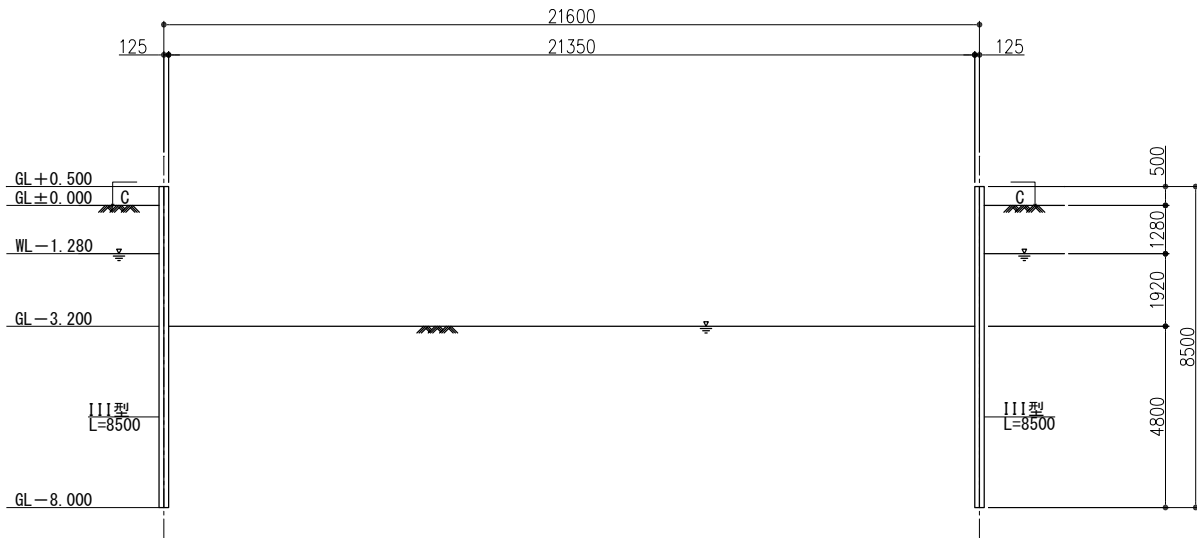
中2階箱抜き図

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
箱抜き図		A / 30
		縮 尺
		1/60
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

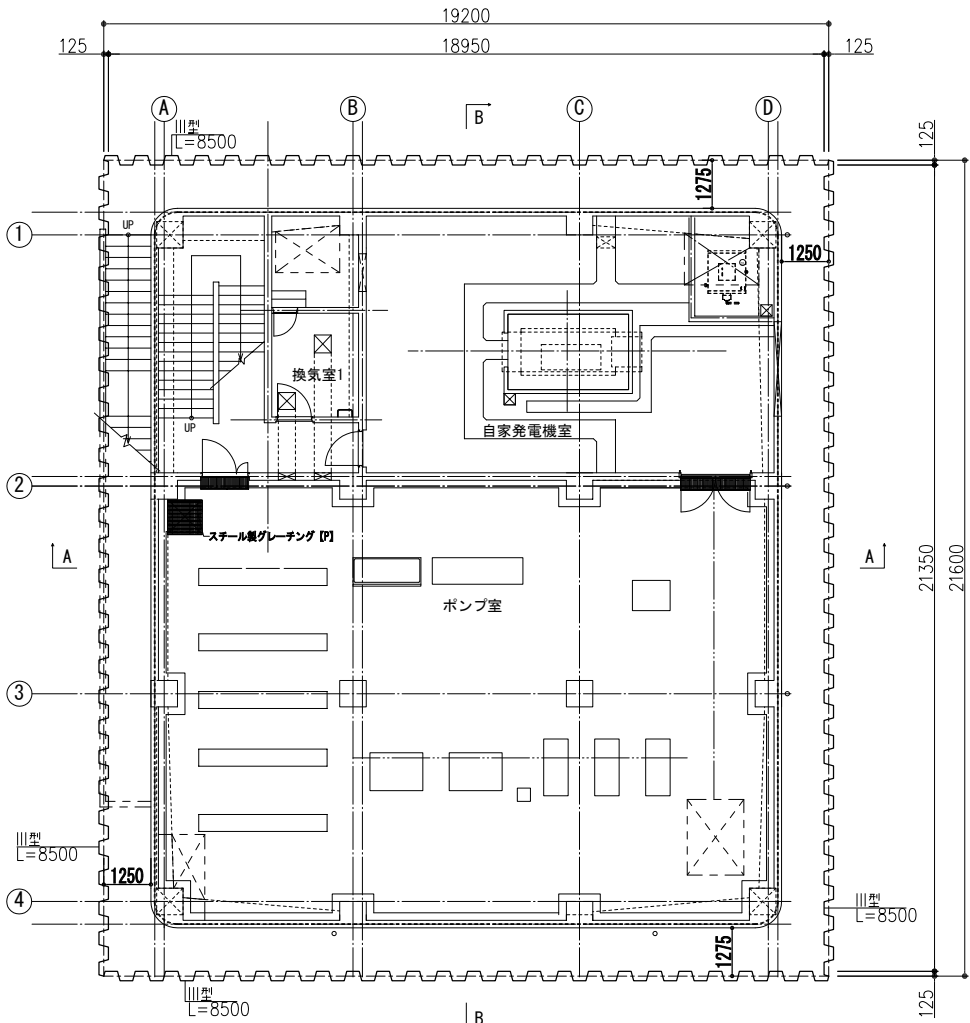
仮設図 S=1:100



断面図 A-A



断面図 B-B



平面図 C-C

FSP-Ⅲ W400 L=8.5m × 200枚
FSP-コーナーⅢ L=8.5m × 4枚

主要部材数量表

部材名	寸法	単位	数量	単位質量	質量	備考
土留め壁(鋼矢板)	ⅡⅡ型	m	1734.000	60.0kg/m	104.040t	
計					104.040t	

設計条件

掘削面積		18.950m × 21.350m
掘削深さ		~3.200m
地下水位		WL-1.280m
土圧	安定計算	ランキン
	断面計算	断面計算用土圧
水圧		三角形
地表面上載荷重		10.00KN/m ²
切ばりの温度軸力		-

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
仮設図(参考)		A / 31
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

2 共通事項		3 鉄筋の折曲げ加工		5 鉄筋のかぶり及び間隔				
2. 1 記号及び符号		鉄筋の折曲げ加工は、3. 1表を標準とする。 (1)Dは、折曲げ内法直径を示す。 (2)dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。		5. 1 かぶり厚さ				
設計図中で使用する記号及び符号は、2. 1表及び2. 2表を標準とする。		3. 1表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法(末端部)		かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止め筋、組立筋を除く)の外面から躯体面までの距離(5. 1図)をいう。 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10mmを加えた厚さに以内に納めるものとする。				
2. 1表 鉄筋の断面表示		曲げ 角度		a部				
径	D10	D13	D16	D19	D22	D29	D32	
記号	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊙
2. 2表 一般凡例		折曲げ図		使用箇所				
記号 符 号	内 容	※印の説明及び注意事項		柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋				
F※	フーチング断面種別	※ 番号		D16以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スパイラル筋				
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号		T形及びL形の梁の あばら筋				
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1, 2, 3---- Y方向A, B, C----		90° 幅止め筋				
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない						
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする。 ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く						
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない						
※1W※2	壁配筋種別	※1 E:耐震壁、K:階段壁 D:土圧、水圧を受ける壁 ※2 階別区分はしない 壁厚(cm)						
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚(cm) ※3 配筋種別(英大文字) 階別区分はしない						
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A:片持床版形 B:二辺固定床版形 ※2 配筋種別(数字) 階別区分はしない						
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚(cm)						
斜線	打ち増し範囲							
斜線	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの十、一に 応じた凡例により表示						
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値(kN/m ²)						
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁						
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱						
S.HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱						
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁						
組立筋	組立て筋	床版、底版						
2. 2 一般注意事項		4 異形鉄筋の末端部		5. 2図 鉄筋相互のあき及び間隔				
(1)設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。 変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。		4. 1 フックを設ける位置		鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手の場合のあきは図面による。 (1)粗骨材の最大寸法の1. 25倍 (2)最小のあき25mm (3)隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1. 5倍				
		4. 1表 フックを設ける位置		5. 2表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧				
		部 位		鉄筋径(mm)				
		継手方式		鉄筋相互のあき:a				
		重ね継手		(1)粗骨材径×1.25				
		圧接継手		(2)最小あき				
		備 考		(3)鉄筋径×1.5				
		柱		最小鉄筋芯間隔 a+D				
		四隅の主筋		15mm				
		上下階の柱断面が異なる場合		20mm				
		帯筋(HOOP)		24mm				
		あばら筋(STP)		29mm				
		杭基礎		33mm				
		煙突の鉄筋		38mm				
		幅止め筋		44mm				
		平面		77mm				
		4. 1図 異形鉄筋の末端部		図面番号				
				S / 01				
				縮 尺				
				事業主				
				笛吹市公営企業部水道課				

6 鉄筋の継手及び定着

6. 1 継手及び定着

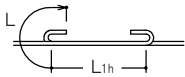
6. 1. 1 鉄筋の重ね継手

- (1)鉄筋の重ね継手の長さは、6. 1表による。
- (2)径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (3)主筋及び耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

6. 1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295	24, 27	35d	25d
	30	35d	25d
SD345	24, 27	40d	30d
	30	35d	25d

(注)1. L₁、L_{1h}：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL_{1h}は、6. 1図に示すようにフック部分Lを含まない。



6. 1図

6. 1. 2 継手の特記事項

- (1) 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。

6. 1. 3 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、6. 2表による。

6. 2表 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L ₁	L ₂	L ₃		L _{1h}	L _{2h}	L _{3h}	
				小梁	スラブ			小梁	スラブ
SD295	24, 27	35d	30d	20d	10d かつ 150mm 以上	25d	20d	10d	—
	30	35d	30d			25d	20d		
SD345	24, 27	40d	35d	20d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	—
	30	35d	30d			25d	20d		

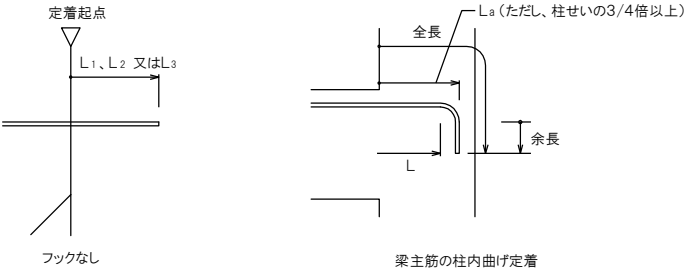
- (注)1. L₁、L_{1h}：2. 以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ
2. L₂、L_{2h}：割裂破壊の恐れのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
3. L₃：小梁及びスラブの下端の直線定着の長さ(基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く)
なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
4. L_{3h}：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
5. フックあり定着の場合は、6. 2図(イ)に示すようにフック部分bを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。

6. 1. 4 定着の方法

定着の方法は6. 2図による。

なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さsが、6. 2表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を6. 2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを6. 3表に示す長さをのみみさせる。

- (注)1. L_a、L_bは、6. 3表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記条件を満たすものとする。
・梁主筋の柱内定着においては、原則として柱せいの3/4倍以上
・小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1/2倍以上
・スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1/2倍以上



6. 2図 定着の方法

6. 3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L _a	L _b
SD295	24, 27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	24, 27	20d	15d
	30	15d	15d

(注)1. L_a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持ちスラブを含む。)
2. L_b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ (片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

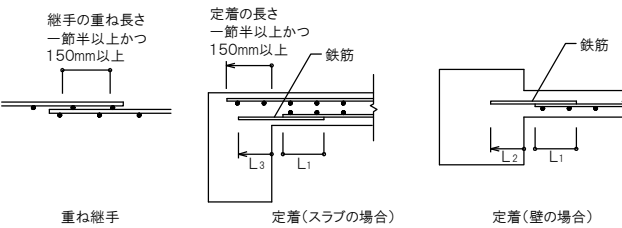
6. 2 隣り合う継手の位置及び定着

- (1)隣り合う継ぎ手の位置は、6. 4表により、a寸法を守ること。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

6. 4表 隣り合う継手の位置

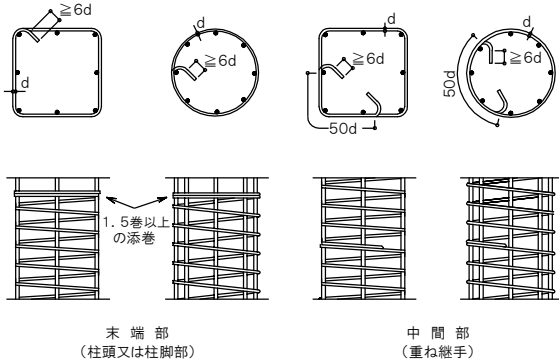
重ね継手	フック有りの場合		
		a=0, 5L _{1h}	a≥0, 5L _{1h}
	フックなしの場合		
圧接継手	—		
		a≥400mm	

- (2)溶接金網の継手及び定着は、6. 3図による。



6. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

(3)スパイラル筋の継手及び定着



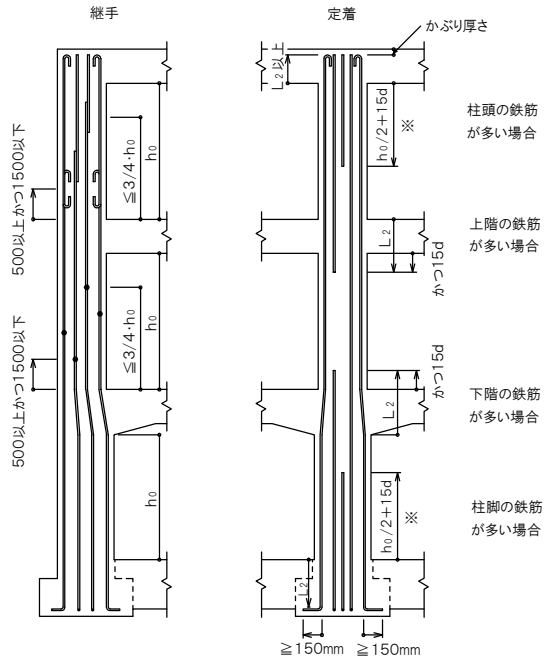
6. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

7 (欠番)

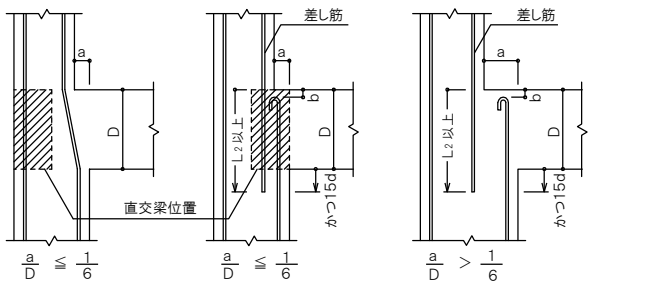
8 柱筋の継手及び定着

8. 1 一般事項

- (1)継手長さはL₁とし、定着及び余長は、8. 1図による。
- (2)柱頭定着長さL₂が確保出来ない場合は、図面による。
- (3)上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、8. 2図による。
- (4)柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ3/4h₀ (h₀は柱の内法高さ)以下とする。
- (5)※鉄筋のカットオフの位置及び長さは図面による。



8. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長

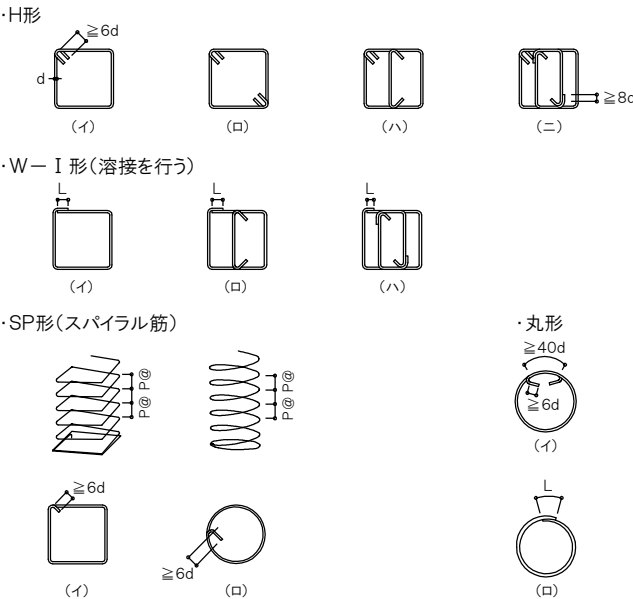


8. 2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

9 帯筋

9. 1 帯筋の形状

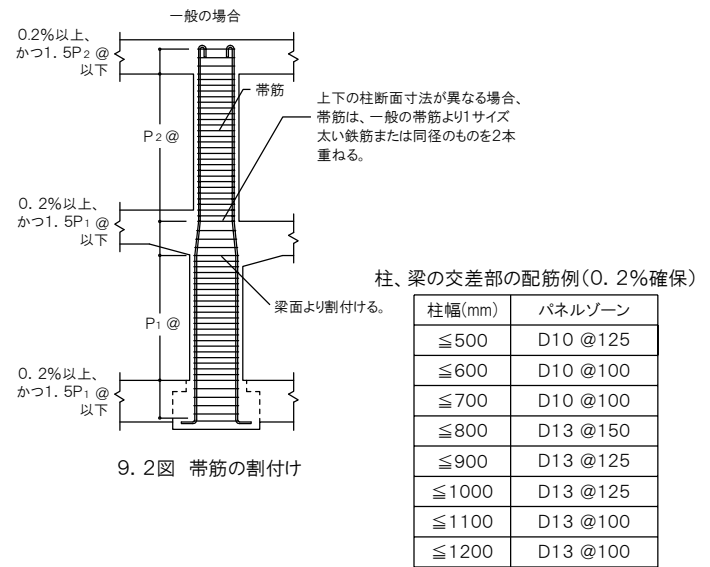
- (1)帯筋の形状は、9. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
(a)H形を標準とする。
(b)H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W—I形とする。
(c)溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
(d)SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1. 5巻以上の添巻きを行う。



9. 1図 帯筋組立の形

9. 2 帯筋の割付け

- (1)フック及び継手の位置は交互とする。
- (2)帯筋の割付けは、9. 2図による。ただし、図面にある場合はそれによる。
- (3)柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0. 2％以上を確保し、補強筋間隔 ≤ 1. 5Pとする。



※1. 5P₁、1. 5P₂ のピッチは150mm以下とする。

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
構造細目共通図 (建築構造物)(2)		S / 02
		縮 尺
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

15 床の配筋要領		16 柱及び梁の増し打ち要領		18 階段の配筋要領			
15.1 一般事項		16.1 柱		18.1 階段の配筋要領			
<p>(1)鉄筋の継手長さは、L_1とする。</p> <p>(2)定着長さ及び受け筋は、15.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、15.2図、15.3図により梁内に定着する。</p> <p>(3)基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。</p> <div><div></div><div></div></div> <p>※ L_bの数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。</p> <p>15.1図 15.2図</p> <p>スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1) スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)</p> <div></div> <p>※ L_bの数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。</p> <p>15.3図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その3)</p>		<p>(1)出隅部の補強筋は図面により、配筋方法は、15.6図による。</p> <p>(2)出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面による。</p> <div></div> <p>(注) $b_1 \geq b_2$とする</p> <p>(注) 1. $b_1 \geq b_2$とする 2. 柱又は梁にL_1を定着する</p> <p>出隅部分の一般スラブ配筋補強配筋 出隅部分の主筋補強配筋</p> <p>15.6図 片持ちスラブ出隅部の補強配筋</p>		<p>(1)増し打ちコンクリートの補強は、16.1図による。</p> <p>ただし、$a<70\text{mm}$の場合、補強は行わない。$200\text{mm}<a$の場合は、図面による。</p> <div></div> <p>※1. 帯筋と同径・同材質・同ピッチとする。</p> <p>16.1図 柱の増し打ち補強配筋</p> <p>(2)増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。</p> <p>(3)増し打ち部分の帯筋の定着長さは、L_2以上とする。</p> <p>(4)増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。</p>		<p>(1)壁配筋は、図面による。</p> <p>(2)階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。</p> <div></div> <p>18.1図 片持ちスラブ形階段配筋の定着</p>	
15.2 片持ちスラブ		16.2 梁					
<p>(1)片持ちスラブの配筋</p> <div></div> <p>※先端の折り曲げ長さbは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。</p> <p>15.4図 片持ちスラブの配筋</p>		<p>(1)増し打ちコンクリートの補強は、16.2図による。</p> <p>$a<70\text{mm}$の場合、補強は行わない。$200\text{mm}<a$の場合は、図面による。</p> <div></div> <p>※1. あばら筋と同径・同材質・同ピッチとする。</p> <p>16.2図 梁の増し打ち補強配筋</p> <p>(2)増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。</p> <p>(3)増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、L_2以上とする。</p> <p>(4)増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。</p> <p>(5)梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合</p> <div></div> <p>16.3図 梁の上下の増し打ち配筋補強(途中で終わる場合)</p> <p>(6)梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合</p> <div></div> <p>16.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)</p>					
(2)先端に小梁がなく壁が取り付けく場合							
<div></div> <p>15.5図 先端に壁が付く場合の配筋</p>							
15.3 片持ちスラブ出隅部の補強配筋		15.4 地上部最上階の屋根床版					
		<p>(1)出隅及び入隅部分には、15.7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。</p> <p>(2)陸屋根、勾配屋根共通とする。</p> <div></div> <p>15.7図 出隅及び入隅部分の補強配筋</p>					
15.5 段差床版の補強		15.6 床版開口部の補強					
<p>同一床版に段差がある場合、15.8図の補強を行う。ただし、$H>150$の場合は、小梁を設ける事を原則とする。</p> <div></div> <p>15.8図 段差のある床版の補強配筋</p>		<p>(1)開口の最大径≤ 700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(15.9図)</p> <p>開口の最大径> 700の場合は図面による。</p> <div></div> <p>※:鉄筋径は、図面による</p> <p>15.9図 床版開口部の補強配筋</p> <p>(2)床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。</p>					
		15.7 出隅及び入隅部分の補強配筋					
		15.8 段差のある床版の補強配筋					
		15.9 床版開口部の補強配筋					
		16.3 図 梁の上下の増し打ち配筋補強(途中で終わる場合)					
		16.4 図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)					

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
構造細目共通図 (建築構造物)(5)		S / 05
		縮 尺
		—
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い

a) 柱幅と斜材(柱又は梁)幅が同一

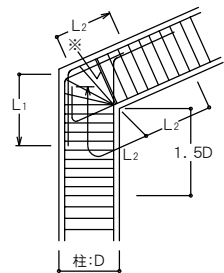
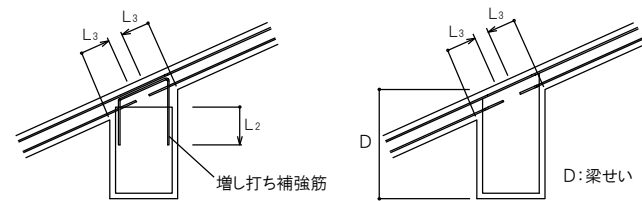
[illegible]

Figure 10-10 illustrates the reinforcement construction of a beam-column joint. The diagram shows a cross-section of a joint where a beam (大梁) and a column (小梁) meet. Reinforcement includes top bars (top bars) and bottom bars (bottom bars). Dimensions shown include L_1 , L_2 , L_3 , 100, 1.5D, and C-D13@200.

19. 1図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

増し打ち補強要領は、16. 2による。

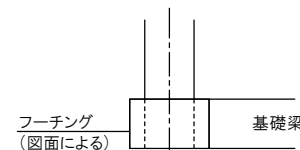


19. 2図 梁と床版の取り合い配筋

円柱と梁の取り合い



2) 柱頭部で柱外面に梁が
取り付く場合



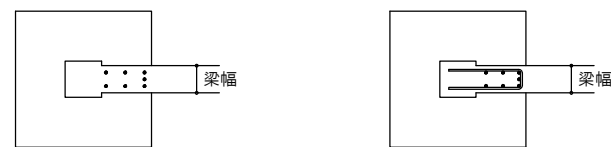
19. 3図 円柱の取り合い配筋

20.1 直接基礎の配筋

Figure 1 illustrates the reinforcement details of a concrete slab. The top diagram is a cross-section showing the base reinforcement (基礎筋) and edge reinforcement (はかま筋) relative to the ground level (GL). A detail location 'A' is marked. The bottom diagram is a plan view showing the grid of base reinforcement (基礎筋) and edge reinforcement (はかま筋). A dimension of $15d$ is indicated for the edge reinforcement. The detail 'A' is further specified as 'A 部詳細'.

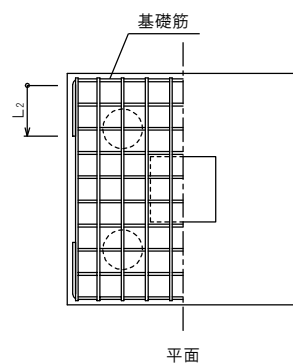
20.1 図 独立基礎の配筋

20. 2図 連続基礎の配筋

 $0 < D \leq 200$ $200 < D \leq 1000$

※ L_{2h} を確保できない場合は、標仕(5. 3. 4(e)(2))によることができる。

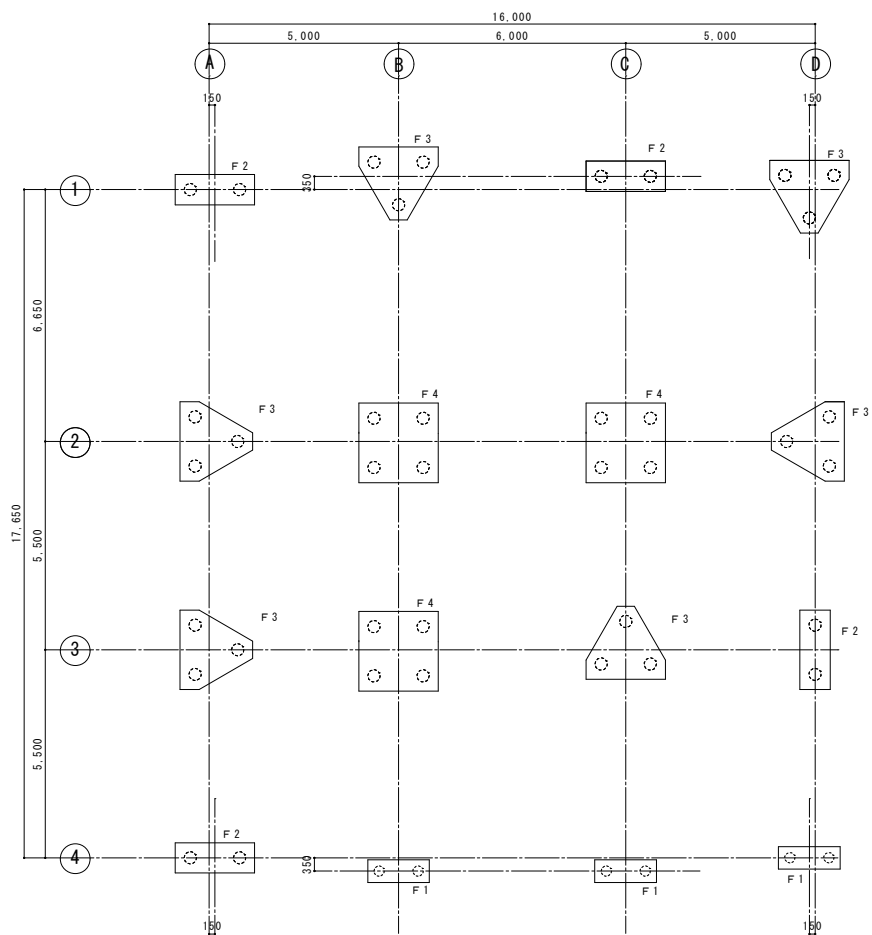
21.1 杭基礎の配筋



21.1図 杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法

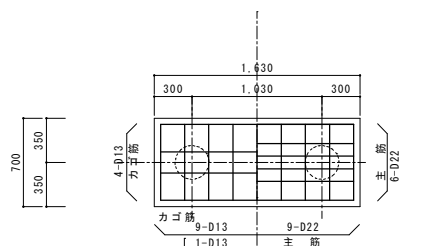
基礎接合部の補強は、20. 2による。

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
構造細目 共通図 (建築構造物)(6)		S ／ 6
		縮 尺 —
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

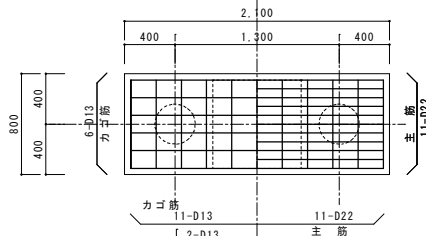


杭 伏 図 S:1/100

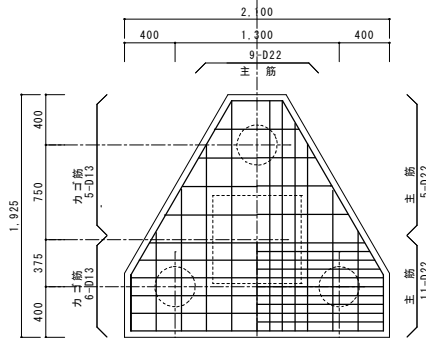
杭リスト			
工 法 羽根付き鋼管杭回転埋設工法			
杭径、杭長			
F 1 : 2-267.4φ (t=12.4)	3.0m		
F 2 : 2-318.5φ (t=12.4)	3.0m		
F 3 : 3-318.5φ (t=12.4)	3.0m		
F 4 : 4-318.5φ (t=12.4)	3.0m		
杭種 : STK490			
長期杭耐力			
267.4φ	601.4KN		
318.5φ	846.2KN		



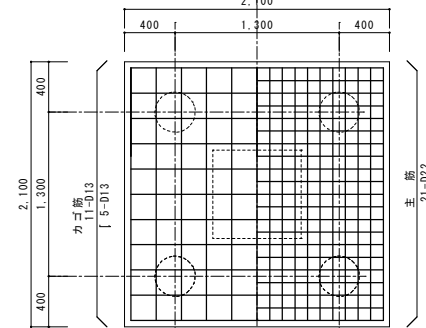
F 1 : 2-267.4φ



F 2 : 2-318.5φ

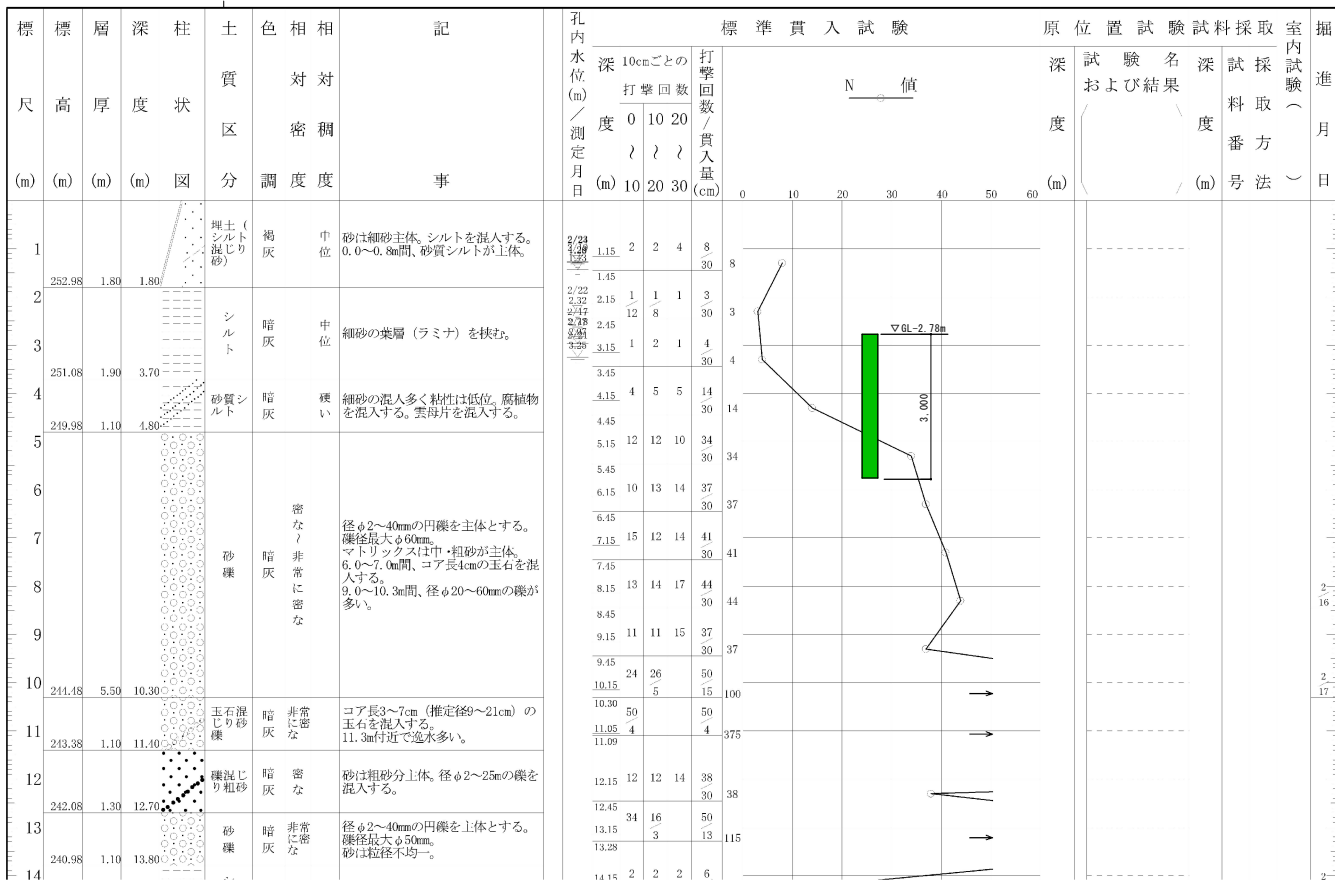
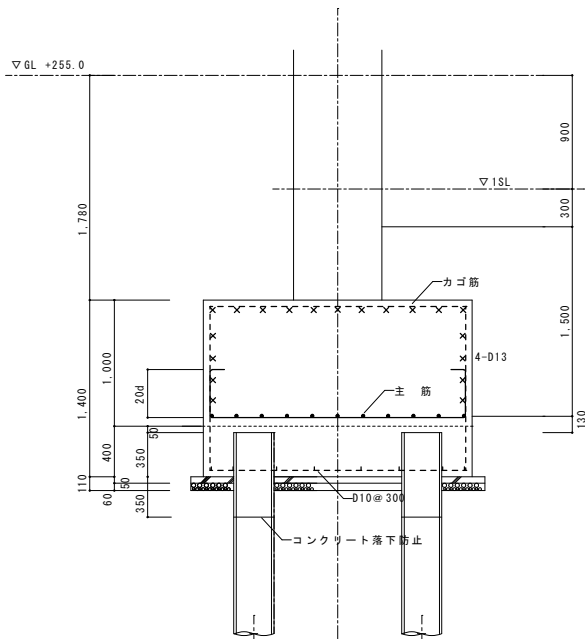


F 3 : 3-318.5φ



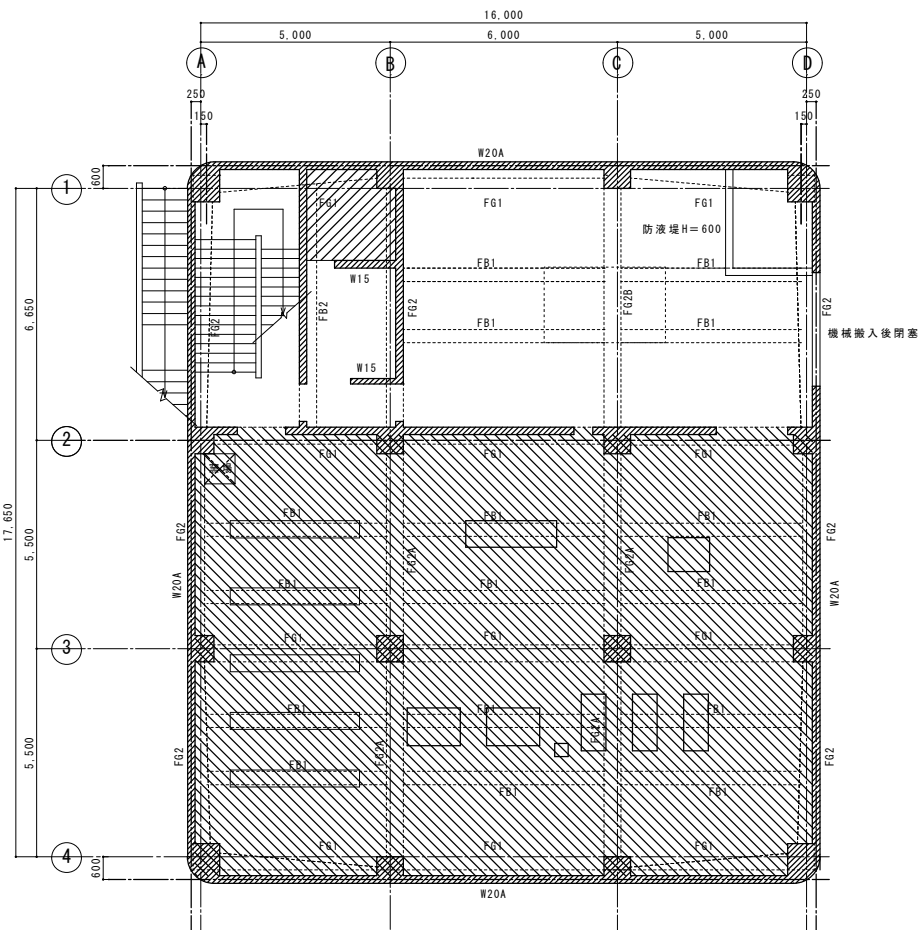
F 4 : 4-318.5φ

基礎配筋図 S:1/30



杭 深 度 位 置 図 S:1/30

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
杭伏図 基礎配筋図		S / 7
		縮 尺
		1/100 1/30
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



1 階 伏 図 S:1/100

特記なき限り

壁 W20

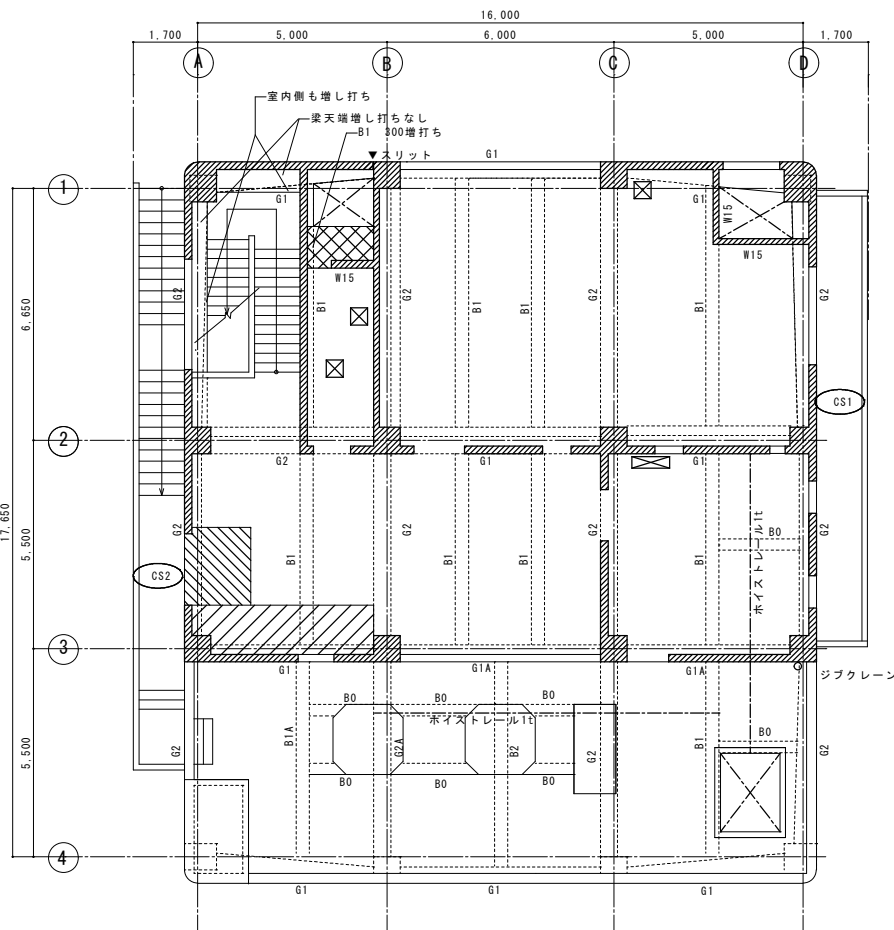
床 FS1

無筋コンクリート厚300

無筋コンクリート厚200

無筋コンクリートなし

中間階伏図 S:1/100



2 階 伏 図 S:1/100

特記なき限り

壁 W20

床 S2

F L-300 無筋コンクリート厚300

F L-300 無筋コンクリート厚150

F L-300 乾式2重床

F L ±0

柱 700x700

G 450x700 RF

G 450x800 2F

B 300x600

C G 300x600

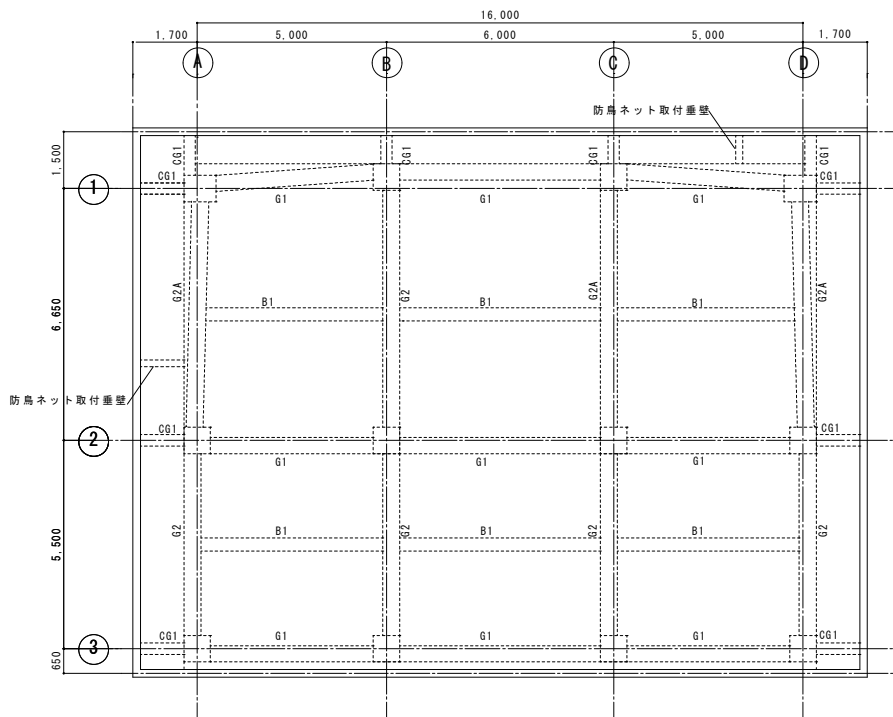
F G 450x1500

F B 350x800

S 1 D=150 RF

S 2 D=200 2F

S 3 D=300 1F

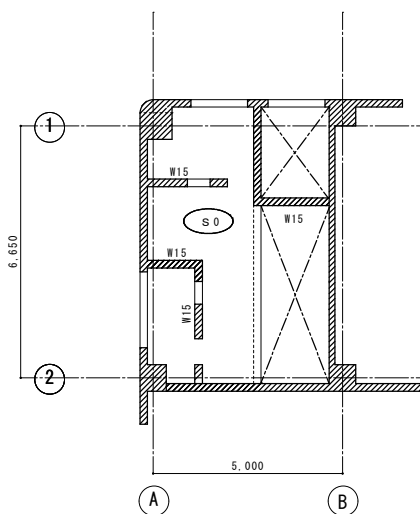


R 階 伏 図 S:1/100

特記なき限り

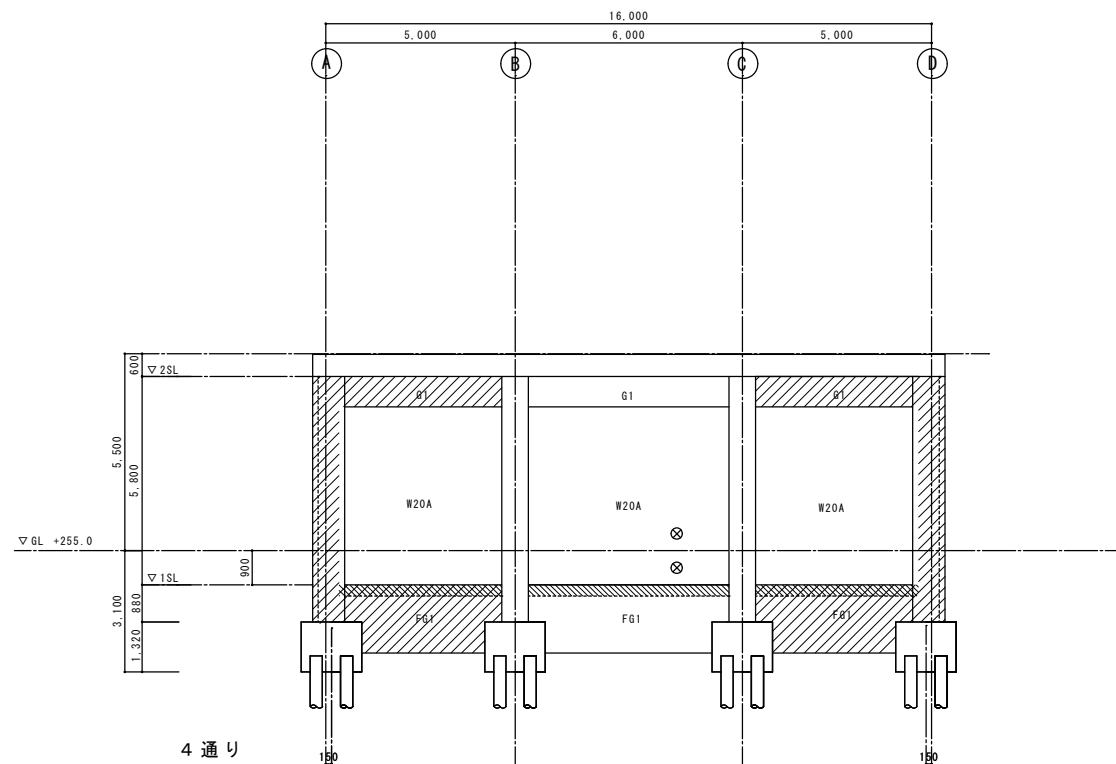
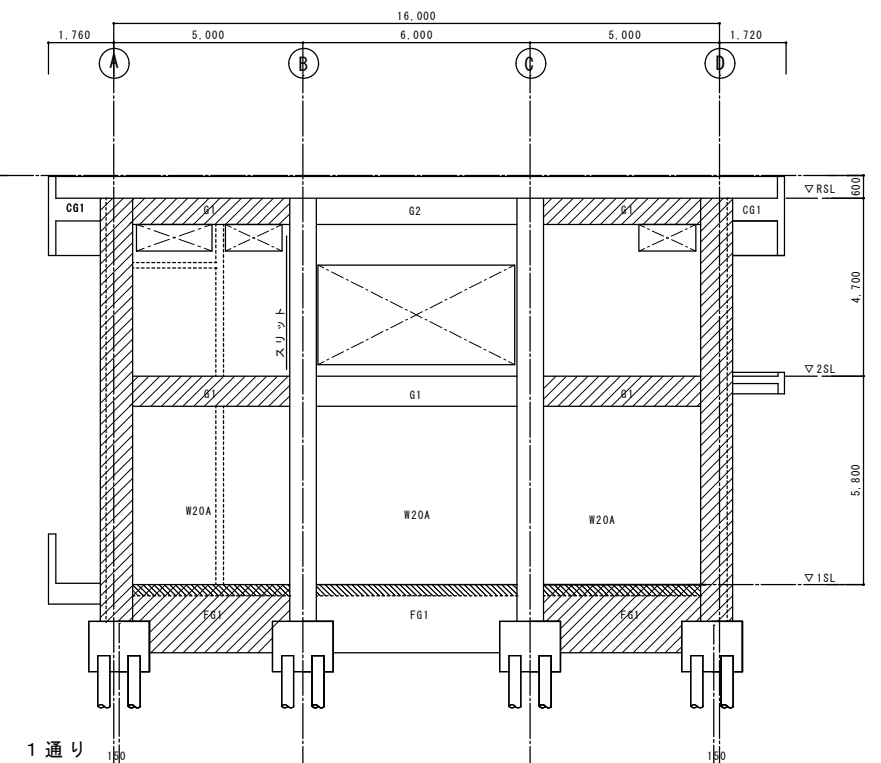
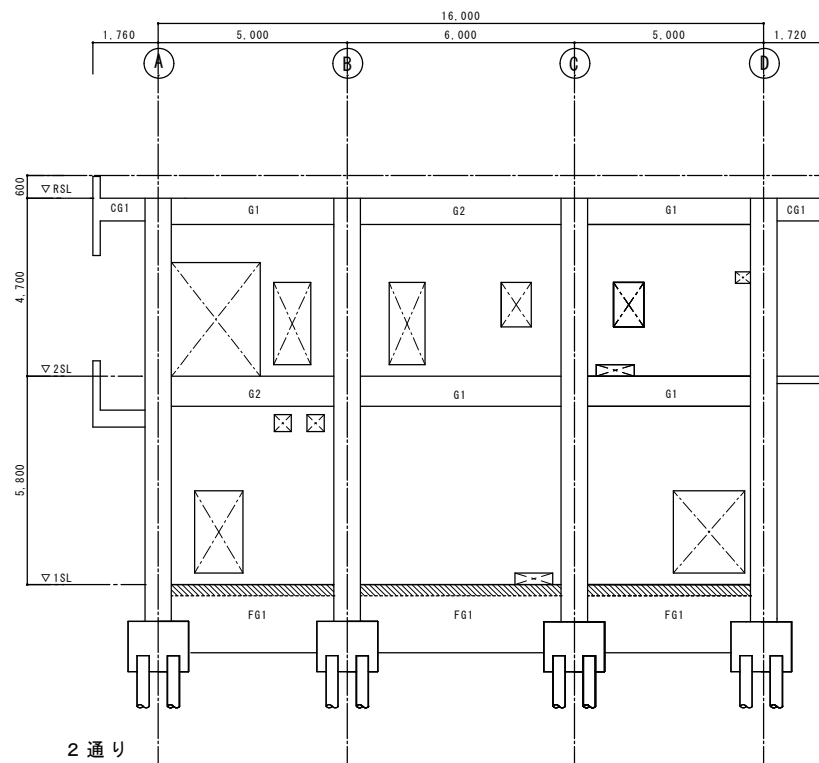
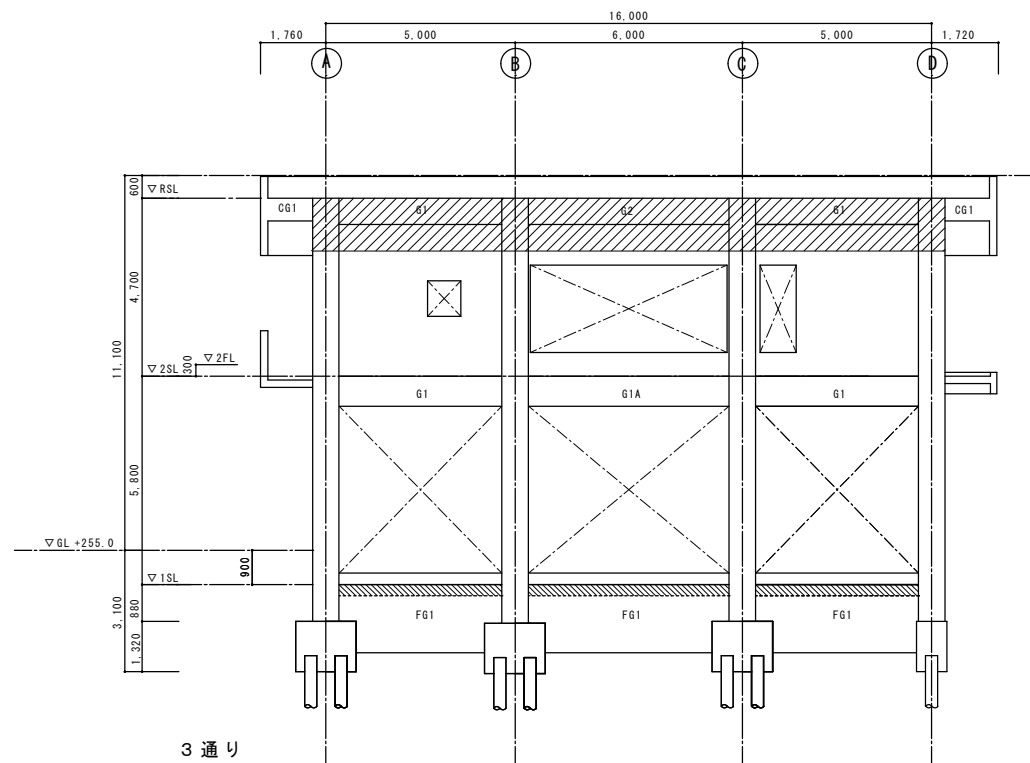
床 S1

RSL 保護コンクリート厚80



中間階伏図 S:1/100

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
伏 図		S / 8
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

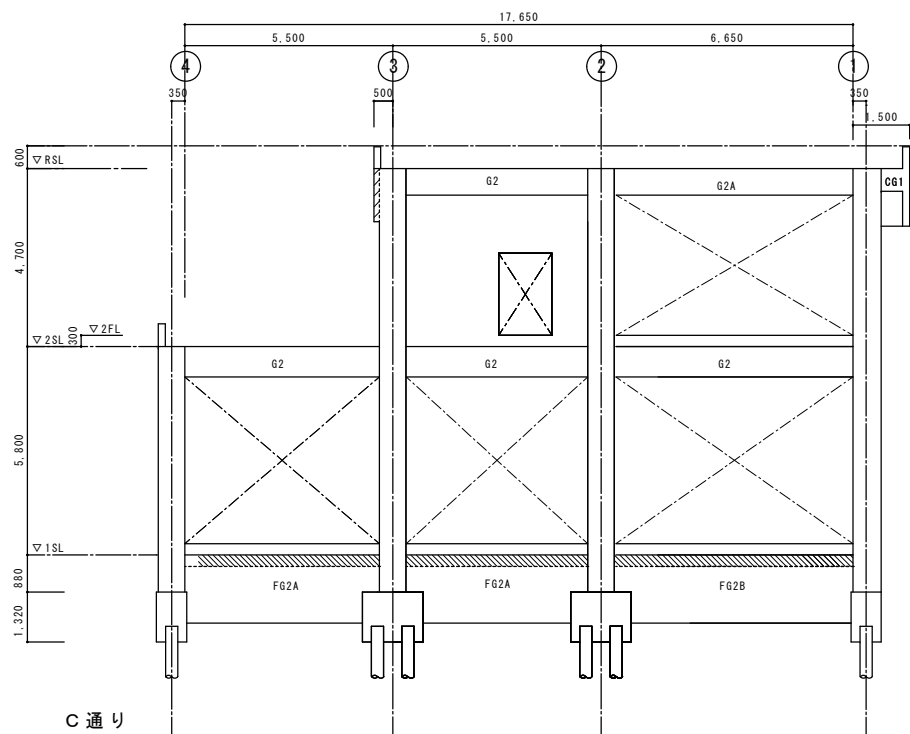
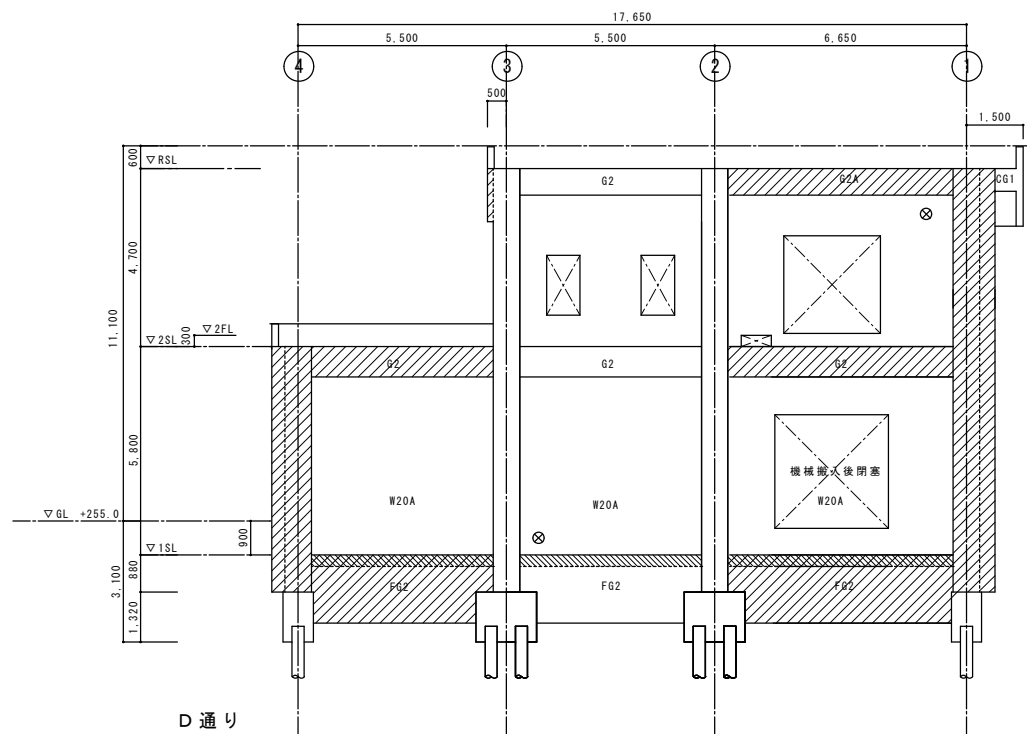
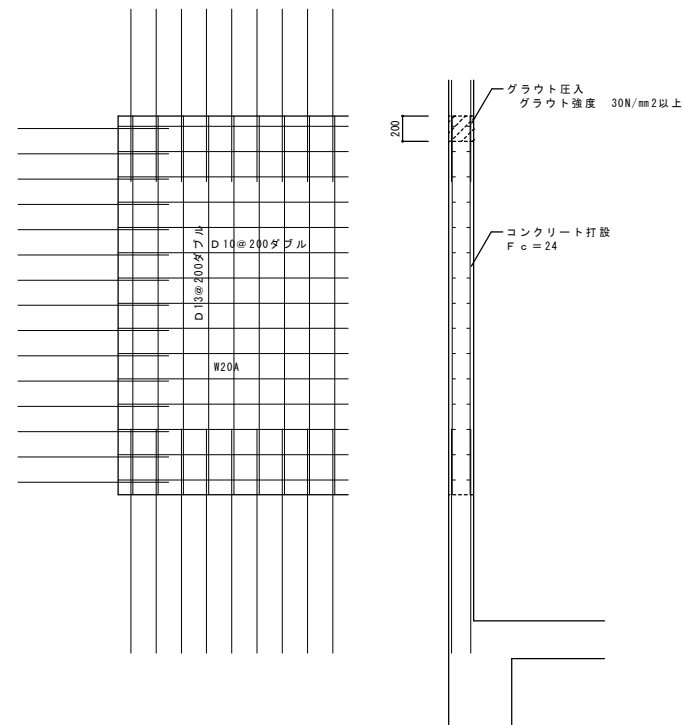
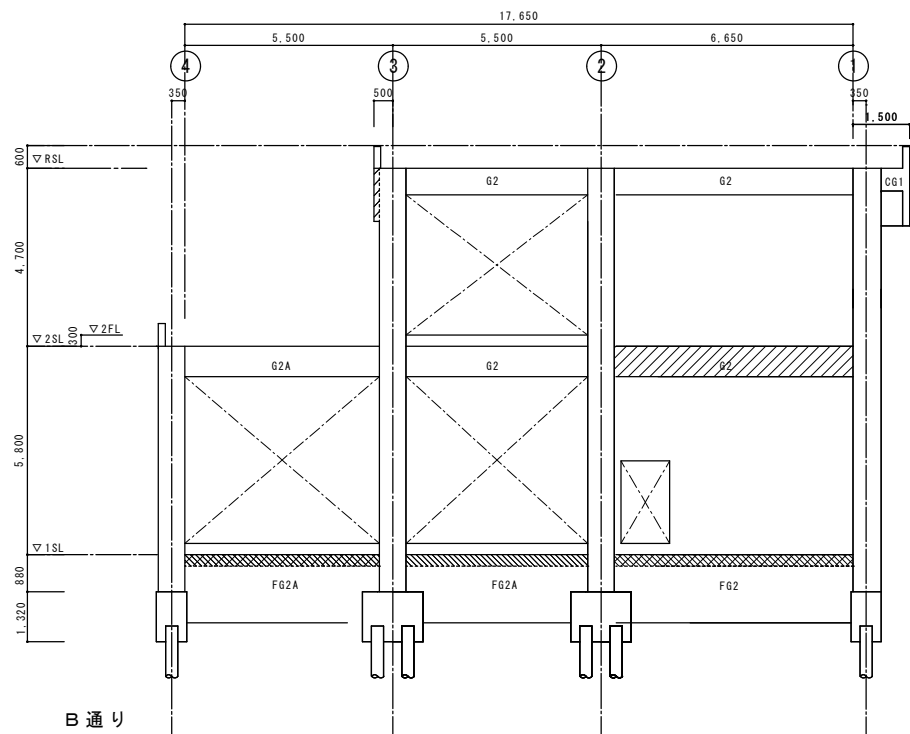
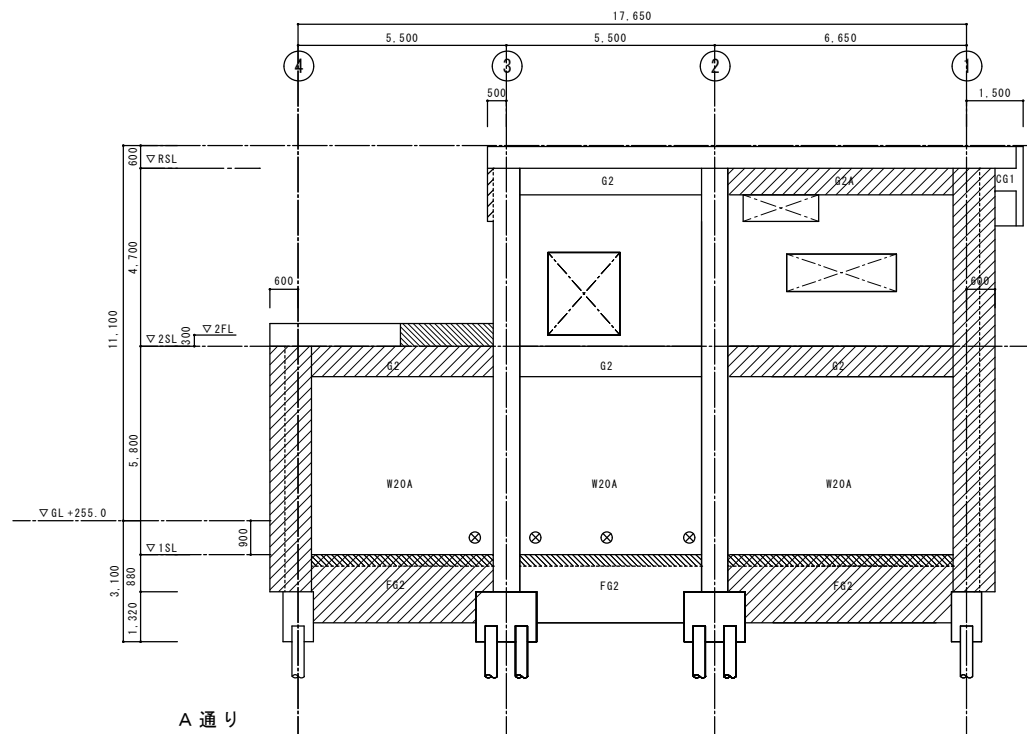


軸組図 1 S:1/100

特記なき限り

- 壁 (W20)
- 上面増し打ち
- 側面増し打ち

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
軸組図 1		S / 9
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



閉塞壁配筋要領 S:1/30

開口面より出ている鉄筋も含めてコンクリートを打設、
機械搬入後継手長さ部分を切り取る
最終的に上記の後打ちコンクリートを打設する



軸組図 2 S:1/100

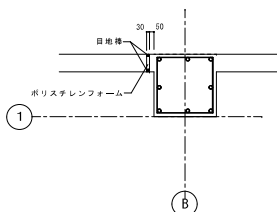
特記なき限り

- 壁 W20
- 上面増し打ち
- 側面増し打ち

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
軸組図 2		S / 10
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

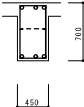
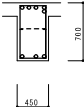
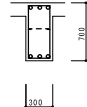



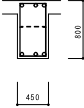
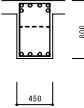
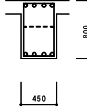



柱リスト S:1/30

停止板 810H100	
符 号	C1
2 階	 <p>700</p> <p>225</p>
主 筋	8-D25
巻 筋	□ B13#100
1 階	 <p>700</p> <p>225</p>
主 筋	8-D25
巻 筋	□ B13#100



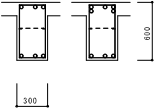
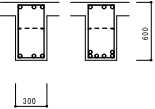
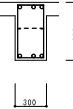
スリット詳細 S:1/30

大梁リスト S:1/30

中止形番 D10B1000			
符 号	G1、2	G2A	G3
R 階			
位 置	全断面	全断面	全断面
上 端 筋	3-D25	5-D25	3-D25
下 端 筋	3-D25	3-D25	3-D25
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10
あばら筋	 D13B290	 D13B200	 D13B200
符 号	G1	G1A	G2
2 階			
位 置	全断面	全断面	全断面
上 端 筋	3-D25	6-D25	4-D25
下 端 筋	3-D25	4-D25	4-D25
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10
あばら筋	 D13B290	 D13B200	 D13B200

柱増打ち S:1/30

小 梁 リ ス ト S:1/30





作止め筋 D10@100						
符 号		B1 B1A		B2		B0
断 面						
	() 内B1Aの中央を示す					
位 置	外端、中央 内端		端部 中央		全新道	
上 端 筋	3-D22 5-D22		3-D22 3-D22		3-D22	
下 端 筋	3(5)-D22 3-D22		3-D22 5-D22		3-D22	
渡 筋	2-D10		2-D10		2-D10	
あばら筋	□ D13#200		□ D13#200		□ D13#200	

地中梁リスト S:1/30

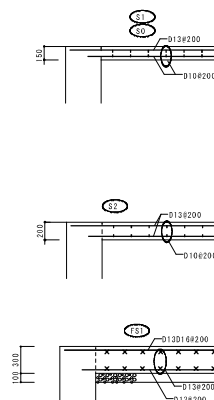
停止形鋼 D10H1000						
符 号	F61・2	F02A	F02B	F81	F82	
断面图						
位置	全断面	全断面	全断面	端部	中央	端部 中央
上 端 筋	4-D25	6-D25	6-D25	5-D22	3-D22	3-D22 3-D22
下 端 筋	4-D25	4-D25	5-D25	3-D22	5-D22	3-D22 5-D22
腹 筋	6-D10	6-D10	6-D10	2-D10	2-D10	2-D10
あはら筋	□ D13φ200	□ D13φ200	□ D13φ200	□ D13φ200	□ D13φ200	□ D13φ200

梁増打ち S:1/30

壁リスト S:1/30

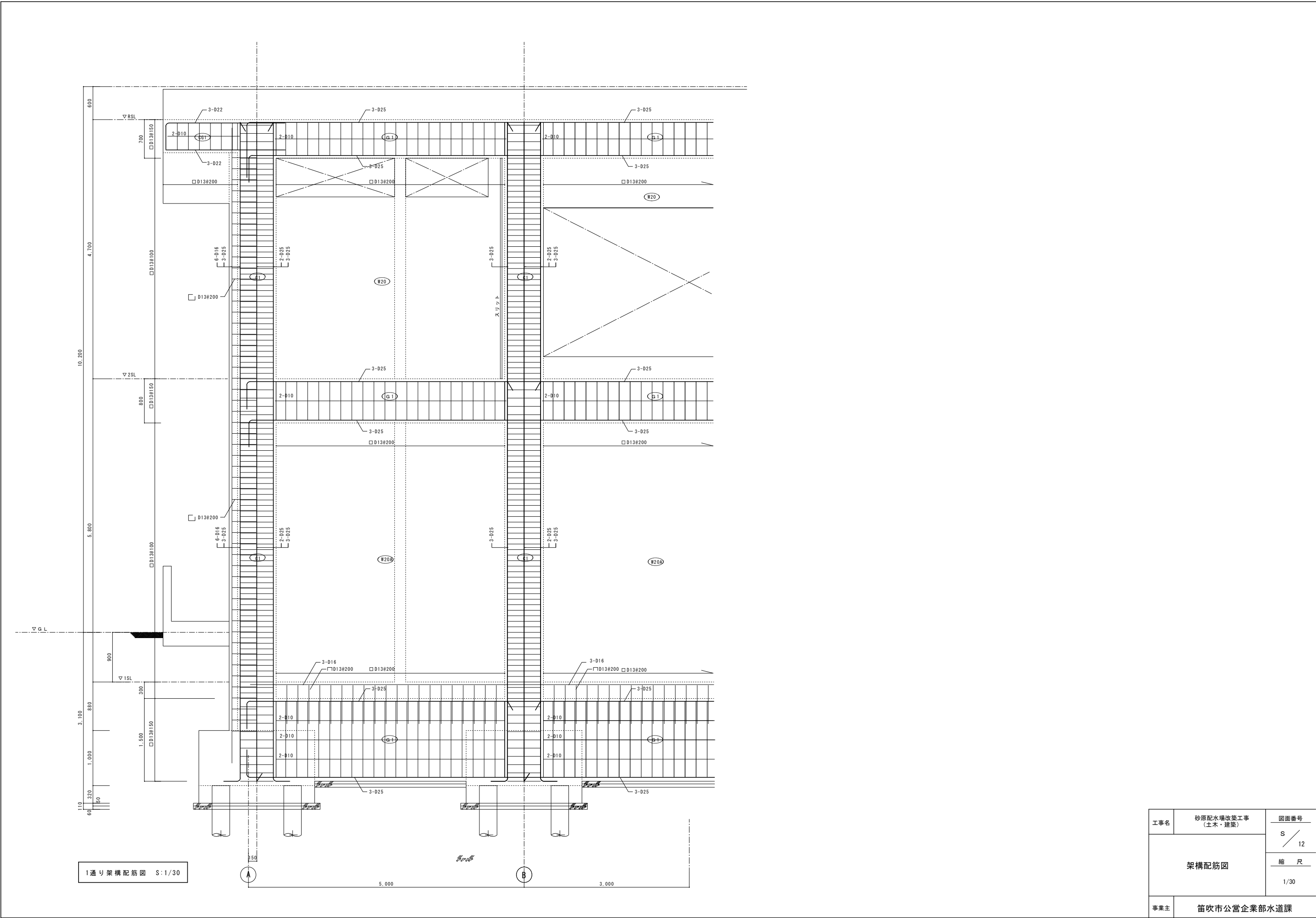
市上の形 D1041000				
符 号	W15	W20	W20A	開口補強筋
断 面				
タ 子 筋	D10@200	D13@200W	外 D13@100 内 D13@200	
引 当 筋	D10@200	D13@200W	D10@150W	
補 強 筋	1-D13	2-D13	2-D13	

床リスト S:1/30

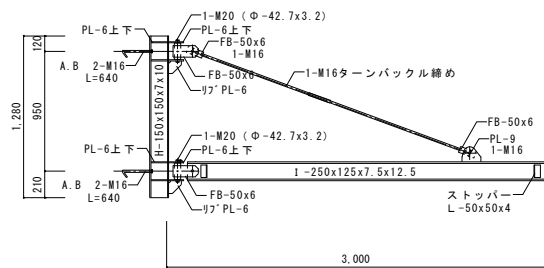


窯場配筋図 S:1/30

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
柱・梁・壁リスト		S / 11
		縮 尺 1/30
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
架構配筋図		S / 12
		縮 尺
		1/30
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

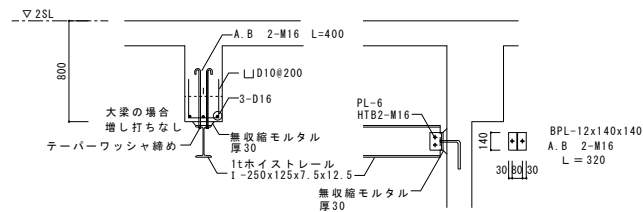


ジブクレーン取付詳細図 S:1/30

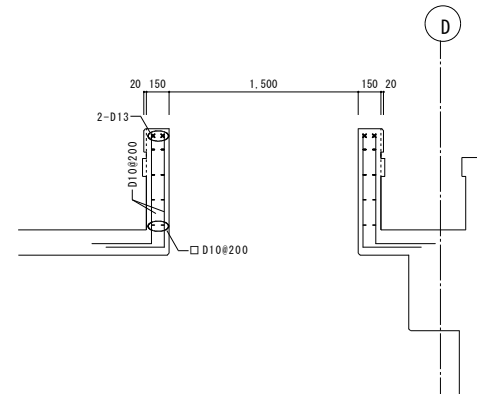
500kg未満

鉄骨一般事項

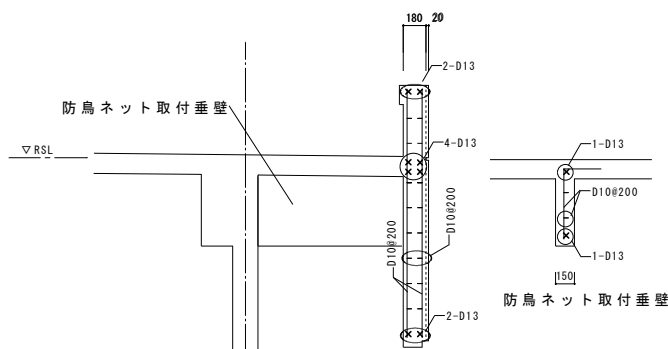
鋼材 S S 400
PL種 S S 400
HTボルト M16、20 S10T
A、B S S 400



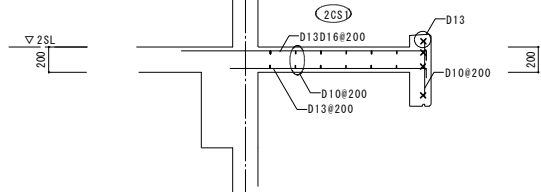
ホイストレール取付詳細図 S:1/30



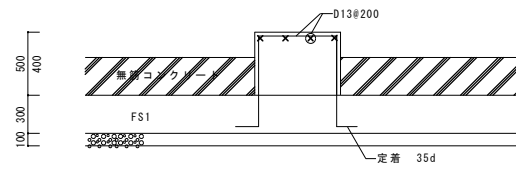
ポンプ搬入口配筋図 S:1/30



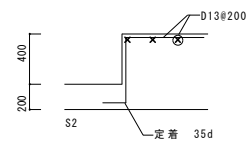
バラベット配筋図 S:1/30



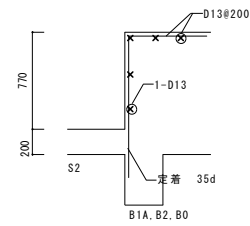
C S 1配筋図 S:1/30



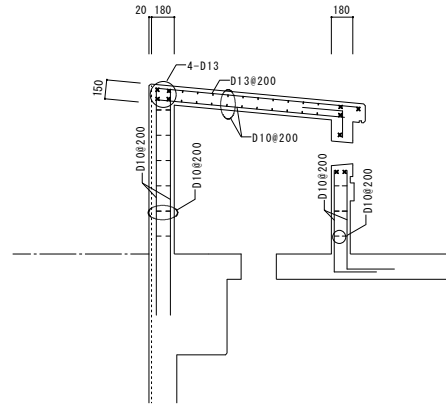
1階機械基礎配筋図 S:1/30



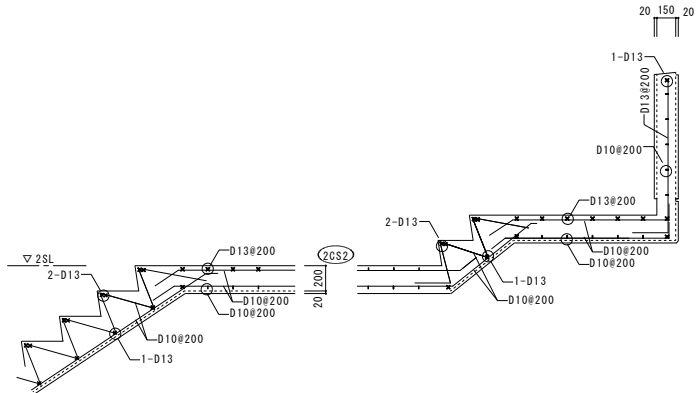
操作壁基礎配筋図 S:1/30



ろ過機基礎配筋図 S:1/30



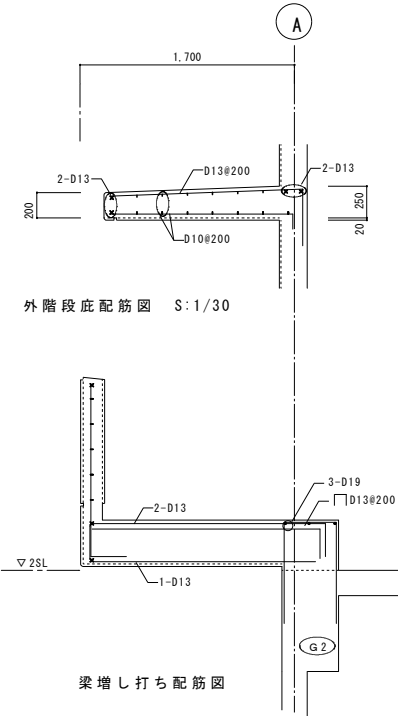
ハト小屋配筋図 S:1/30



C S 2配筋図

階段配筋図 S:1/30

内階段も同様



外階段底配筋図 S:1/30

梁増し打ち配筋図

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
雑詳細図		S / 13
		縮 尺
		1/30
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

[illegible]

照明器具姿図

記号	電圧	ランプ仕様	公共施設照明記号	備 考	記号	電圧	ランプ仕様	公共施設照明記号	備 考	記号	電圧	ランプ仕様	公共施設照明記号	備 考
A1	100V ～200V	LED40形	LSS1-4-30-LN		B1	100V ～200V	LED40形	LSS9-4-23-LN		C	100V ～200V	LED40形	LRS3-4-37-LN	
A2	100V ～200V	LED40形	LSS1-4-37-LN		B2	100V ～200V	LED40形	LSS9MP/RP-4-46-LN						
A3	100V ～200V	LED40形	LSS1-4-48-LN											
A4	100V ～200V	LED40形	LSS1-4-65-LN											
A5	100V ～200V	LED40形	LSS1MP/RP-4-64-LN	防湿形										
D1	100V ～200V	LED100形	LRS1-08-LN		E	100V ～200V	LED40形	LBF3MP/RP-4-26-LN	防雨形	F	100V ～200V	LED40形		
D2	100V ～200V	LED150形	LRS1-13-LN											
					ウォールライト					 無線調光 光束：6680lm 消費電力43.5W、定格出力型 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板 W＝220 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 （製造者標準品とする）				
G	100V ～200V	LED20形			H	100V ～200V	LED40形		防雨形	I	100V ～200V	LED	LPJ1M-180	防雨形
 人感センサ 光束：1600lm 消費電力11.6W、定格出力型 本体：鋼板 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 （製造者標準品とする）					ウォールライト 人感センサ 光束：2980lm 消費電力27W、高出力型 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 保護等級：IP23 LED内蔵、電源ユニット内蔵（製造者標準品とする）					水銀灯1000形相当 投光器取付台参考図				
J	100V ～200V	LED	K1-LRS11-2		K	100V ～200V	LED	K1-LSS11-2		L	100V ～200V	LED	K1-LSS14MP-2	防湿形
非常灯 30分型 					非常灯 30分型 					非常灯 30分型 				
M	100V ～200V	LED	LDS1-K1-LBF11-LN		N1	100V	LED	SH1-FBF20-C		O	100V	LED		防雨型
					N2	100V	LED	SH1-FSF20-C						
階段灯非常照明 30分型 					避難口誘導灯 (C)-C級 					避難口誘導灯 (B)-B級 B級 片面型 天井直付型（防雨型） 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 （製造者標準品とする）				
ハンディライコン ・自己点検スイッチ					ガード金具参考図					壁付非常灯取付参考図				
納品：ハンディライコン 1個 										 壁取付面 非常灯 非常灯				
納品：自己点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付 1個 														
					材質：ガード・取付金具：ステンレス 適用灯具寸法 (mm)：1,400x200未満					K1-LSS11-2： K1-LSS14MP-2：(A) SS250x250x250WP-VE（樹脂製防水）				

分電盤名称		L-1	
キャビネット形式		T（自立形）	
電気方式	種別	常用回路	
	相線	1φ3W	
	電圧	100/200V	
負荷容量		13,555 VA	
主幹器具	端子台定格電流	150A	
	定格電流	75AT	
	定格遮断電流	10kA	

備考	負荷容量 (VA)		定格電流 (A)	供給室名	回路番号
	コンセント	電灯			
100V		20	20	1,2階誘導灯	⚠

備考	負荷容量 (VA)		定格電流 (A)	供給室名	回路番号
	コンセント	電灯			
200V		885	20	1階(照明)換気室、ポンプ室	①
200V		330	20	2階(照明)電気室	③
200V		95	20	(照明)内部階段	⑤
200V		30	20	1階(照明)保安灯	⑦
200V		525	20	投光器	⑨
200V		(1,000)	20	予備	⑪
100V	600		20	1階(コンセント)ポンプ室	①
100V	300		20	2階(コンセント)電気室	③
100V	1,000		20	2階 便所ウォシュレット	⑤
100V	500		20	0A用電源(収納箱内)	⑦
100V	600		20	全熱交換器給排気ファン	⑨
100V	225		20	2階(照明)玄関、便所、洗面所	⑪
100V	(500)		20	予備	⑬
3,725		2,885			
		6,610			

自動-切-手動（手元-遠方ON-OFF）
自動：ソーラータイマによる点灯
1回路用 停電補償付

1次側ケーブル
配線は、下部側より

○TB

回路番号	供給室名	定格電流 (A)	負荷容量 (VA)		備考
			電灯	コンセント	
⚠	自火報受信機	20		100	

回路番号	供給室名	定格電流 (A)	負荷容量 (VA)		備考
			電灯	コンセント	
②	1階(照明)自家発電室	20	360		200V
④	2階(照明)換気室、ホム 薬品室	20	770		200V
⑥	(照明)外部階段、屋上	20	90		200V
⑧	2階(照明)非常・保安灯	20	25		200V
⑩	予備	20	(1,000)		200V
⑫	予備	20	(1,000)		200V
⑭	1階(コンセント)換気室、自家発電室	20		300	100V
②	2階(コンセント)換気室、ホム 薬品室	20		700	100V
④	0A用電源	20		1,000	100V
⑥	浄化槽電源	20		200	100V
⑧	給排気ファン 薬品室	20		400	100V
⑩	予備	20		(500)	100V
⑫	予備	20		(500)	100V
			3,245	3,700	
			6,945		

電灯分電盤結線図

換気ファン操作表

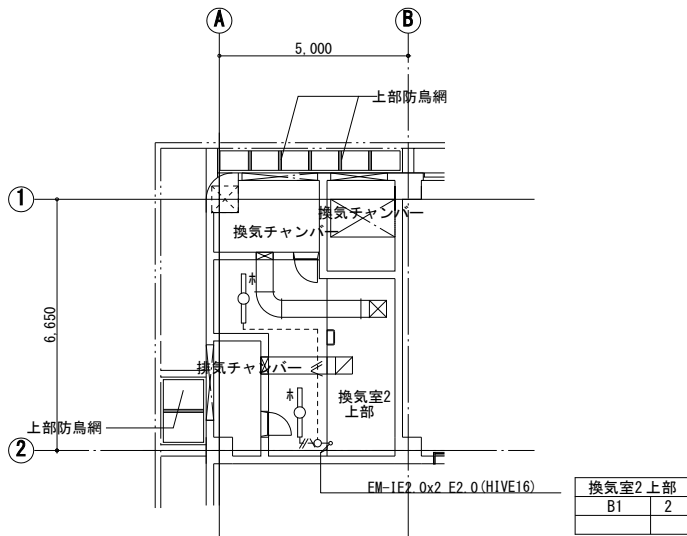
回路番号	負 荷			始動方式	操作制御方式	操作制御スイッチ	電流計	操作		表示		PE盤へ故障	連 動	備 考
	名 称	記 号	容量 (W)					運転	停止	運転	停止			
⑩	給気ファン 薬品室	FS-2	57	L	2-1	Ti		○	○	○	○	○		
⑩	排気ファン 薬品室	FE-2	57	L	4-1	I				○	○	○		

注記)

- 分岐配線用遮断器、漏電遮断器は、2Pを使用した場合を示し、100Vは1E、200Vは2Eとする。
- 分岐回路数分の接地端子又は銅バーを設ける。
- 消防用回路遮断器には赤キャップを取り付ける。
- 給排気ファン運転はスイッチ、タイマーによる。

※
× 3PMCCB
× 2PMCCB
× 2PELCB

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
電灯分電盤結線図 照明器具姿図		AE / 02
		縮 尺
		NS
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



電灯設備 階段室上部平面図 S=1/100

凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称
▼	電灯分電盤 (既設)	▽N	人感センサ検知器 (親機) 埋込形 (広角) 換気扇接続端子付
⊙	避難口誘導灯	▽N	人感センサ検知器 (子機) 埋込形 (広角)
●	非常照明 壁付 (BT内蔵) 人感センサ付	▽K	人感センサ検知器 (子機) 埋込形 (広角) 換気扇連動端子付
●	非常灯 (BT内蔵)	◇	操作スイッチ 自-切-連x1 15A
⊗	保安灯 (BT内蔵)	◇ ₂	操作スイッチ 自-切-連x2 15A
○	一般照明 天井付	○	ジョイントボックス
○	一般照明 天井付 無線調光	⊠	プルボックス
○	一般照明 壁横付	○-○-	露出ボックス
○	一般照明 壁縦付	-----	配管配線 露出
○	LED ダウンライト	●	スイッチ 1P15Ax1
○	投光器	●3	3路スイッチ 3W15Ax1
		(RP)表示	防雨形プレート
		---	天井内ころがし配線
		---	PF管天井内突出し

1. 特記なき配管配線は下記とする。

(露出配管配線)	
----#---- EM-IE2. 0x2 (HIVE16)	----#x---- EM-IE2. 0x2 E2. 0 (HIVE16)
---##---- EM-IE2. 0x3 (HIVE16)	----#x---- EM-IE2. 0x3 E2. 0 (HIVE16)
---##---- EM-IE2. 0x5 (HIVE22)	---##x---- EM-IE2. 0x4 E2. 0 (HIVE22)
---##x---- EM-IE2. 0x6 (HIVE22)	---##x---- EM-IE2. 0x5 E2. 0 (HIVE22)
	---##x---- EM-IE2. 0x6 E2. 0 (HIVE28)
	---##x---- EM-IE2. 0x7 E2. 0 (HIVE28)
	---##x---- EM-IE2. 0x9 E2. 0 (HIVE28)

(隠ぺい配管配線)	
---#--- EM-IE2. 0x2 (PF16)	
---##--- EM-IE2. 0x3 (PF16)	
---##x--- EM-IE2. 0x4 (PF16)	
---##x--- EM-IE2. 0x2 E2. 0 (PF16)	---##x--- EM-IE2. 0x2 E2. 0 (PF16)
---##x--- EM-IE2. 0x3 E2. 0 (PF16)	

(ケーブル配線)	
F2	EM-EEF2. 0-2C (ころがし)
F3	EM-EEF2. 0-3C (ころがし)
F2x2	EM-EEF2. 0-2Cx2 (ころがし)

(二種金属線び)	
---#--- EM-IE2. 0x2 E2. 0 (MM2) 40x30	
---##--- EM-IE2. 0x4 E2. 0 (MM2) 40x30	
---##x--- EM-IE2. 0x5 E2. 0 (MM2) 40x30	

2. プルボックスサイズ

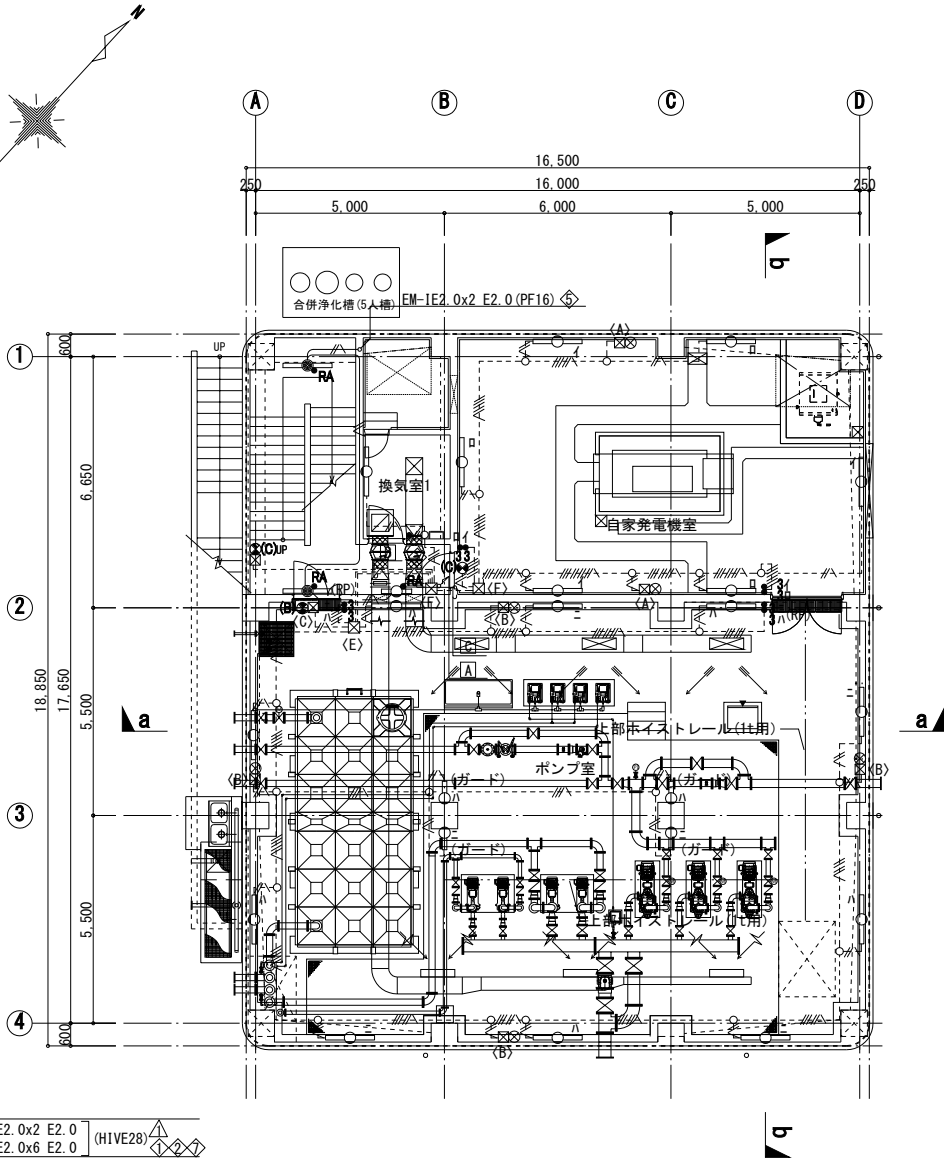
⊠(A) P. BOX SS 250x250x250-VE
⊠(B) P. BOX SS 250x250x250-WP-VE
⊠(C) P. BOX SS 300x300x100-WP-VE
⊠(D) P. BOX SS 300x300x200-VE
⊠(E) P. BOX SS 300x300x200-WP-VE
⊠(F) P. BOX SS 300x300x200
⊠(G) P. BOX SS 400x400x200

A	EM-IE2. 0x2 E2. 0 (HIVE28)
	EM-IE2. 0x6 E2. 0

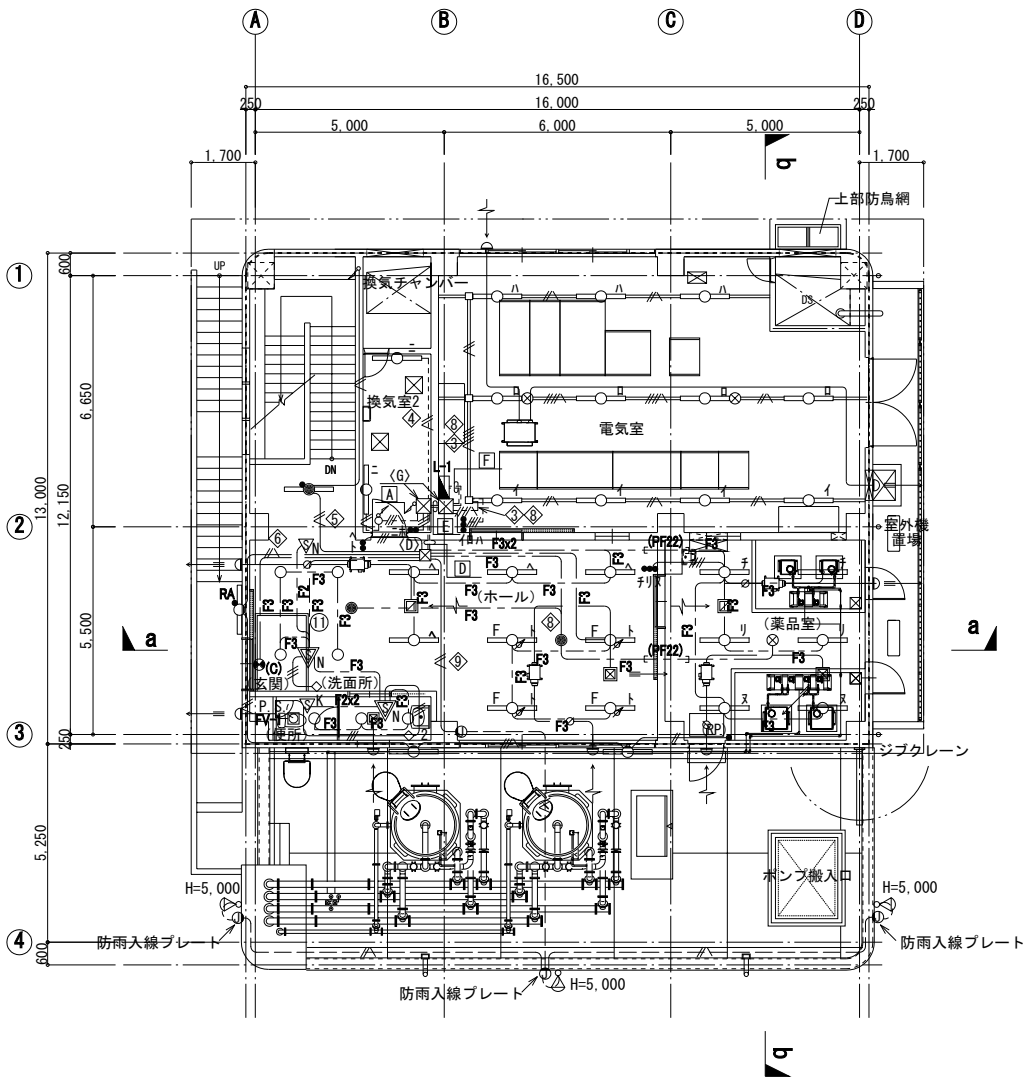
D	EM-IE2. 0x6 E2. 0 (HIVE28)
	EM-IE2. 0x4 E2. 0 (HIVE28)
	EM-IE2. 0x4

E	EM-IE2. 0x6 E2. 0 (E31)
	EM-IE2. 0x6 E2. 0 (E31)
	EM-IE2. 0x4 E2. 0 (E31)
	EM-IE2. 0x4

F	EM-IE2. 0x6 E2. 0 (HIVE28)
	EM-IE2. 0x8 E2. 0 (HIVE28)
	EM-IE2. 0x4 E2. 0 (HIVE28)
	EM-IE2. 0x4



電灯設備 1階平面図 S=1/100



電灯設備 2階平面図 S=1/100

外部階段	階段室	換気室2	電気室	薬品室	屋上
H	1	M	1	A2	2
				A1 線び	11
				K 線び	2
				B2	6
				L	1
玄関ホール	便所	洗面所	ホール	外部	
D2	4	D1	1	D1	2
				C	4
				J	2
				F	4
				N2	1

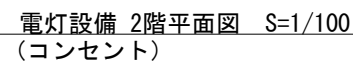
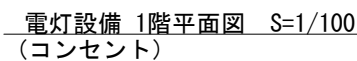
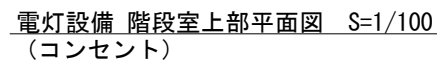
A	EM-IE2. 0x2 E2. 0 (HIVE28)
	EM-IE2. 0x6 E2. 0

B	EM-IE2. 0x2 E2. 0 (HIVE28)
	EM-IE2. 0x4 E2. 0

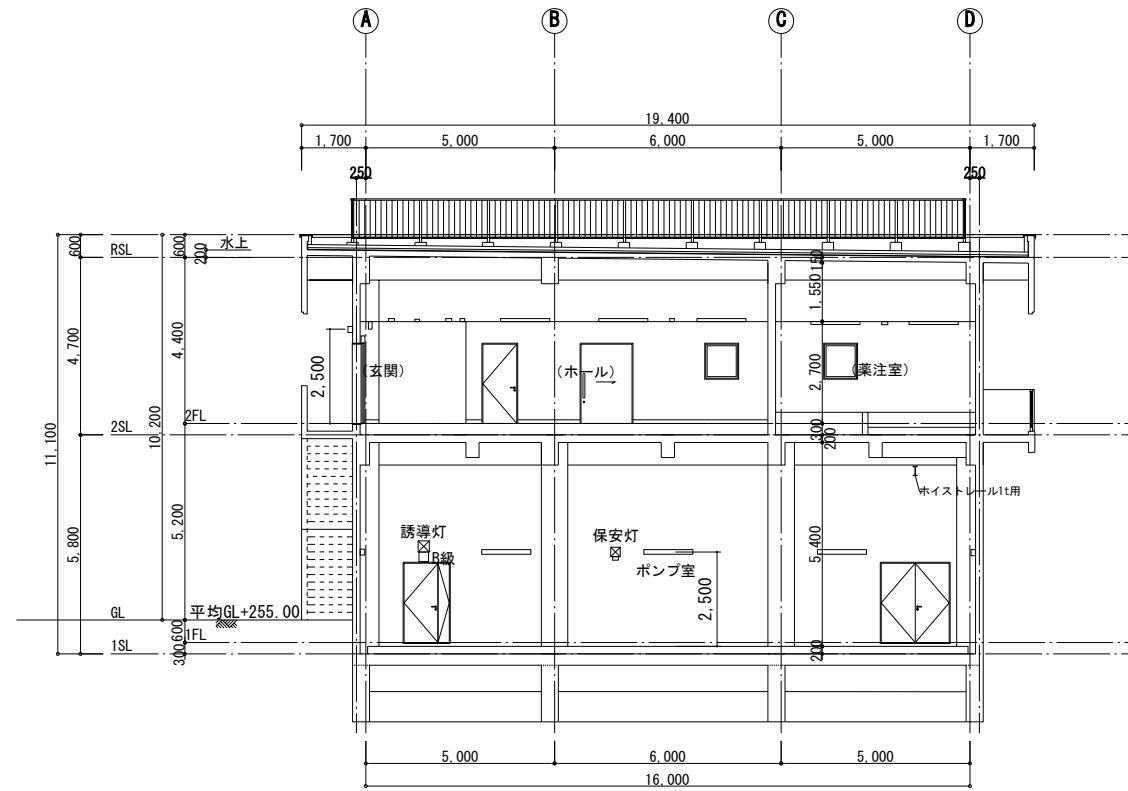
C	EM-IE2. 0x2 E2. 0 (E31)
	EM-IE2. 0x4 E2. 0

階段室	換気室1	自家発電機室	ポンプ室
M	2	A3	1
G	1	A4	6
N1	1	K	2
		SUSガード	4
		N1	1

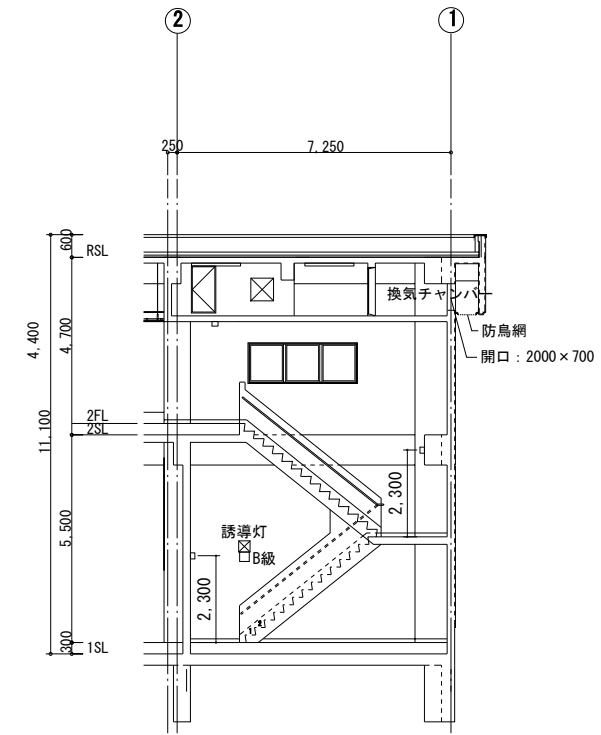
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		AE / 03
電灯設備 1階、2階平面図		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



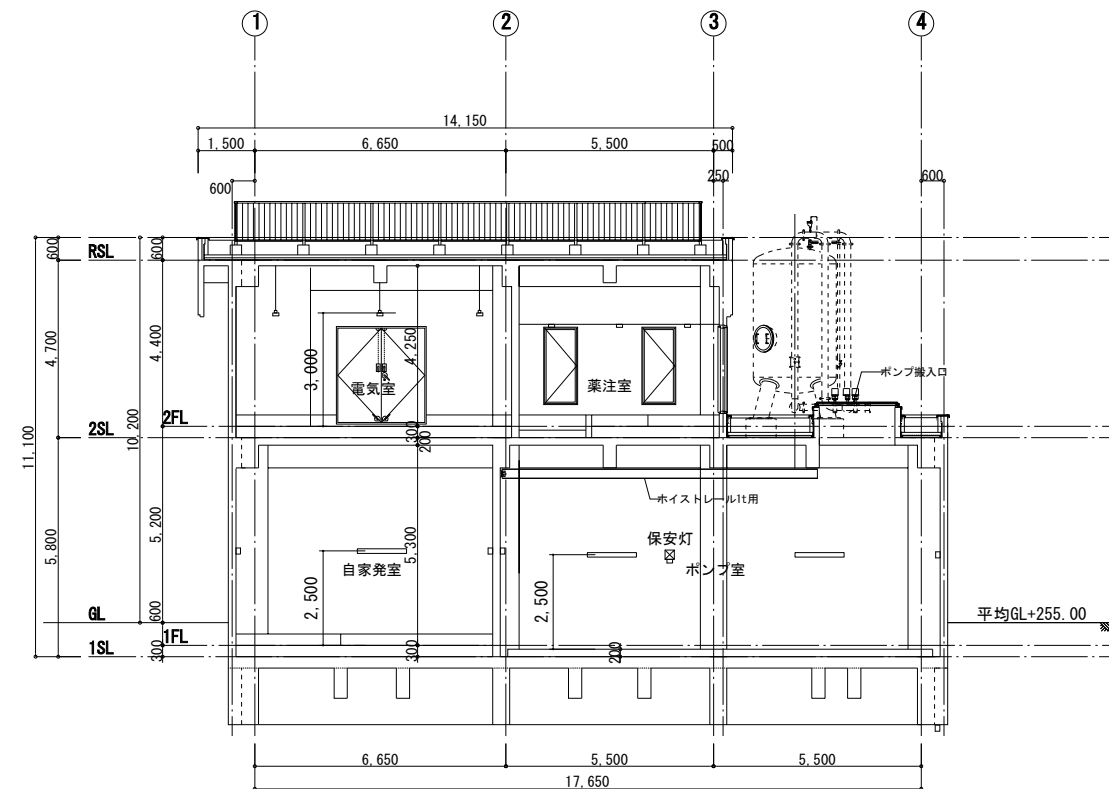
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
電灯設備(コンセント) 1階、2階平面図		AE / 04
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



a-a断面図 S=1/100



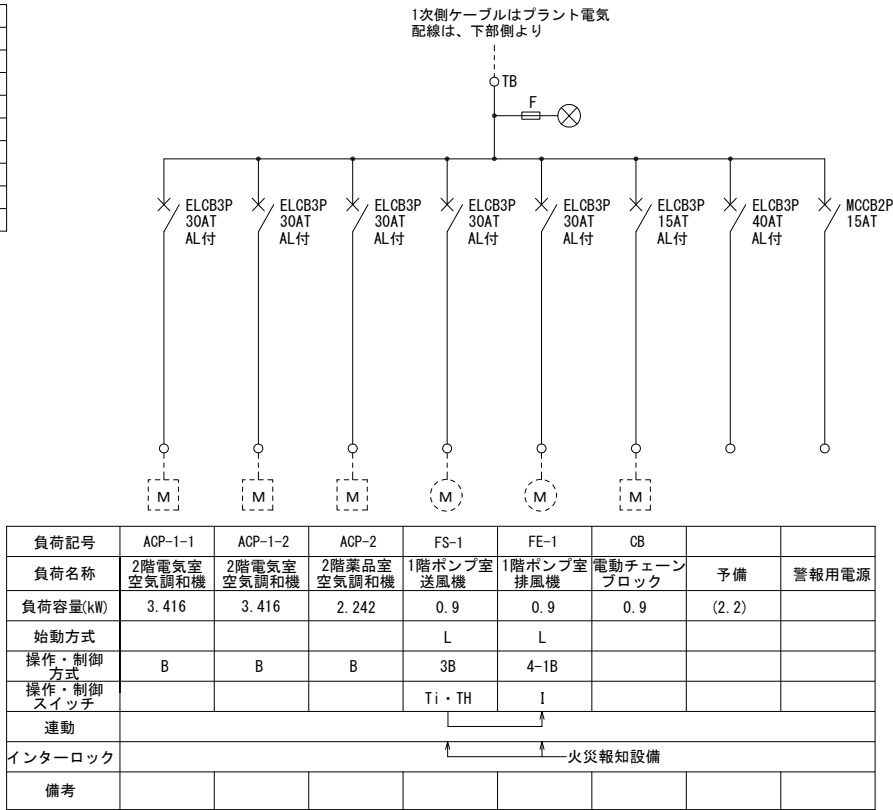
内部階段断面図 S=1/100



b-b断面図 S=1/100

工事名	砂原配水場改善工事 (土木・建築)	図面番号
a-a, b-b断面図 内部階段断面図		AE / 05
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

動力制御盤 名 称		P-1
キャビネット形式		屋内壁掛形
電気方式	種別	常用回路
	相線	3φ3W
	電圧	200V
負 荷 容 量		13.974kW
幹 線 記 号		—
主幹器具	端子台定格電流	150A
	定格電流	—
	定格遮断電流	10kA



動力制御盤結線図

(凡 例)

国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」による。

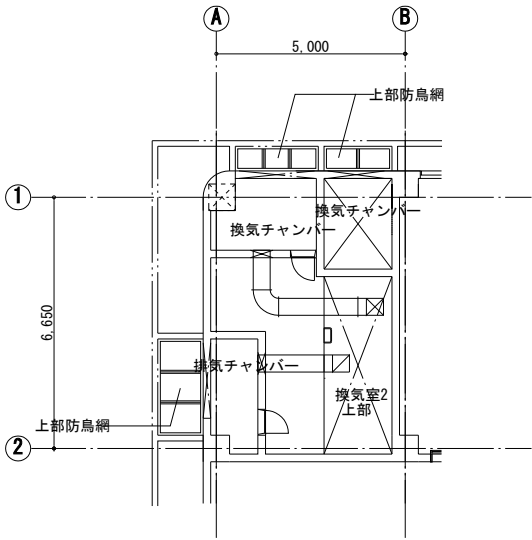
始動方式 L……直入

操作・制御方式 B……ブザー及び橙表示灯及び警報用接点を設ける。
3……手動-自動
4-1……試験-自動

操作・制御スイッチ I……連動スイッチ
Ti……タイムスイッチ
TH……サーモスタット

- (注 記)
- 制御盤の故障を一括して外部に出力する。
 - 制御盤の警報ブザーは、30分間鳴動後、自動停止とすること。
 - タイマースイッチ:24時間用(停電補償付)
 - 火災移報接点により送排風機を停止する。

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		AE / 06
動力制御盤結線図		縮 尺
		NS
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



階段室上部平面図 S=1/100

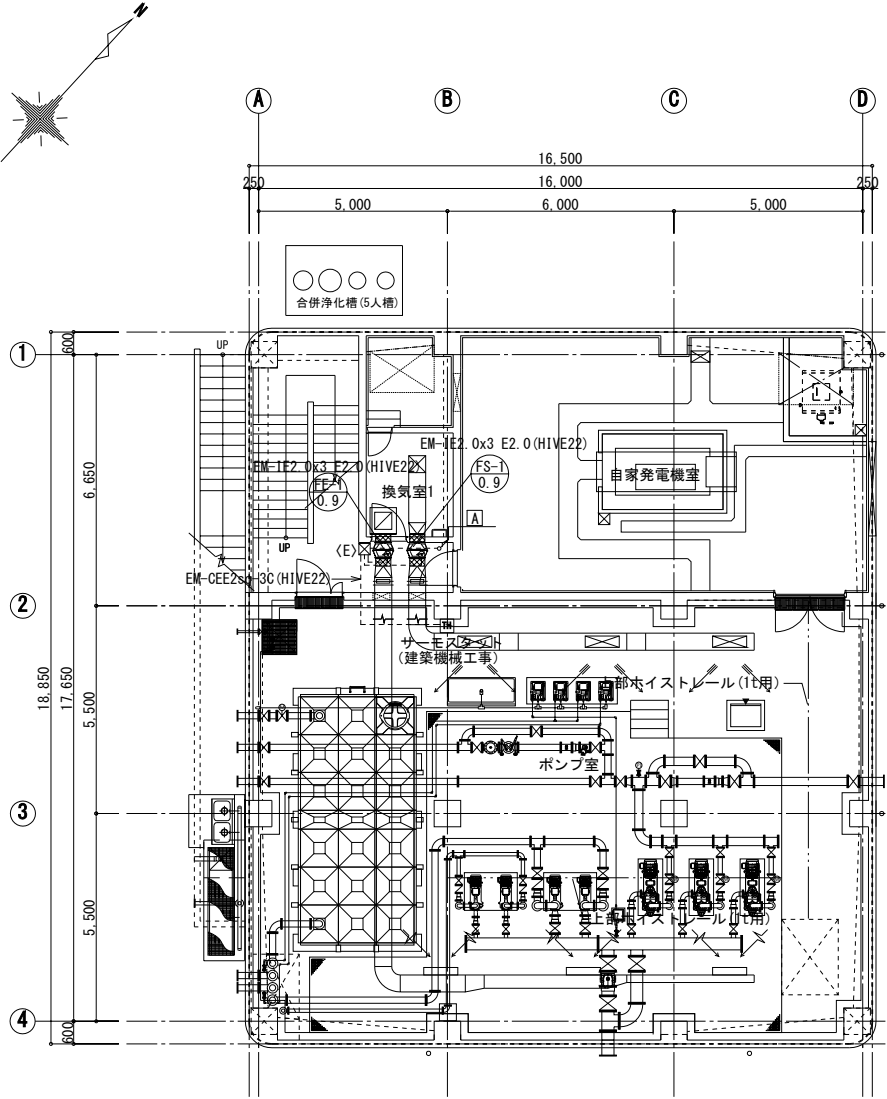
凡例

記号	名称	記号	名称
☒	動力制御盤	☒	ブルボックス
☒	屋外形開閉器盤	---○	露出ボックス
☐	電動機	-----	配管配線
☐	電動機	-----	露出
☐	電動機	-----	隠ぺい
☐	サーモスタット (建築機械工事)	☐	立上げ・引下げ
		—ε—	PF管天井内突出し

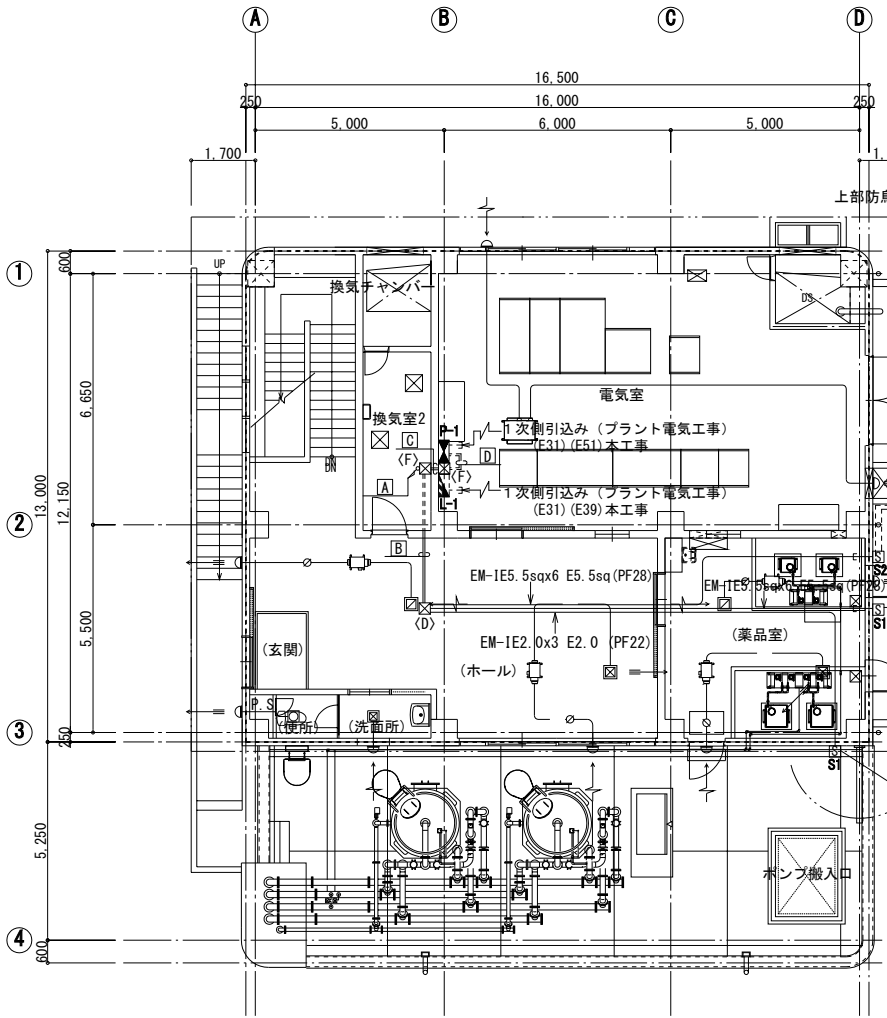
注記

1. ブルボックスサイズ

- ☒ (D) P.BOX SS 300x300x200-VE
☒ (E) P.BOX SS 300x300x200-WP-VE
☒ (F) P.BOX SS 300x300x200



動力設備 1階平面図 S=1/100



動力設備 2階平面図 S=1/100

- ☒ : 屋外形開閉器盤
S1 (MCCB3P50AF/NT)
☒ : 屋外形開閉器盤
S2 (MCCB3P50AF/NTx2)
EM-CE5.5sq-3C E2.0 (G22) (F24V)-WP
ACP-1-1 (上段)
3.416
EM-CE5.5sq-3C E2.0 (G22) (F24V)-WP
ACP-1-2 (下段)
3.416
EM-CE5.5sq-3C E2.0 (G22) (F24V)-WP
ACP-2
2.242
EM-IE2.0x3 E2.0 (PF22)
CB
0.9

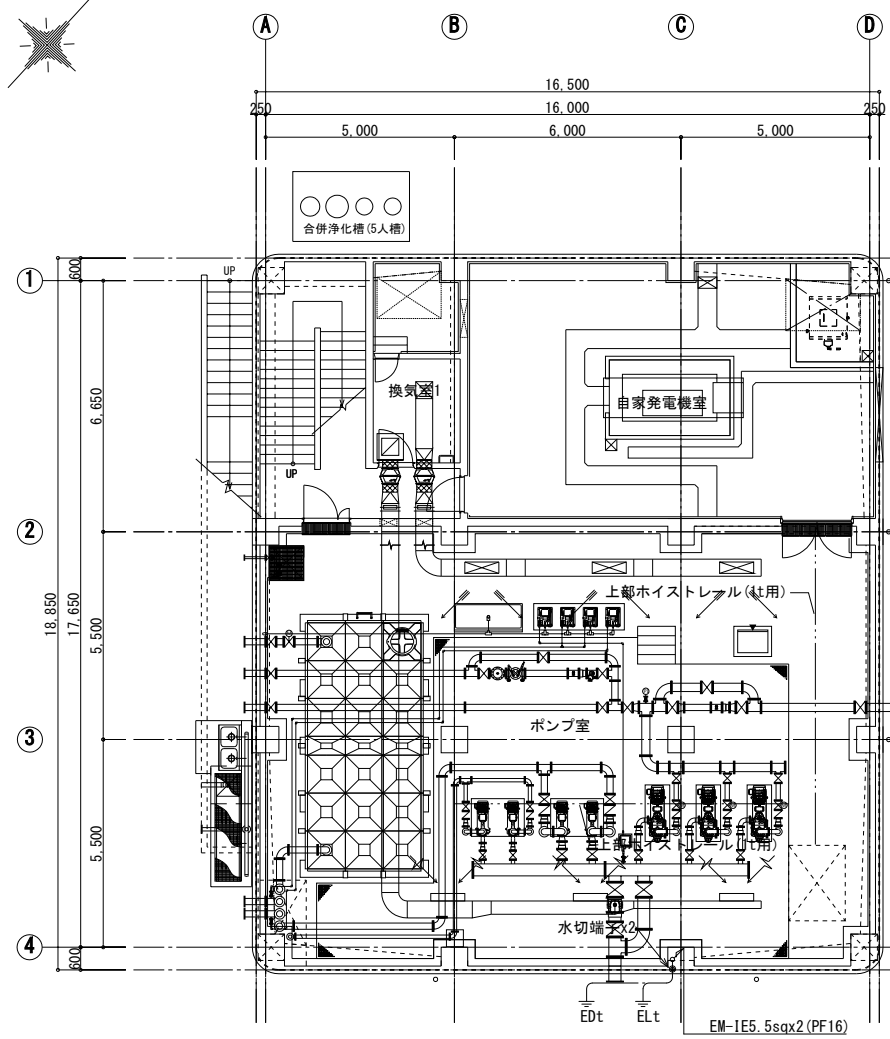
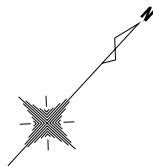
- A
EM-IE2.0x6 E2.0 (HIVE28) FS-1, FE-1
EM-CEE2sq-3C (HIVE22) サーモスタット

- B
EM-IE5.5sqx6 E5.5sq (HIVE28) ACP-1-1, 1-2
EM-IE5.5sqx3 E5.5sq (HIVE28) ACP-2
EM-IE2.0x3 E2.0 (HIVE28) CB

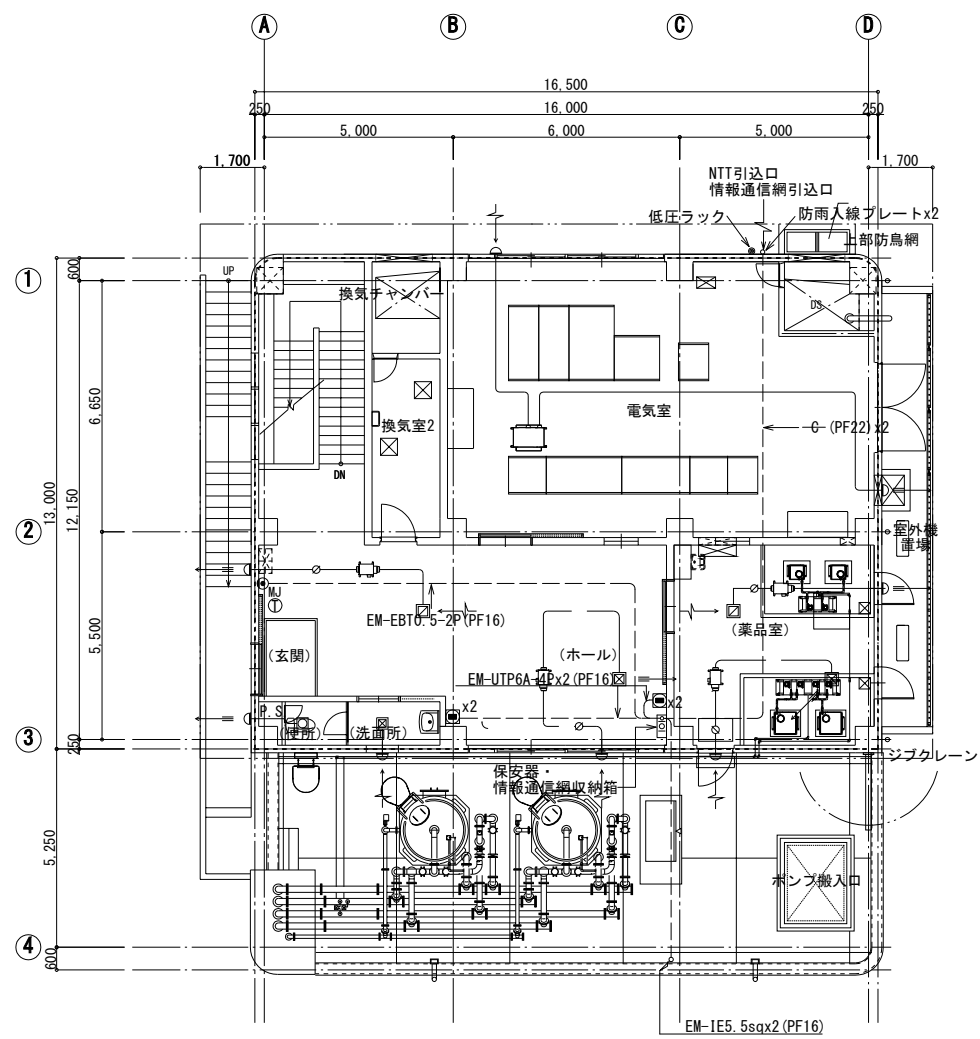
- C
EM-IE2.0x6 E2.0 (E31) FS-1, FE-1
EM-CEE2sq-3C (E25) サーモスタット
EM-IE5.5sqx6 E5.5sq (E31) ACP-1-1, 1-2
EM-IE5.5sqx3 E5.5sq (E31) ACP-2
EM-IE2.0x3 E2.0 (E31) CB

- D
EM-IE2.0x6 E2.0 (HIVE28) FS-1, FE-1
EM-CEE2sq-3C (HIVE22) サーモスタット
EM-IE5.5sqx6 E5.5sq (HIVE28) ACP-1-1, 1-2
EM-IE5.5sqx3 E5.5sq (HIVE28) ACP-2
EM-IE2.0x3 E2.0 (HIVE28) CB

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
動力設備 1階、2階平面図		AE / 07
		縮尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



構内情報網設備 1階平面図 S=1/100



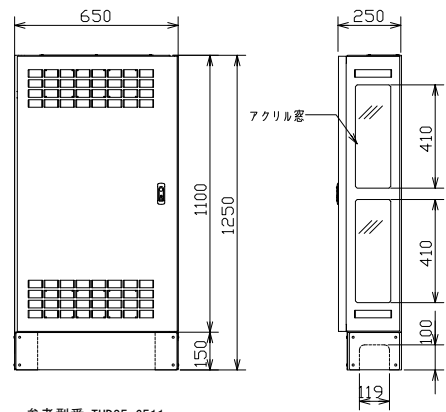
構内情報網設備 2階平面図 S=1/100

凡 例

記 号	名 称
☐	情報通信網収納箱 姿図参照
●RJ	モジュージャック RJ11
■x2	モジュージャック RJ45x2
①	外線電話機仕様
⊥ELt	保安器用接地工事
⊥EDt	通信用接地工事
— — —	配管配線 床隠ぺい
↕	立上げ・引下げ

1. 外線電話機仕様

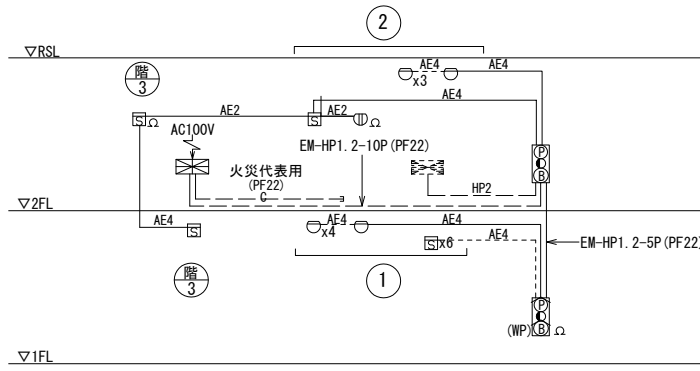
- ・受話器：コードレス
- ・電源：AC100V
- ・停電対応
- ・卓上型
- ・参考型番：VE-GD56DL



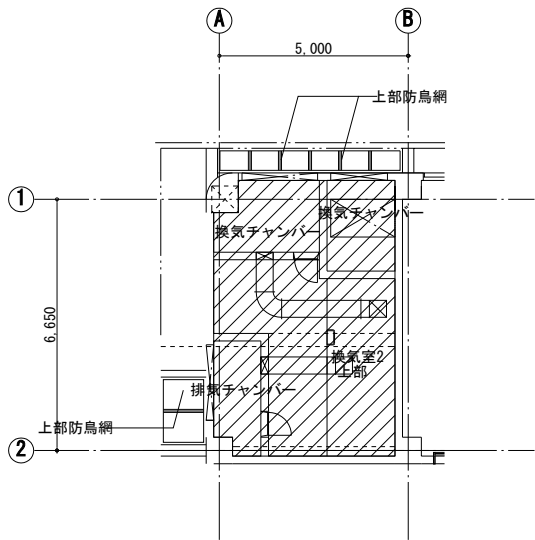
参考型番 THD25-6511

保安器・情報通信網収納箱参考図 S=1/15

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
構内交換・情報通信網設備 1階、2階平面図		AE / 08
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



火災報知設備系統図



火災報知設備 階段室上部平面図 S=1/100

凡 例

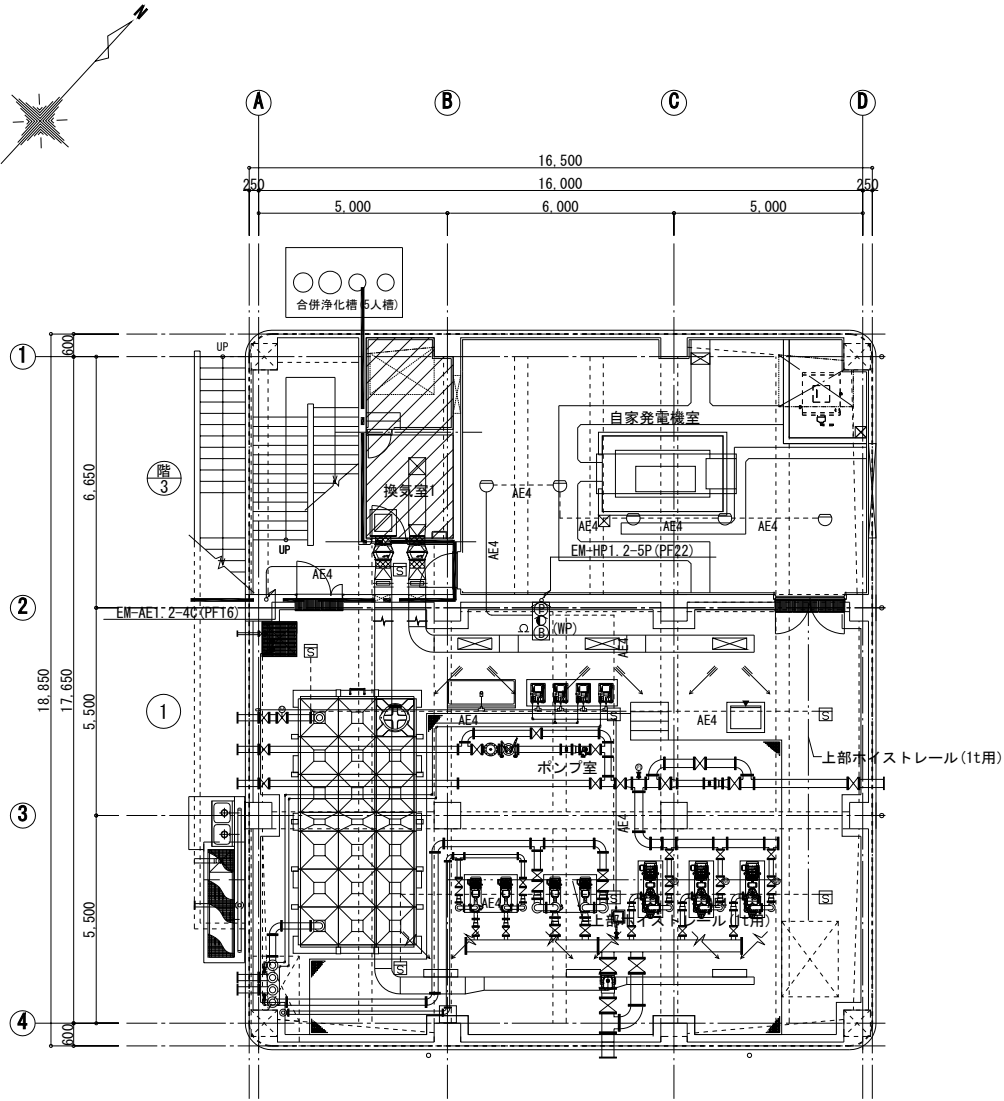
記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
☒	受信機	P型 1級 5回線	Ω	終端抵抗	10KΩ
Ⓜ	総合盤	露出縦形 (ⓂⓂⓂ 内蔵)	Ⓜ	警戒区域番号	
Ⓜ(WP)	総合盤 防水形	露出縦形 (ⓂⓂⓂ 内蔵)	Ⓜ	動力制御盤 (別途)	
Ⓜ	電鈴	DC24V 150φ			
○	表示灯	LED 24V Ⓜ防水型	—	配管配線	隠ぺい
Ⓜ	発信機	P型1級 DC24V Ⓜ屋外型	—	配管配線	床隠ぺい
Ⓜ	光電式スポット型感知器	2種	Ⓜ	配管配線	立上げ・引下げ
Ⓜ	差動式スポット型感知器	2種			
Ⓜ	定温式スポット型感知器	1種 耐酸形			

特 記

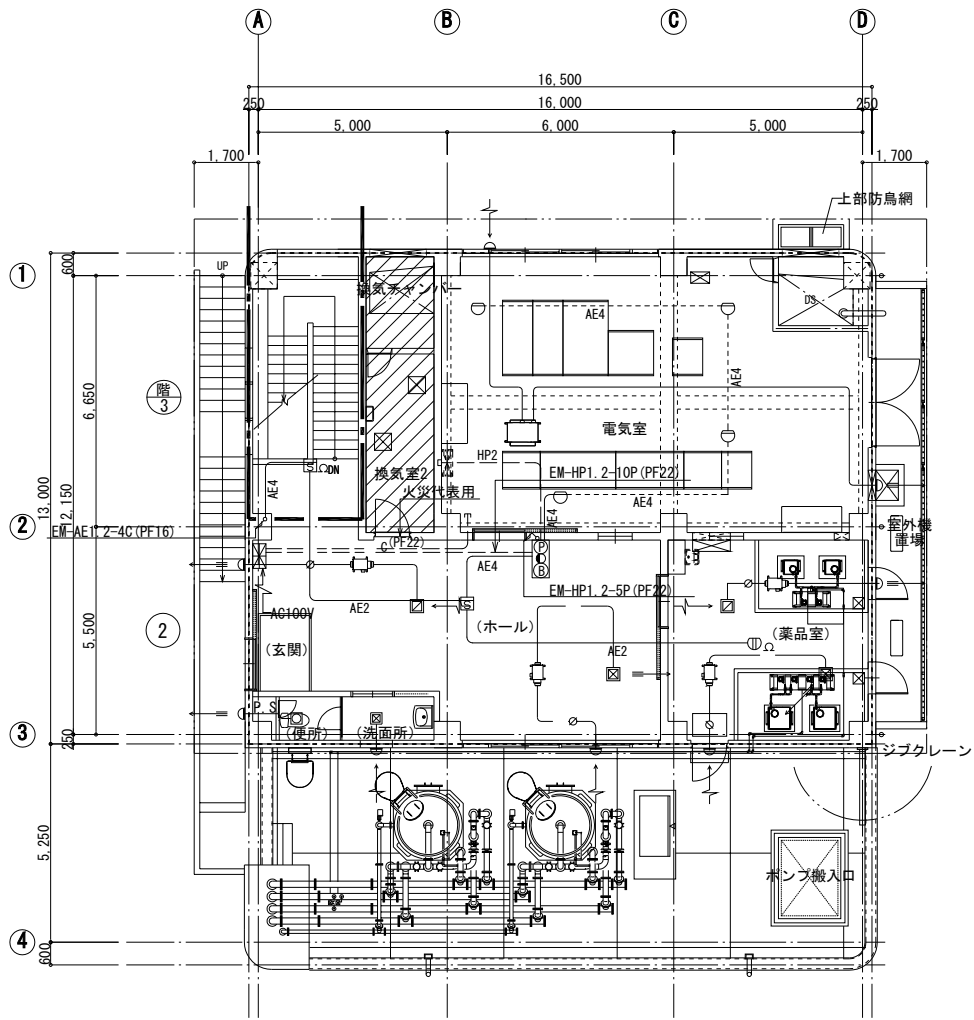
- 火災受信盤の表示内訳は下記の通り。

自火報	3L
予 備	2L
合 計	5L
- 地区警報は一斉鳴動方式とする。
- 火災受信盤は別途動力盤へ火災代表を移報する。
- 火災受信盤は別途盤へ火災代表を移報する。
- 特記なき配管配線は下記とする。

AE2	EM-AE1.2-2C (PF16)
AE4	EM-AE1.2-4C (PF16)
AE2	EM-AE1.2-2C (HIVE16)
AE4	EM-AE1.2-4C (HIVE16)
HP2	EM-HP1.2-2C (PF16)
- 部は感知器免除範囲を示す。

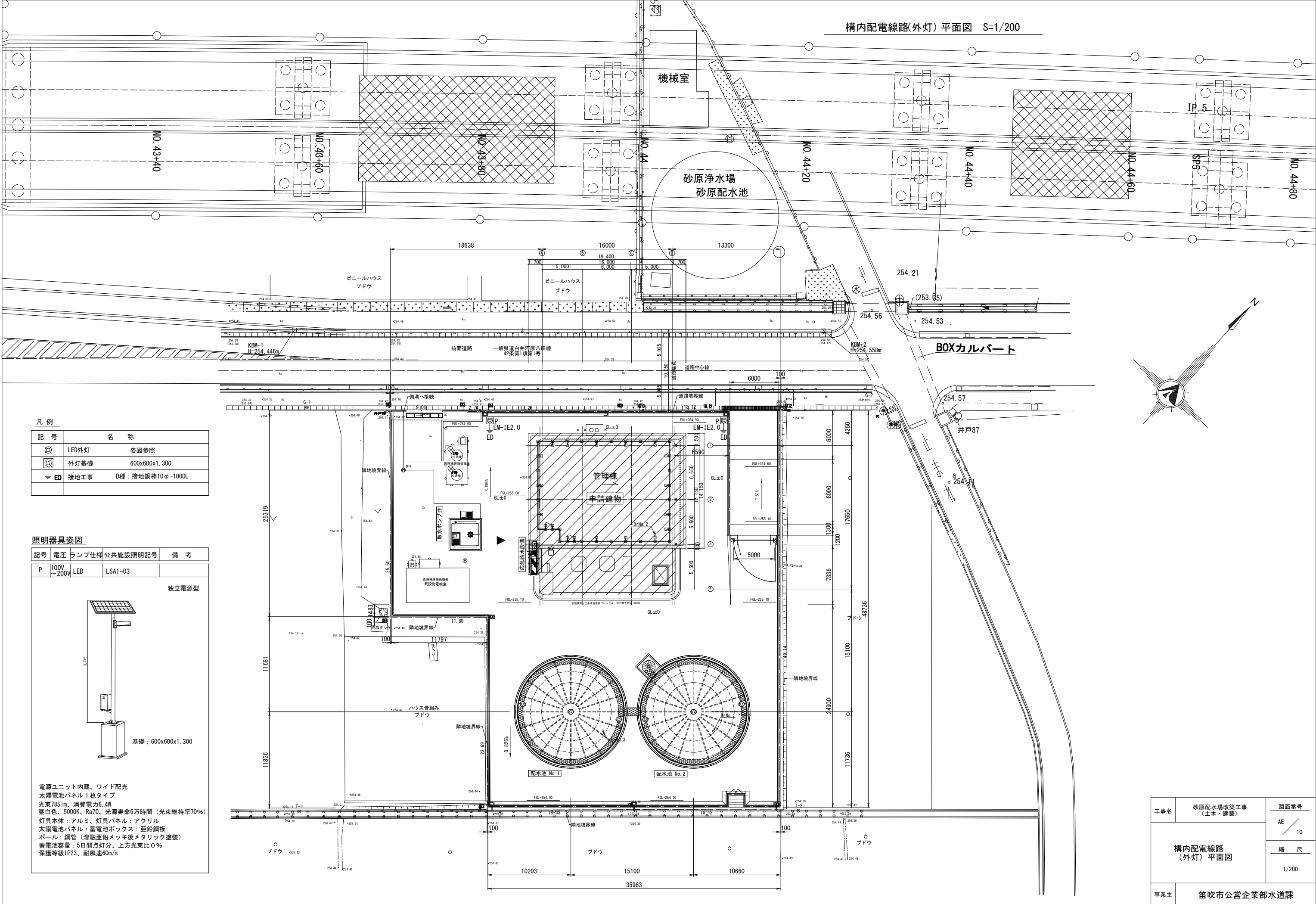


火災報知設備 1階平面図 S=1/100



火災報知設備 2階平面図 S=1/100

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
火災報知設備 1階、2階平面図		AE / 09
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



凡 例

記 号	名 称
	LED外灯 姿図参照
	外灯基礎 600x600x1,300
	接地工事 D種：接地銅棒10φ-1000L

照明器具姿図

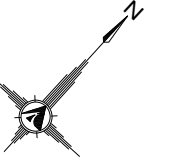
記号	電圧	ランプ仕様	公共施設照明記号	備 考
P	100V ~200V	LED	LSA1-03	

独立電源型

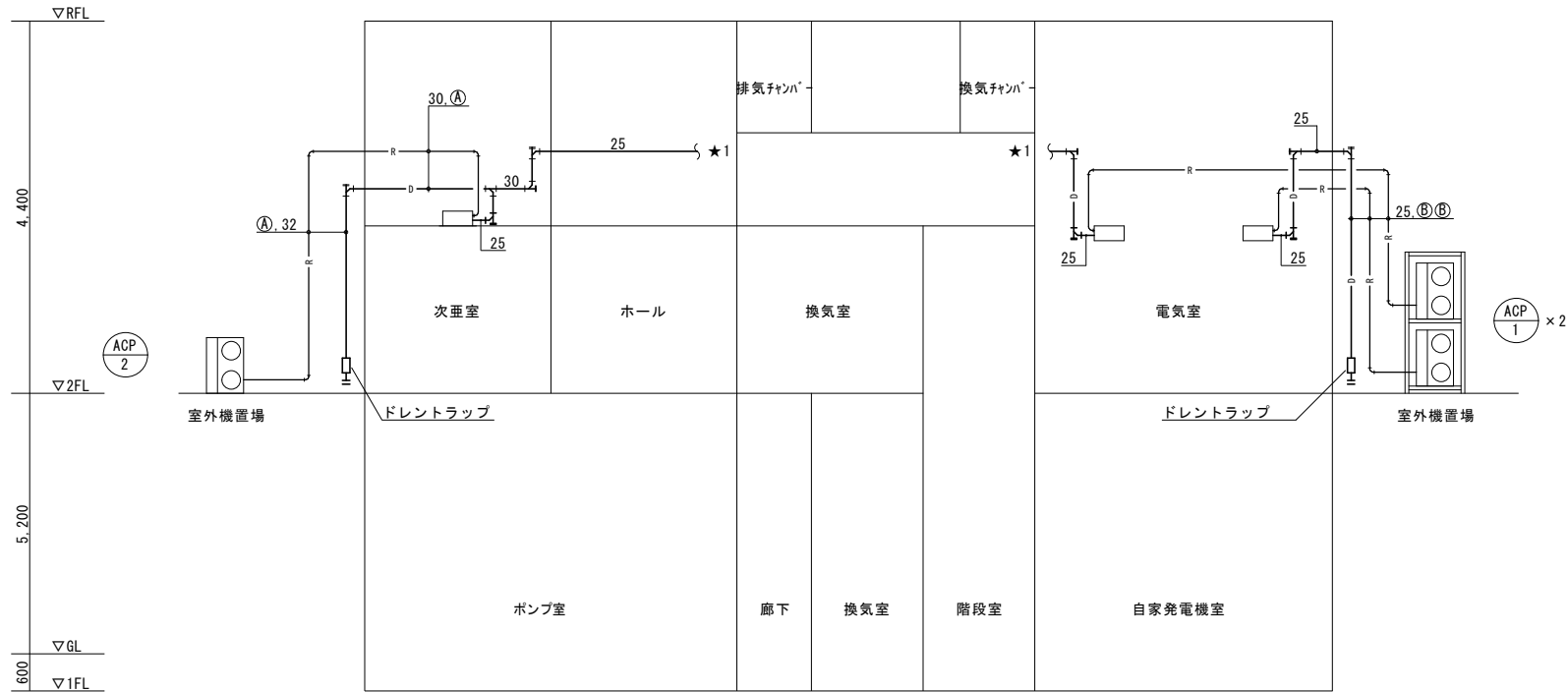
電源ユニット内蔵、ワイド配光
太陽電池パネル1枚タイプ
光束785lm、消費電力6.4W
昼白色、5000K、Ra70、光源寿命6万時間（光束維持率70%）
灯具本体：アルミ、灯具パネル：アクリル
太陽電池パネル・蓄電池ボックス：亜鉛銅板
ポール：鋼管（溶融亜鉛メッキ後メタリック塗装）
蓄電池容量：5日間点灯分、上方光束比0%
保護等級IP23、耐風速60m/s

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
構内配電線路 (外灯) 平面図		AE ／ 10
		縮 尺
		1/200
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

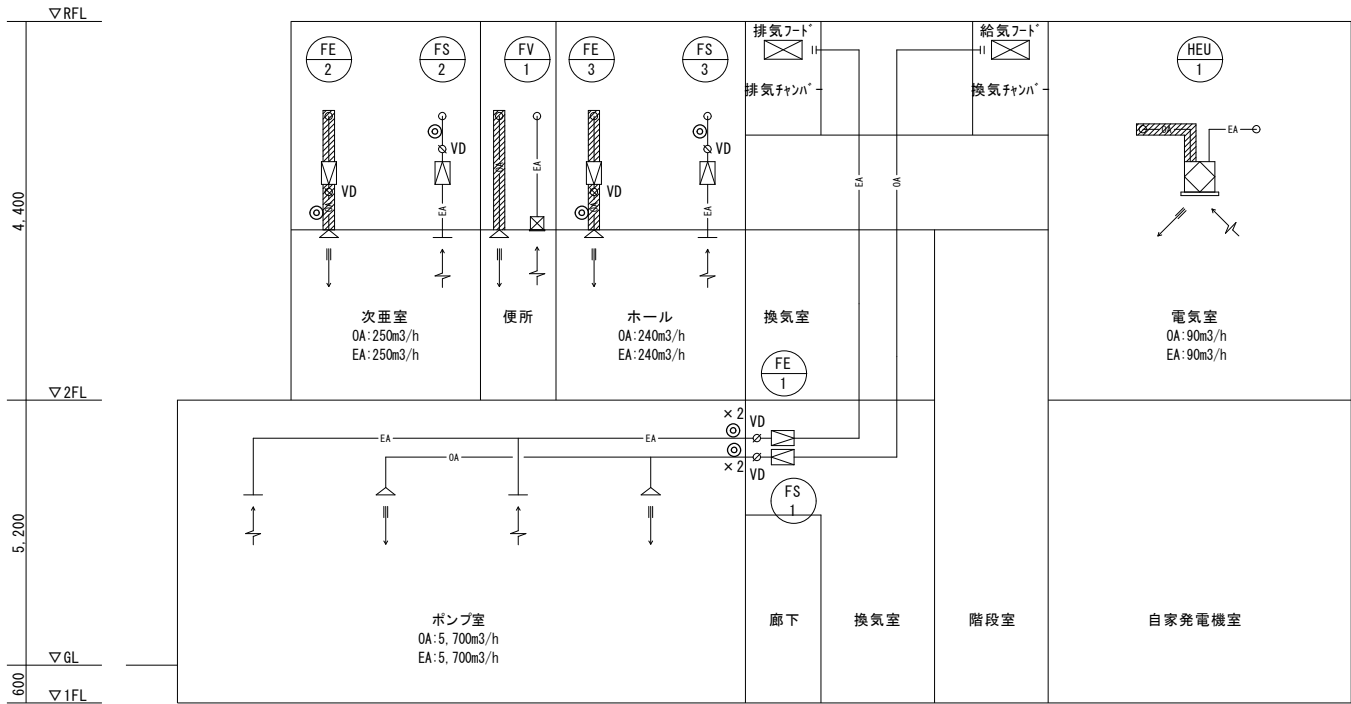
S=1 : 200



工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号 AM / 02
配置図		縮 尺 1/200
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



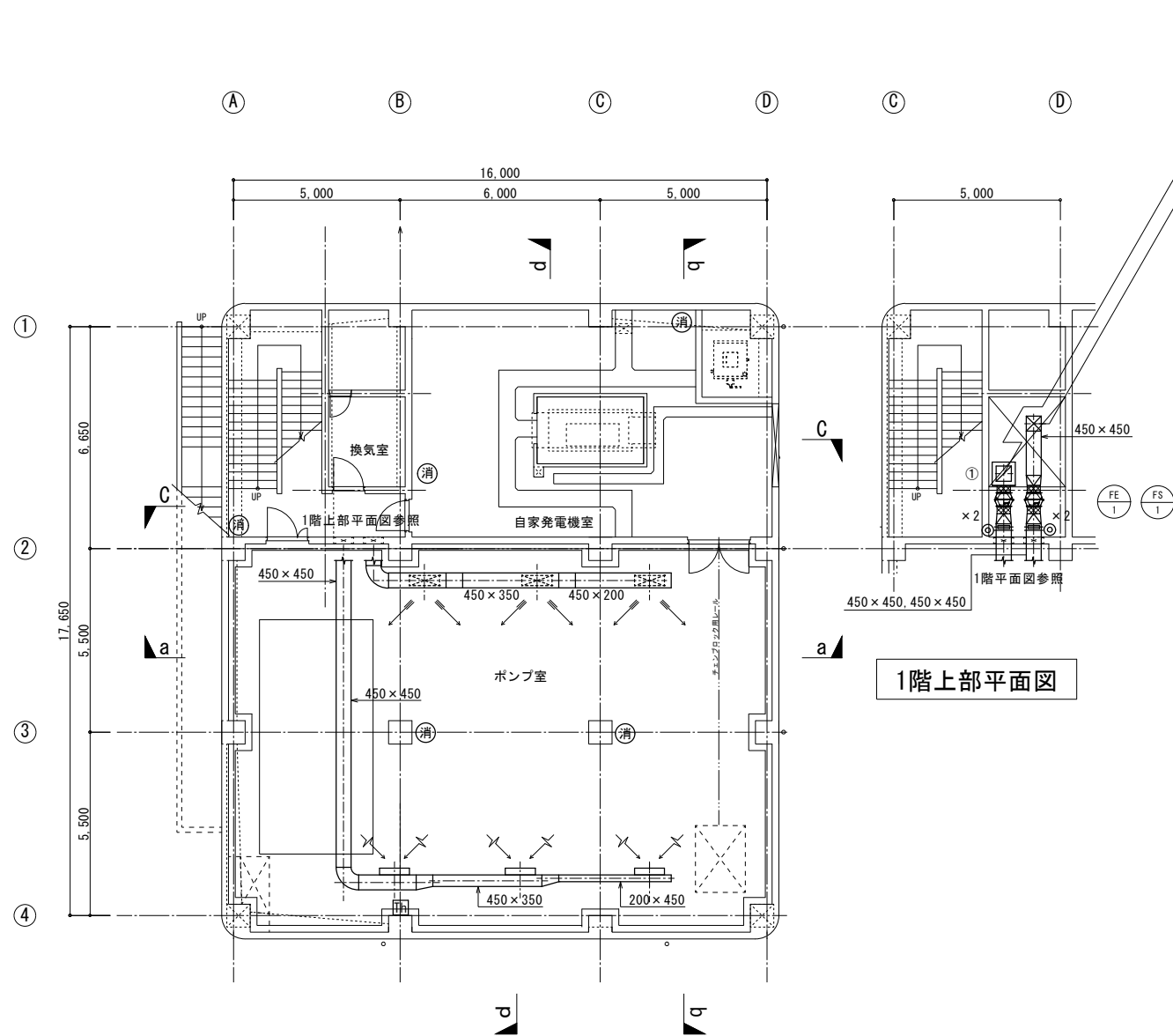
換気設備 配管系統図 S=NON



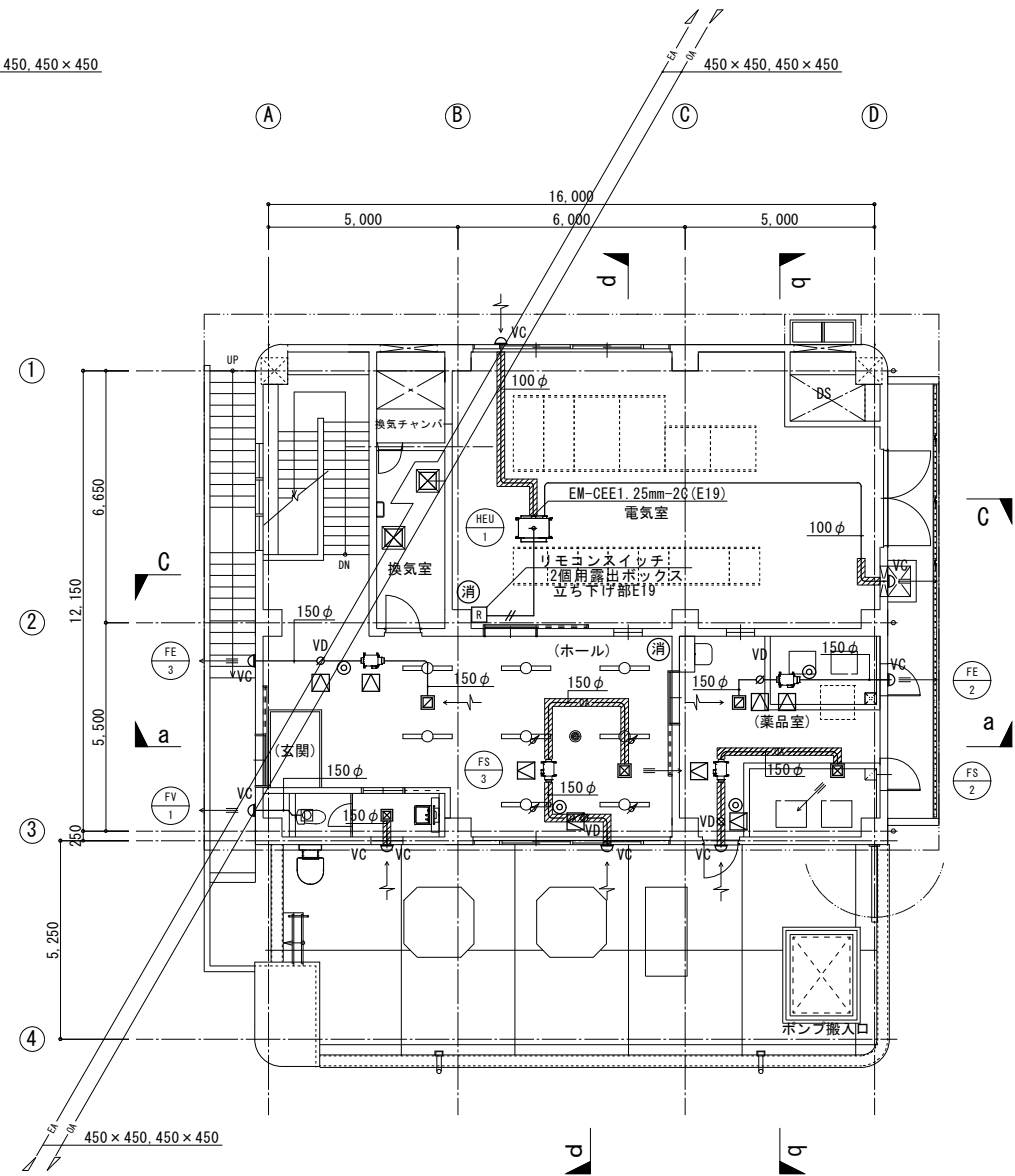
換気設備 ダクト系統図 S=NON

凡例		
記 号	名 称	仕 様
	空調機	機器仕様による
	斜流送風機	機器仕様による
	天井扇	機器仕様による
	冷媒管	断熱材被覆銅管
	ドレン管（屋外）	配管用炭素鋼銅管（白）
	ドレン管（電気室）	配管用炭素鋼銅管（白）
	ドレン管（屋内）	結露防止帯付硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	給気ダクト	亜鉛鉄板製（工法は特記による）
	排気ダクト	亜鉛鉄板製（工法は特記による）
	保温ダクト	GW巻（厚さは共通仕様による）
	パイプフード	深形（SUS製・防虫網付）
	防火区画貫通部材	大臣認定部材とする。
	冷媒・ドレン用	PS060WL-0131
	風量調整ダンパー	記号：VD
	風量測定口	

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
空調換気設備 系統図		AM ／ 04
		縮 尺
		N. S
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



1階平面図



2階平面図

ポンプ室		アルミ製
OA	VHS-300×900	3
		1,900m ³ /h

ポンプ室		アルミ製
EA	GVS-300×900	3
		1,900m ³ /h


薬品室		アルミ製
OA	VHS-250×250	1
		250m ³ /h
		BOX-350×350×250

薬品室		アルミ製
EA	GVS-250×250	1
		250m ³ /h
		BOX-350×350×250

ホール		アルミ製
OA	VHS-250×250	1
		240m ³ /h
		BOX-350×350×250

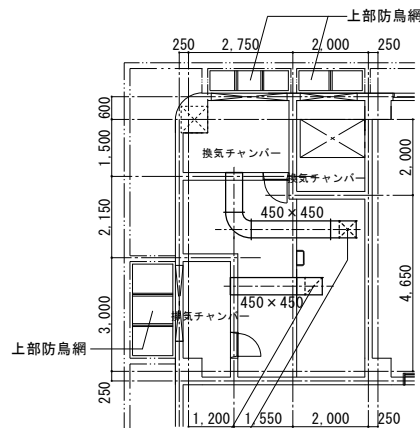
ホール		アルミ製
EA	GVS-250×250	1
		240m ³ /h
		BOX-350×350×250

便所		アルミ製
OA	VHS-200×200	1
		180m ³ /h
		BOX-300×300×200

注記)	
1) -----	防火区画
2) 	点検口 (450×450、建築工事)
3) VC	深型フード (ステンレス製・防虫網付)
4) Th	サーモスタット (室内型：二位置式、0～40℃)
5)	サーモスタットは本工事とし、配線は電気設備工事とする。

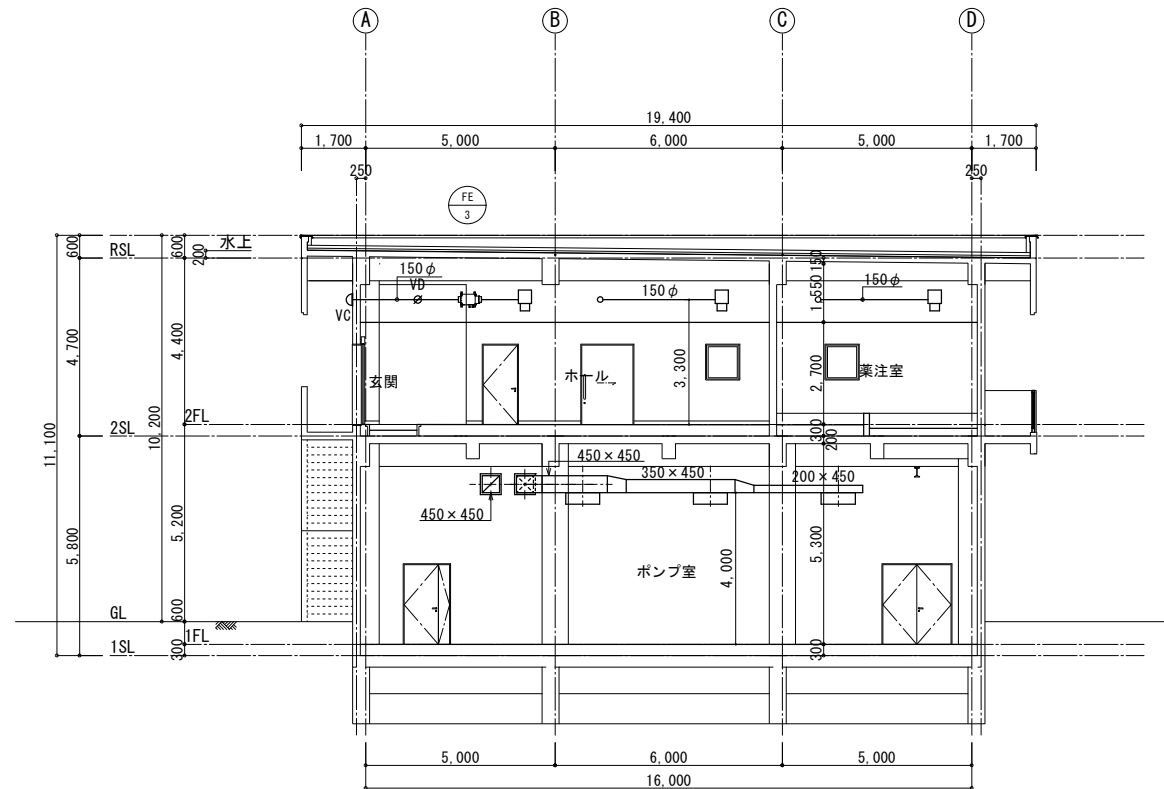
チャンバリスト								
記号	ダクト寸法			材質	内貼	点検口	塗装	個数
	W	L	H					
①	700	700	700	亜鉛鉄板	—	—	OP	1

③ 消火器：ABC10型

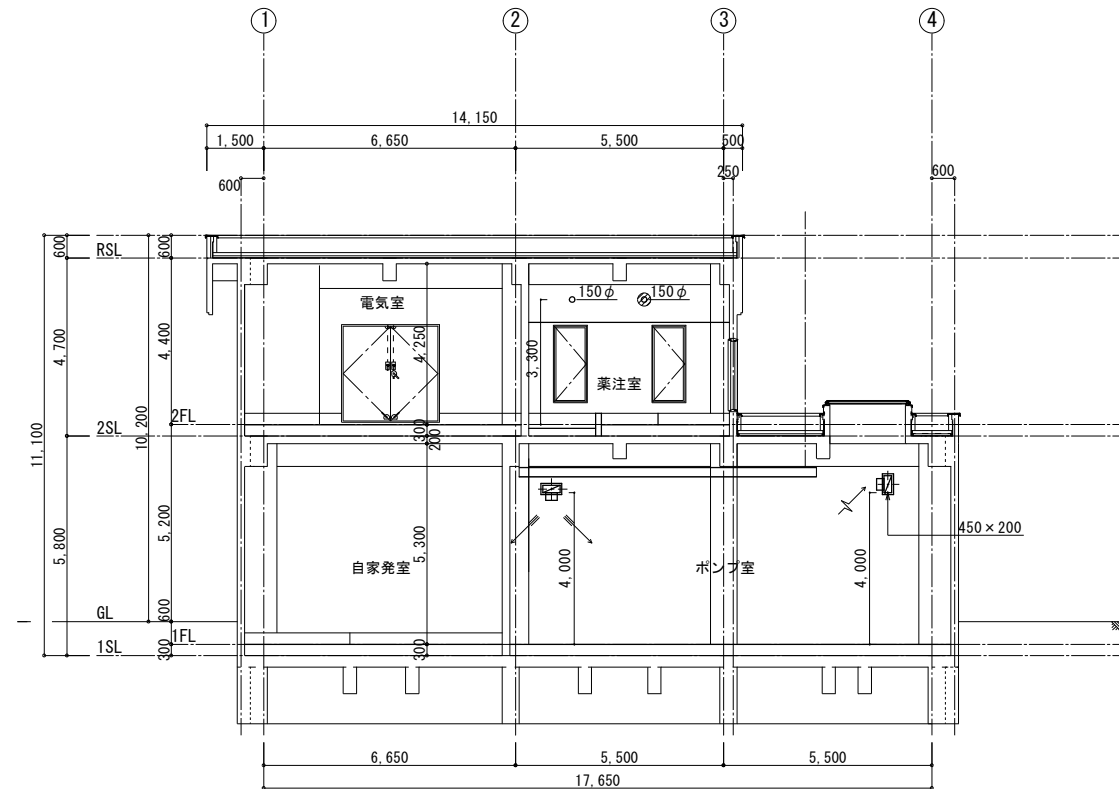


中2階平面図

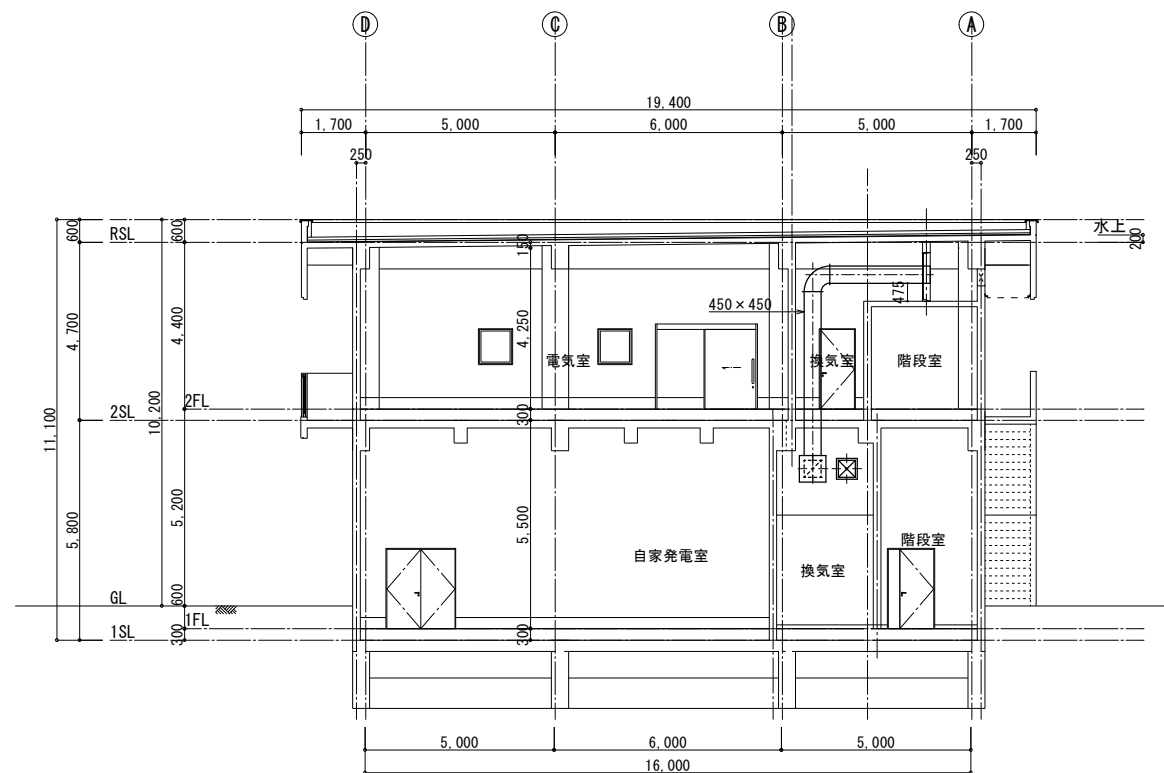
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		AM / 05
	空調換気設備 ダクト平面図	縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



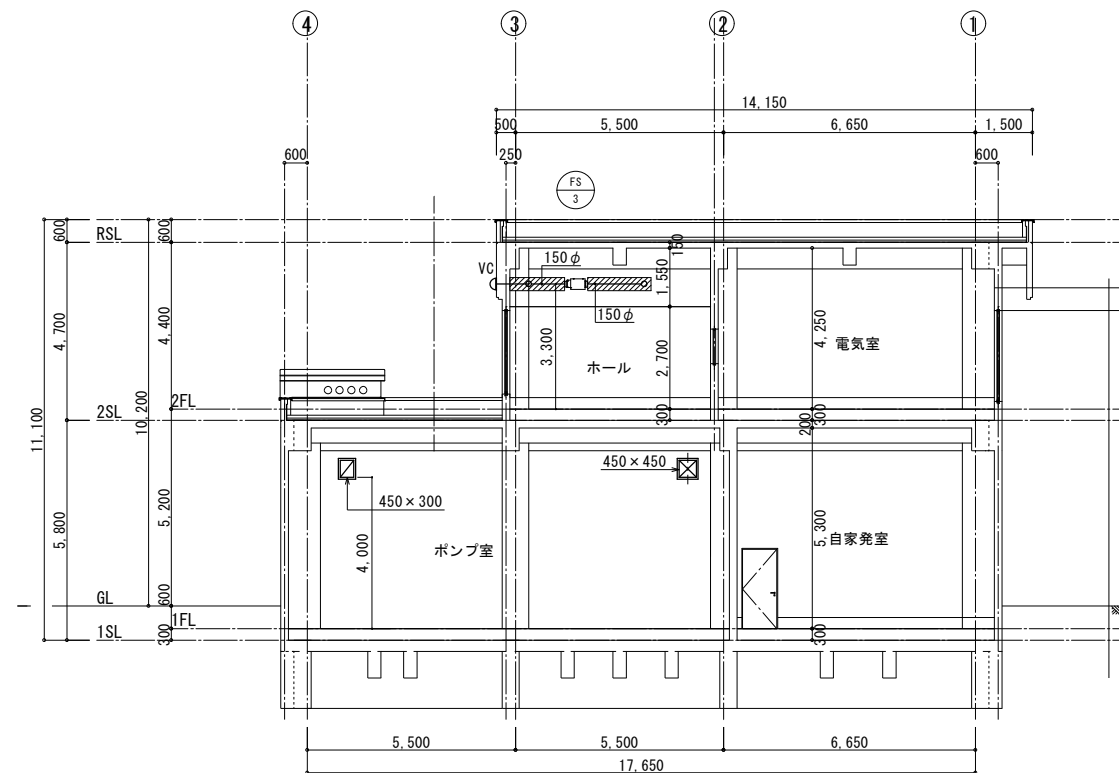
a-a断面図



b-b断面図

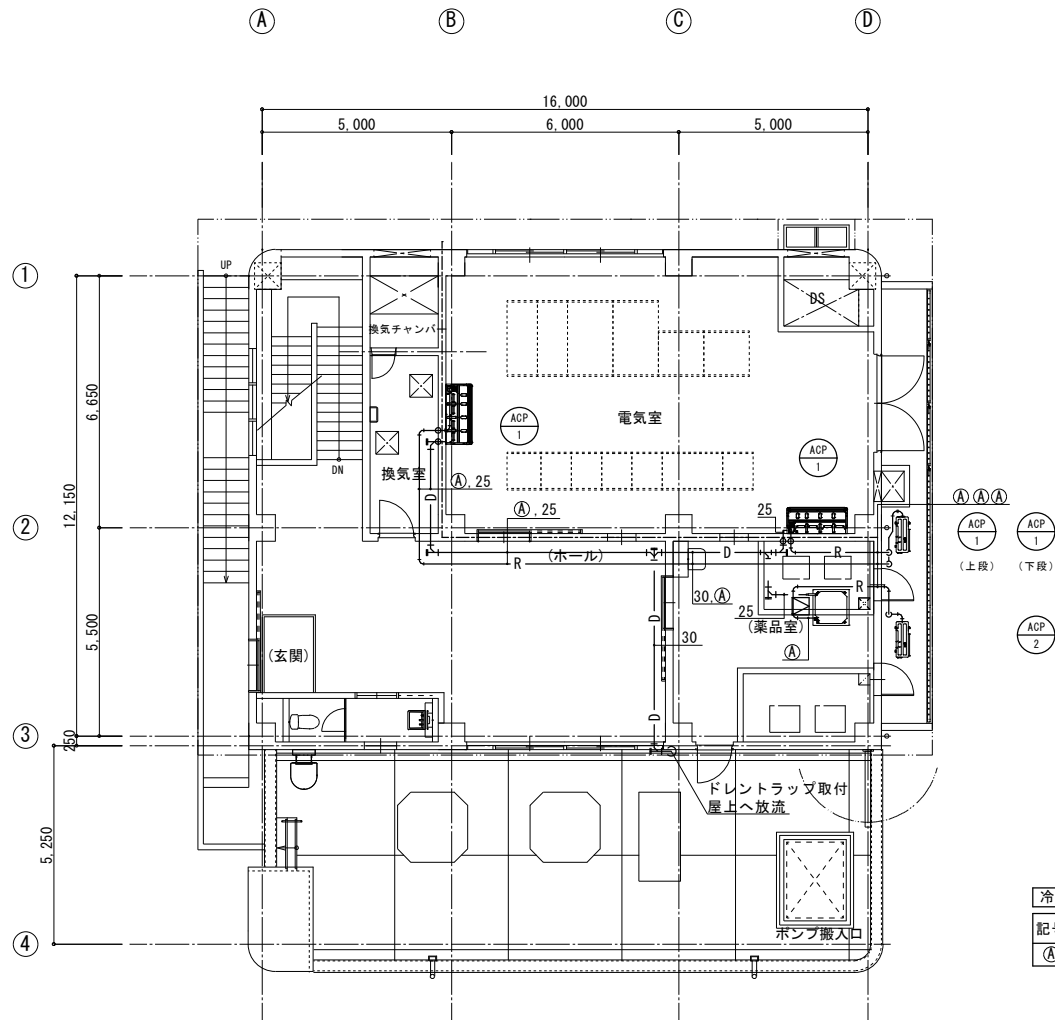


c-c断面図



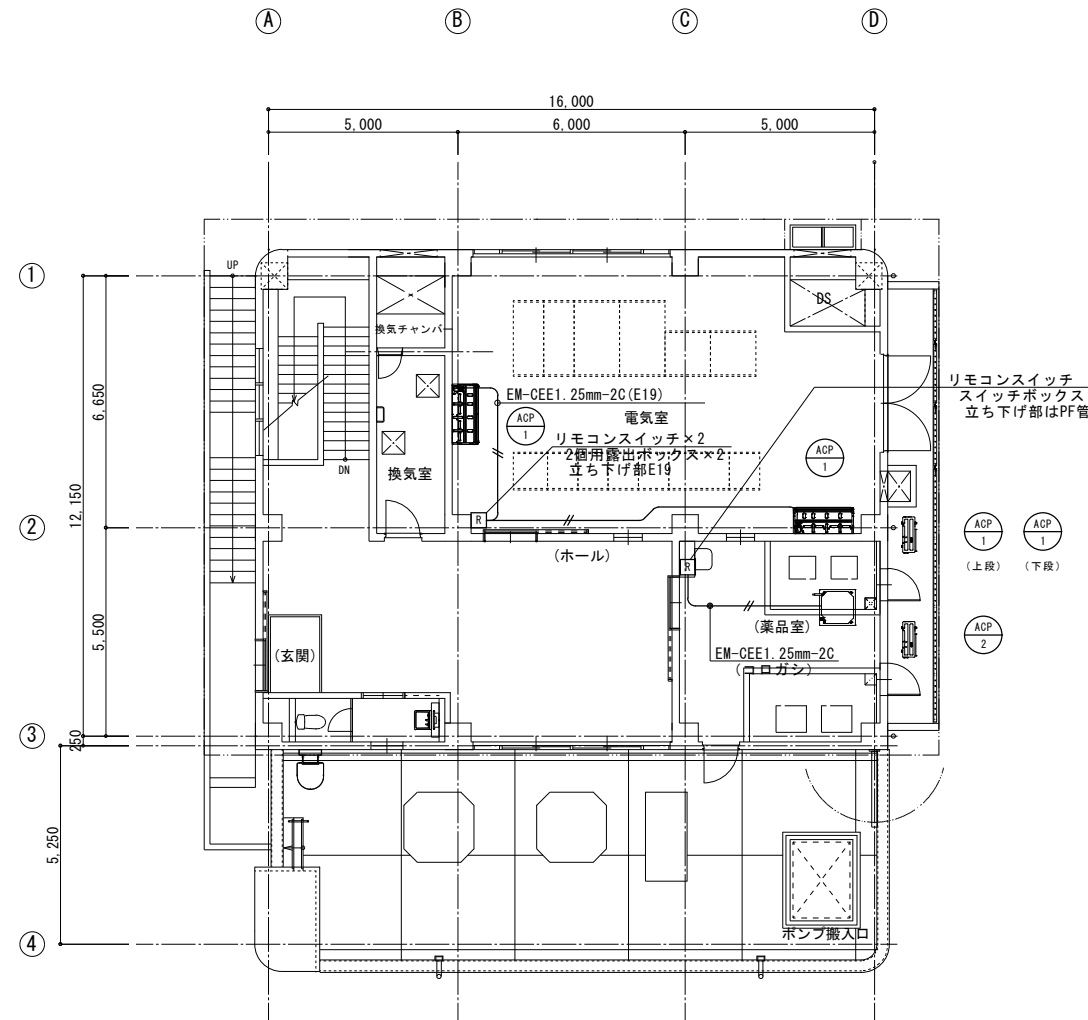
d-d断面図

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
空調換気設備 ダクト断面図		AM / 06
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
①	9.5	15.9

2階平面図



2階平面図

空調室外機

2段架台（溶融亜鉛めっき）

アト施工アンカーM10×4

バルコニー床


室外機据付要領図 S=N. S

- 注記)
- 1) -----: 防火区画
 - 2) 冷媒管の屋外露出部の保温外装はステンレスラッキングとする。
 - 3) -----: 防火区画貫通処理（認定工法）
 - 4) 室内～室外連絡配線は冷媒管と共巻とする。
- 連絡配線仕様：EM-CE2.0MM2-3C

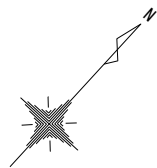
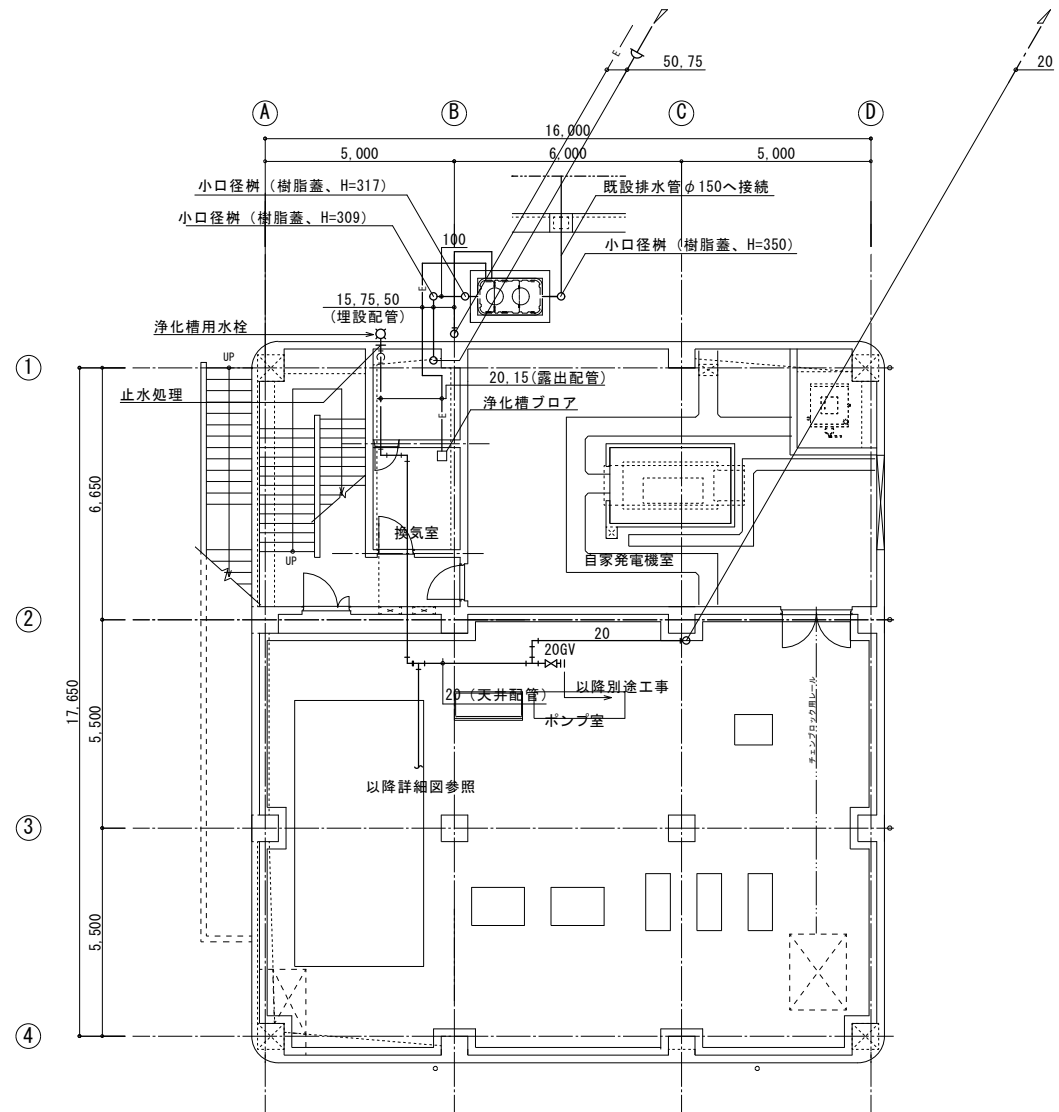
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
空調設備 配管配線平面図		AM / 07
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

衛生器具表										
器具名	参考品番		仕様・付属品	1階		2階		屋外		合計
	T O T O	L I X I L		ポンプ室		便所	薬品室		浄化槽置場	
洋風大便器	CFS498BMC+TC301 YH702	BC-K21S+DV-K213FL CF-AA64KU	掃除口付大便器（フラッシュタンク式）、普通便座（蓋付） 棚付き二連紙巻器			1				1
マルチシンク	SK510D+155AFR	S-21S+LF-23N KF-24F	横水栓、壁排水				1			1
横水栓	T28AKUH13	LF-15G-13-CV	13A、キー式（ホース接続形）						1	1
洗面化粧台			（建築工事）			1				1
水石けん入れ	TS126R	KF-24F	壁付き、容量0.35L				1			1
化粧鏡	YM3545A	KF-3545	350×450			1				1

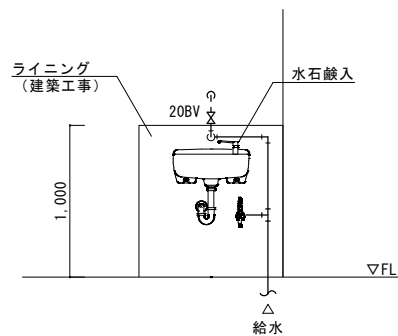
注記
1）マルチシンクは軽鉄下地に取付。

凡例		
記 号	名 称	仕 様
—— ———	給水管（一般）	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
—— ———	給水管（土中）	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
—————	排水管（一般）	耐火二層管
—————	排水管（屋外露出）	硬質塩化ビニル管(VP)
—————	排水管（土中）	硬質塩化ビニル管(VU)
.....	通気管（一般）	硬質塩化ビニル管(VP)
——  ——	仕 切 弁	JIS5K, 10K
——  ——	仕切弁（BOX共）	ボックスは公共建築仕様とする。
——  ——	水栓	
○	小口径汚水継	樹脂蓋（銀付き）
◎	小口径雨水継	樹脂蓋（銀付き）

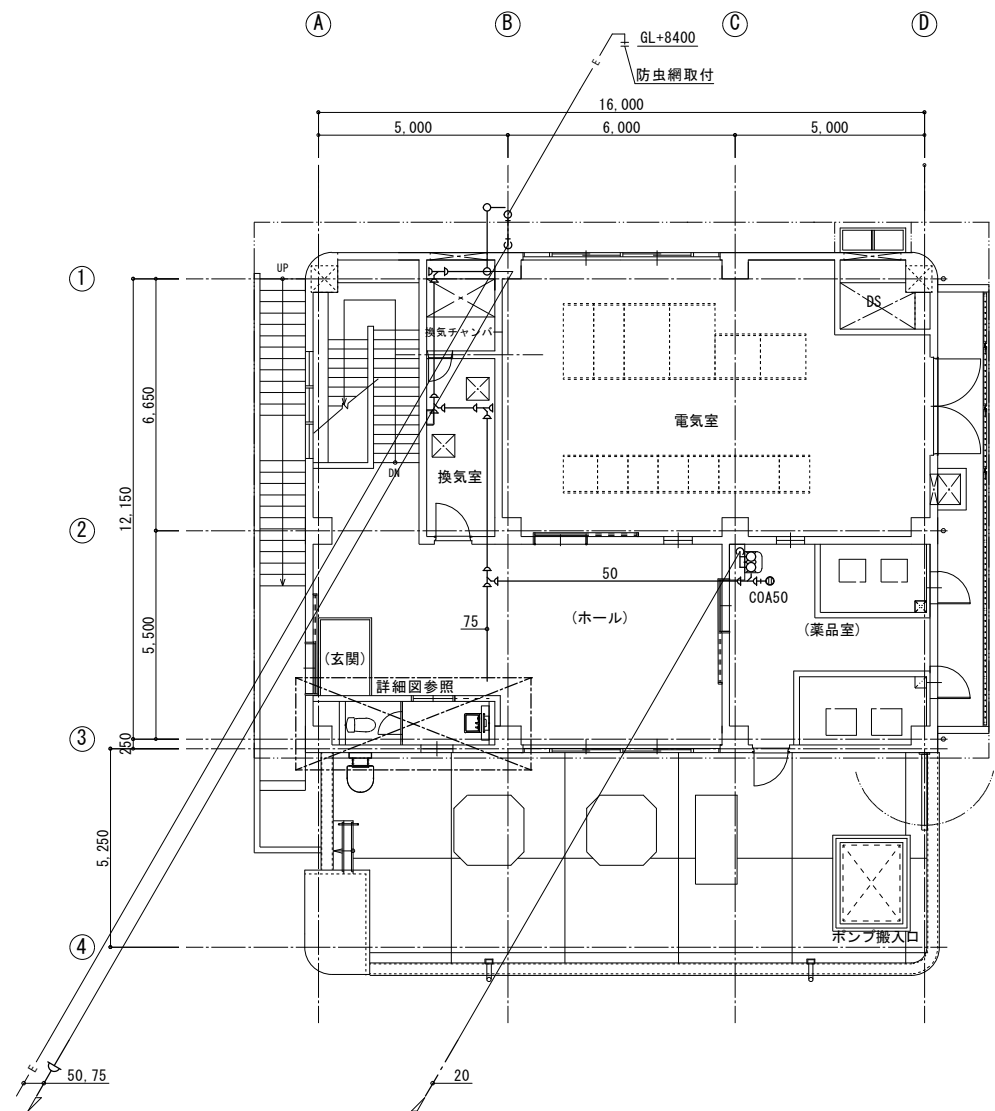
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
給排水衛生設備 器具表		AM ／ 08
		縮 尺
		N. S
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



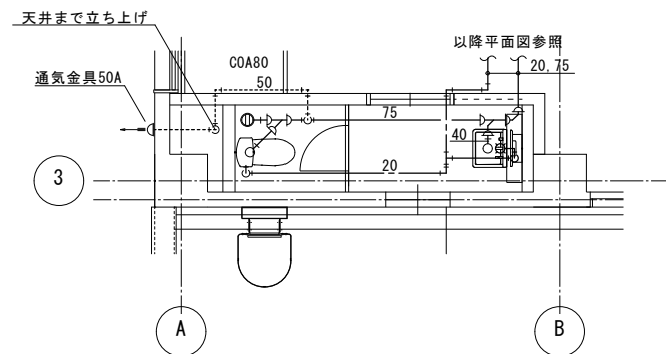
1階平面図 1/100



マルチシンク廻り詳細図 1/25

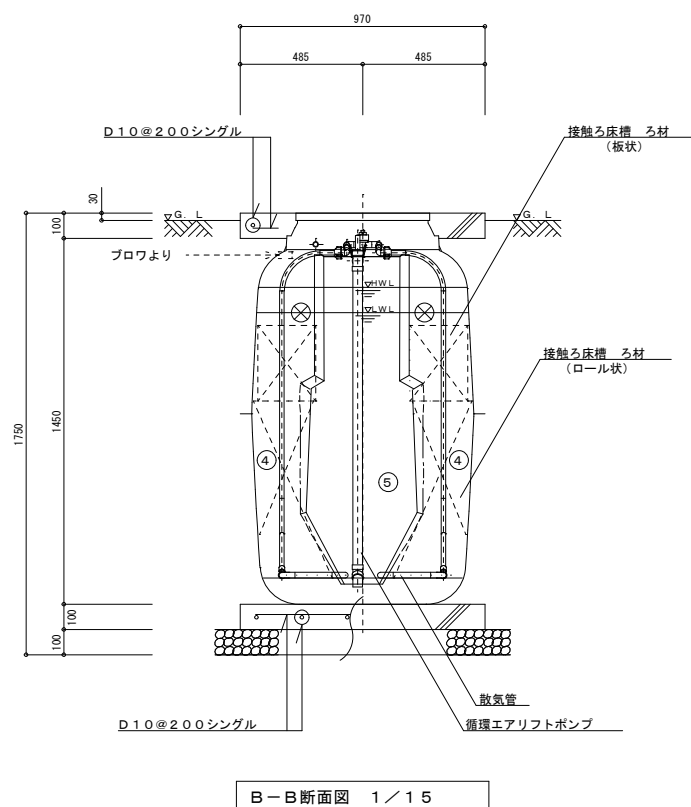
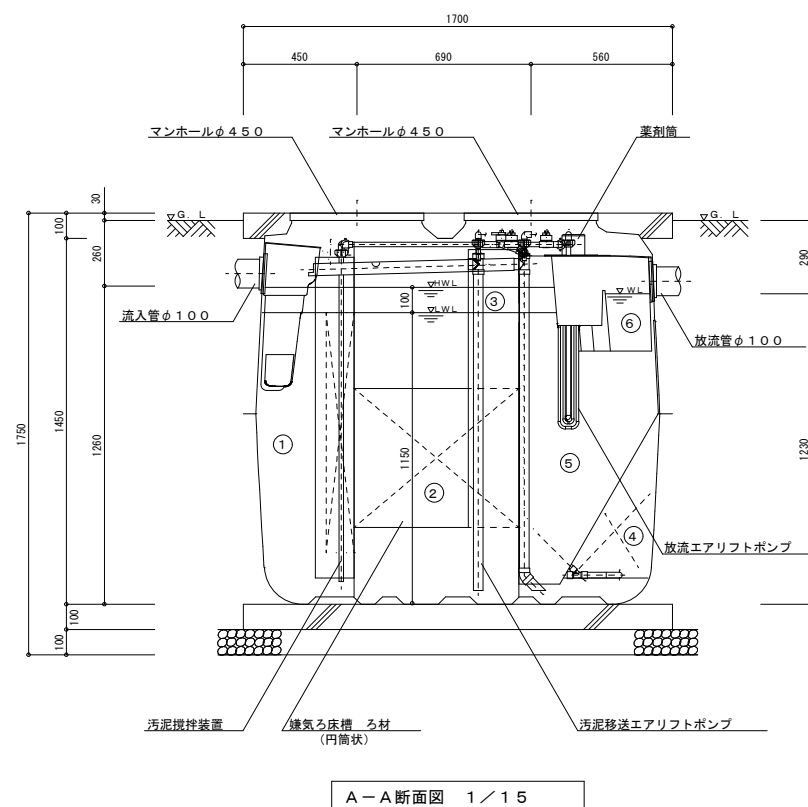
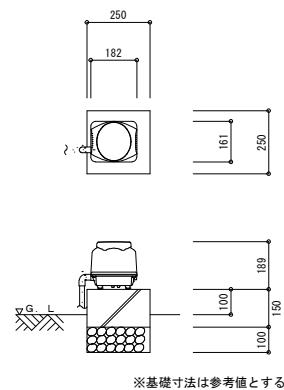
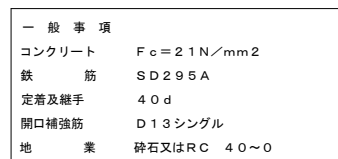
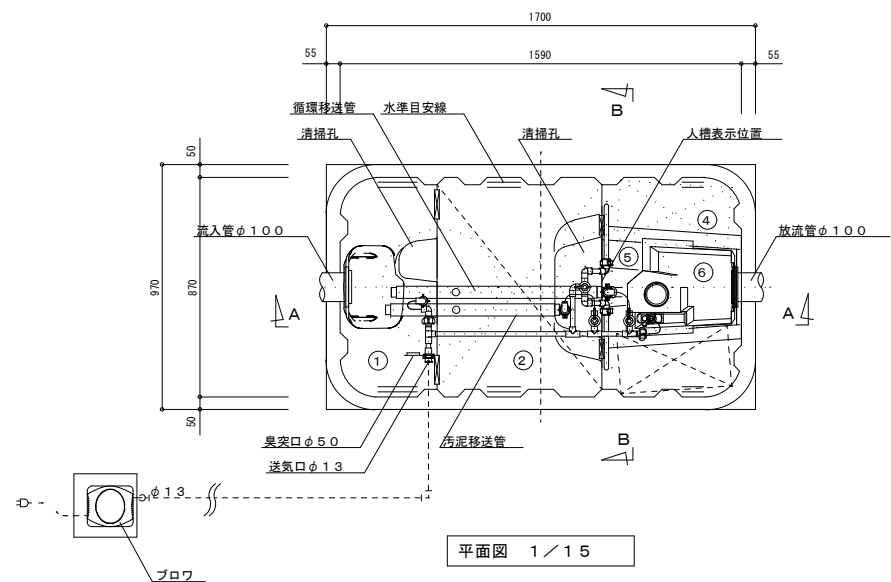


2階平面図 1/100



詳細図 1/50

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
給排水衛生設備 平面図・詳細図		AM / 09
		縮 尺
		図示
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



仕 様 表						
設計番号						
型式名称		CA-5 型				
処理対象人員		5人				
汚水量		1. 00m ³ /d				
流入水質		BOD200mg/L		COD100mg/L		T-N 45mg/L
放流水質		BOD 20mg/L		COD 30mg/L		SS 15mg/L
①	沈殿分離槽	有効容量			0. 317 m ³	
②	嫌気ろ床槽	有効容量			0. 600 m ³	
③	ピークカット部	有効容量			0. 120 m ³	
④	接触ろ床槽	有効容量			0. 296 m ³	
⑤	処理水槽	有効容量			0. 165 m ³	
⑥	消毒槽	有効容量			0. 015 m ³	
総 容 量		有効容量			1. 513 m ³	
機 器 装 置 仕 様						
嫌気ろ床槽ろ材（円筒状）		PPまたはPE				充填率 43%
接触ろ床槽ろ材（ロール状）		PPまたはPE				充填率 61%
接触ろ床槽ろ材（板状）		PPまたはPE				充填率 21%
ブロウ		60L/min		φ13	連続運転	1台
槽本体		FRP				
パイプ類		PVC、PPまたはPE				
マンホール		PPまたはFRP				
消毒剤		固形塩素剤				

配管仕様	
露出配管（プロワ廻り）	V P
土中配管	φ 40 以下～V P ・ φ 50 以上～V U
槽内配管	メーカー仕様

注1) 上部は歩行者荷重とする。

注2) 機器電源は単相100Vとする。

注3) 図中の“G. L”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。

注4) 浄化槽からブロワまでの距離は5m以内とする。

注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。

注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。

注7) ブロワ付近にコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。

注8) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。

施工高さ範囲					
MH	項 目	嵩上げ高さ	流入管径	放流管径	施工全高
徳島 ロック	最小寸法（この図面）	0 H	G. L-260	G. L-290	1750 H
	最小寸法（嵩上付）	50 H	G. L-320	G. L-350	1810 H
	最大寸法	300 H	G. L-570	G. L-600	2060 H
ボルト ロック	最小寸法	100 H	G. L-390	G. L-420	1880 H
	最大寸法	300 H	G. L-590	G. L-620	2080 H

注) 製品全高は、製品規格で+10、-20mmの公差があります。

流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号 AM / 10
浄化槽参考図		縮 尺
		1/15
事業主	笛吹市公営企業部水道課	